

P3NK-3952-08Z0

# FUJITSU Network Si-R Si-Rシリーズ

メッセージ集 V35

FUJITSU

---

# はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
インターネットやLANをさらに活用するために、本装置をご利用ください。

2009年11月初版  
2010年7月第2版  
2010年10月第3版  
2012年11月第4版  
2013年11月第5版  
2014年6月第6版  
2015年1月第7版  
2019年7月第8版

本ドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。  
従って本ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。  
Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。  
Copyright FUJITSU LIMITED 2009 - 2019

---

# 本書の構成と使いかた

本書は、本装置のシステムログメッセージについて説明しています。

また、CD-ROMの中のREADME ファイルには大切な情報が記載されていますので、併せてお読みください。

## 本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。

本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。

ネットワーク設定を初めて行う方でも「機能説明書」に分かりやすく記載していますので、安心してお読みいただけます。

## 本書の構成

本書では、システムログメッセージを説明しています。

---

## システムログの形式について

show logging syslog コマンドで表示した場合、システムログは以下の形式で表示されます。

```
<date> <host> <machine> : <message>
```

<date>                   日時が表示されます。

<host>                   sysname コマンドで設定したホスト名が表示されます。ホスト名を設定していない場合は IP アドレスが表示されます。IP アドレスを何も設定していない場合は、"127.0.0.1"が表示されます。

<machine>               機種名が表示されます。

<message>               メッセージ本文が表示されます。

なお、syslog server コマンドで指定した SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは以下になります。

- syslog header (RFC 準拠) の設定がある場合  
SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは <date>、<host> および <message> の部分となります。SYSLOG サーバで、<machine> の部分は表示されません。
- syslog header (RFC 準拠) の設定がない場合 (工場出荷時)  
SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは <message> の部分のみとなります。SYSLOG サーバで、<machine> の部分は表示されません。<date> および <host> の部分の表示は、SYSLOG サーバの機能によります。

---

## マークについて

**[メッセージ]**           メッセージを記載しています。

**[プライオリティ]**       システムログのレベルを記載しています。

**[意味]**                   各メッセージの意味を記載しています。

**[パラメタの意味]**       各パラメタの意味を記載しています。

## 本書における商標の表記について

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 製品名の略称について

本書で使用している製品名は、以下のように略して表記します。

なお、本文中では®を省略しています。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows® XP Professional operating system	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system	
Microsoft® Windows® 2000 Server Network operating system	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system	
Microsoft® Windows NT® Server network operating system Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Datacenter Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Datacenter Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Web Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition for Itanium-based systems	
Microsoft® Windows Server® 2003, Datacenter x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Datacenter x64 Edition	
Microsoft® Windows Vista® Ultimate operating system	Windows Vista
Microsoft® Windows Vista® Business operating system	
Microsoft® Windows Vista® Home Premium operating system	
Microsoft® Windows Vista® Home Basic operating system	
Microsoft® Windows Vista® Enterprise operating system	
Microsoft® Windows® 7 64bit Home Premium	Windows 7
Microsoft® Windows® 7 32bit Professional	

## 本装置のマニュアルの構成

本装置の取扱説明書は、以下のとおり構成されています。使用する目的に応じて、お使いください。

マニュアル名称	内容
Si-R 効率化運用ツール使用手引書	Si-R 効率化運用ツールを使用する方法を説明しています。
Si-R180B ご利用にあたって	Si-R180B の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R220C ご利用にあたって	Si-R220C の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R220D ご利用にあたって	Si-R220D の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R240B ご利用にあたって	Si-R240B の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R260B ご利用にあたって	Si-R260B の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R370 ご利用にあたって	Si-R370 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R370B ご利用にあたって	Si-R370B の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R570 ご利用にあたって	Si-R570 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R570B ご利用にあたって	Si-R570B の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
機能説明書	本装置の便利な機能について説明しています。
トラブルシューティング	トラブルが起きたときの原因と対処方法を説明しています。
メッセージ集 (本書)	システムログ情報などのメッセージの詳細な情報を説明しています。
仕様一覧	本装置のハード/ソフトウェア仕様と MIB/Trap 一覧を説明しています。
コマンドユーザーズガイド	コマンドを使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
コマンド設定事例集	コマンドを使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
コマンドリファレンス-構成定義編-	構成定義コマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
コマンドリファレンス-運用管理編-	運用管理コマンド、その他のコマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
Web ユーザーズガイド	Web 画面を使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
Web 設定事例集	Web 画面を使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
Web リファレンス	Web 画面の項目の詳細な情報を説明しています。

---

# 目次

<b>第1章 システムログ情報一覧</b> .....	<b>15</b>
1.1 システムのメッセージ .....	16
1.1.1 システム起動 .....	16
1.1.2 システムダウン検出 .....	16
1.1.3 RTC 異常検出 .....	16
1.2 ルーティングマネージャのメッセージ .....	17
1.2.1 ルーティングテーブルオーバーフロー .....	17
1.2.2 スタティック経路の優先度矛盾 .....	17
1.2.3 スタティック経路の ECMP 数オーバー .....	17
1.2.4 ECMP 対象となるスタティック経路のメトリック矛盾 .....	18
1.2.5 スタティックエントリ数オーバーフロー .....	18
1.2.6 経路再登録の中断 .....	18
1.2.7 IP アドレスの割り当て .....	19
1.2.8 IP アドレスの重複 .....	19
1.3 RIP のメッセージ .....	20
1.3.1 パケット長異常 .....	20
1.3.2 バージョン異常 .....	20
1.3.3 送信元ポート番号異常 .....	20
1.3.4 送信元 IP アドレス異常 .....	21
1.3.5 アドレスファミリー異常 .....	21
1.3.6 経路情報あて先異常 .....	22
1.3.7 マスク長異常 .....	22
1.3.8 メトリック異常 .....	23
1.3.9 RIP ルーティングテーブルオーバーフロー (RIP パケット受信) .....	23
1.3.10 RIP ルーティングテーブルオーバーフロー (再配布経路受信) .....	23
1.3.11 インタフェース経路情報オーバーフロー .....	24
1.4 BGP4 のメッセージ .....	25
1.4.1 マークフィールド異常 .....	25
1.4.2 メッセージ長異常 .....	25
1.4.3 メッセージタイプ異常 .....	25
1.4.4 メッセージヘッダ異常サブエラーコード認識不可 .....	26
1.4.5 バージョン異常 .....	26
1.4.6 AS 番号異常 .....	27
1.4.7 BGP-ID 異常 .....	27
1.4.8 サポート外オプション .....	27
1.4.9 認証異常 .....	28
1.4.10 HOLD 時間受け入れ不可 .....	28
1.4.11 ケイパビリティ受け入れ不可 .....	29
1.4.12 OPEN メッセージ異常サブエラーコード認識不可 .....	29
1.4.13 属性異常 .....	29
1.4.14 サポート外既知属性 .....	30
1.4.15 既知属性の消失 .....	30
1.4.16 属性フラグ異常 .....	31
1.4.17 属性長異常 .....	31
1.4.18 ORIGIN 属性異常 .....	31
1.4.19 メッセージループ .....	32
1.4.20 NEXT-HOP 属性異常 .....	32
1.4.21 オプション属性異常 .....	33
1.4.22 不当経路情報 .....	33
1.4.23 不当 AS_PATH .....	33
1.4.24 UPDATE メッセージ異常サブエラーコード認識不可 .....	34
1.4.25 HOLD 時間満了 .....	34
1.4.26 内部状態矛盾 .....	35
1.4.27 BGP セッション終了 .....	35
1.4.28 エラーコード認識不可 .....	35

1.4.29	設定外装置からの接続受信	36
1.4.30	BGP ルーティングテーブルオーバーフロー (UPDATE パケット受信)	36
1.4.31	BGP ルーティングテーブルオーバーフロー (再配布経路受信)	37
1.4.32	BGP セッション数オーバ	37
1.4.33	BGP グレースフルリスタート処理開始	37
1.4.34	BGP グレースフルリスタート処理終了	38
1.4.35	BGP グレースフルリスタート中断	38
1.4.36	BGP リスタートタイマ満了	38
1.4.37	BGP stale タイマ満了	39
1.4.38	4 オクテット AS 番号未サポート相手装置との接続	39
1.4.39	BGP セッションクリア	39
1.4.40	ルートリフレッシュメッセージ受信	40
1.4.41	ルートリフレッシュメッセージ送信不可	40
1.4.42	IPv6 BGP セッション無効	40
1.5	OSPF のメッセージ	42
1.5.1	エリア ID 不一致	42
1.5.2	認証方式不一致	42
1.5.3	テキスト認証鍵不一致	42
1.5.4	MD5 認証鍵不一致	43
1.5.5	ネットワークマスク長不一致	43
1.5.6	Hello パケット送信間隔の不一致	44
1.5.7	隣接ルータ停止確認間隔の不一致	44
1.5.8	エリアタイプの不一致	44
1.5.9	LSA 最大数オーバ	45
1.5.10	ルータ ID の重複	45
1.5.11	MTU 値の不一致	46
1.5.12	SPF 計算テーブル数オーバ	46
1.5.13	OSPF 作業メモリアオーバ	46
1.5.14	受信可能サイズを超えたパケットの破棄	47
1.5.15	隣接関係異常	47
1.5.16	connected 経路オーバーフロー	47
1.6	ルーティングマネージャのメッセージ (IPv6)	49
1.6.1	ルーティングテーブルオーバーフロー	49
1.6.2	IPv6 プレフィックスの割り当て	49
1.6.3	IPv6 プレフィックスの重複	49
1.6.4	IPv6 スタティック経路の優先度矛盾	50
1.6.5	IPv6 スタティック経路の ECMP 不可	50
1.6.6	IPv6 スタティックエントリ数オーバーフロー	51
1.6.7	経路再登録の中断	51
1.7	RIP のメッセージ (IPv6)	52
1.7.1	パケット長異常	52
1.7.2	バージョン異常	52
1.7.3	送信元ポート番号異常	52
1.7.4	送信元 IP アドレス異常	53
1.7.5	ホップリミット異常	53
1.7.6	経路情報プレフィックス異常	54
1.7.7	プレフィックス長異常	54
1.7.8	メトリック異常	55
1.7.9	RIP ルーティングテーブルオーバーフロー (RIP パケット受信)	55
1.7.10	RIP ルーティングテーブルオーバーフロー (再配布経路受信)	55
1.7.11	インタフェース経路情報オーバーフロー	56
1.8	OSPF のメッセージ (IPv6) (Si-R180B , Si-R220C , Si-R220D , Si-R240B , Si-R570 , Si-R570B)	57
1.8.1	エリア ID 不一致	57
1.8.2	Hello パケット送信間隔の不一致	57
1.8.3	隣接ルータ停止確認間隔の不一致	57
1.8.4	エリアタイプの不一致	58
1.8.5	LSA 最大数オーバ	58
1.8.6	ルータ ID の重複	59

1.8.7	MTU 値の不一致	59
1.8.8	受信可能サイズを超えたパケットの破棄	59
1.8.9	隣接ルータダウンの検出	60
1.8.10	LSA 最大数オーバ(再配布経路受信時)	60
1.8.11	IPv6 OSPF 定義無効	61
1.9	LDP のメッセージ	62
1.9.1	セッションリミッタ	62
1.9.2	FEC テーブルリミッタ	62
1.9.3	Hello Packet のバージョンの不一致	62
1.9.4	Hello Packet の LDP-ID の重複	63
1.9.5	Hello Packet の LDP-ID の不一致	63
1.9.6	Hello Packet の IPv4 Transport Address の不一致	63
1.9.7	Initialization Message のバージョンの不一致	63
1.9.8	LDP ID の重複	64
1.9.9	LDP セッションの運用可能状態への遷移	64
1.9.10	Error Notification の受信	64
1.9.11	Error Notification の送信	65
1.10	通信関連のメッセージ	66
1.10.1	LAN キャリア検出	66
1.10.2	LAN キャリア喪失	66
1.10.3	同期確立	67
1.10.4	同期はずれ	68
1.10.5	フラグ検出	68
1.10.6	フラグ検出失敗	69
1.10.7	回線接続	69
1.10.8	回線切断	71
1.10.9	課金制御機能による強制切断	73
1.10.10	着信拒否	74
1.10.11	自動発呼の抑止中	75
1.10.12	着信抑止	75
1.10.13	課金制御条件の制限超過	76
1.10.14	連続接続失敗による発信抑止	76
1.10.15	PPP ネゴシエーション失敗	77
1.10.16	発信失敗	77
1.10.17	着信失敗	80
1.10.18	回線エラー	82
1.10.19	発信ログ	84
1.10.20	閉塞状態への移行	86
1.10.21	認証メモリ枯渇	86
1.10.22	アカウントリングメモリ枯渇(アカウントリング開始時)	87
1.10.23	アカウントリングメモリ枯渇(アカウントリング終了時)	88
1.10.24	ARP 認証端末数超過	88
1.11	ATM のメッセージ	89
1.11.1	VP 故障検出	89
1.11.2	VP 故障回復検出	89
1.11.3	VC 故障検出	89
1.11.4	VC 不達検出	90
1.11.5	VC 故障回復検出	90
1.12	フレームリレーのメッセージ	92
1.12.1	CLLM メッセージ受信	92
1.12.2	PVC 状態アクティブ	92
1.12.3	PVC 状態インアクティブ	93
1.12.4	CLLM メッセージ軽輻轉通知による PVC アクティブ	93
1.12.5	CLLM メッセージ重輻轉通知による PVC アクティブ	94
1.12.6	CLLM メッセージ装置故障通知または保守動作通知による PVC インアクティブ	94
1.12.7	T2 タイマタイムアウトによる PVC アクティブ	95
1.12.8	PVC 状態確認手順による回線異常検出	95
1.12.9	PVC 状態確認手順による回線異常状態からの回復	95

---

1.13	PPPoE のメッセージ	97
1.13.1	PPPoE ディスカバリステージ失敗	97
1.14	セキュリティメッセージ	98
1.14.1	ProxyDNS による DNS 要求破棄	98
1.14.2	ProxyDNS による unicode DNS 要求の破棄	98
1.14.3	IP フィルタによるパケット破棄	98
1.14.4	PPP 着信拒否	99
1.14.5	DHCP サーバのアドレス配布	100
1.14.6	DHCP クライアントからの要求の拒否	100
1.14.7	IPv6 フィルタによるパケット破棄	100
1.14.8	NAT によるパケット破棄	101
1.14.9	NAT 変換テーブル作成	102
1.14.10	IPv6 DHCP サーバのアドレス配布	102
1.14.11	IPv6 DHCP サーバのプレフィックス配布	103
1.14.12	アプリケーションフィルタによるパケット破棄	103
1.14.13	不正端末アクセスの検出	103
1.14.14	認証失敗	104
1.14.15	不正 MAC アドレス検出	104
1.14.16	登録済み MAC アドレス検出	105
1.15	コンソールのメッセージ	106
1.15.1	ログイン成功	106
1.15.2	ログイン失敗(認証エラー)	106
1.15.3	ログアウト	106
1.16	telnet デーモンのメッセージ	108
1.16.1	ログイン成功	108
1.16.2	ログイン失敗(認証エラー)	108
1.16.3	ログイン終了	108
1.17	ftp デーモンのメッセージ	110
1.17.1	ログイン成功	110
1.17.2	ログイン失敗(認証エラー)	110
1.17.3	ファイル蓄積完了	110
1.17.4	ファイル回収完了	111
1.17.5	ログイン終了	111
1.18	ssh デーモンのメッセージ	113
1.18.1	ssh ホスト認証鍵生成開始	113
1.18.2	ssh ホスト認証鍵生成完了	113
1.18.3	ログイン失敗(認証エラー)	113
1.19	ssh ログインデーモンのメッセージ	114
1.19.1	ログイン成功	114
1.19.2	ログイン失敗(認証エラー)	114
1.19.3	ログイン終了	114
1.20	sftp デーモンのメッセージ	116
1.20.1	ログイン成功	116
1.20.2	ログイン失敗(認証エラー)	116
1.20.3	ファイル蓄積完了	116
1.20.4	ファイル回収完了	117
1.20.5	ログイン終了	117
1.21	http のメッセージ	119
1.21.1	ログイン成功	119
1.21.2	ログイン失敗(認証エラー)	119
1.21.3	ログイン終了	119
1.22	admin/su コマンドのメッセージ	121
1.22.1	admin 成功	121
1.22.2	admin 失敗(認証エラー)	121
1.22.3	admin 終了	122
1.23	IDS のメッセージ	123

---

1.23.1	IDSによる異常パケット通知	123
1.24	IPsec/IKEのメッセージ	126
1.24.1	ISAKMP SA ネゴシエーション	126
1.24.2	IPsec SA ネゴシエーション	132
1.24.3	ISAKMP、IPsec 共通	136
1.24.4	IKE セッションの復旧	144
1.24.5	IKE セッションの障害検出	145
1.24.6	動的VPNのメッセージ	145
1.24.7	NAT トラバースル関連システムログ	152
1.24.8	RSA デジタル署名関連システムログ	152
1.25	接続先セッション監視のメッセージ	157
1.26	構成定義関連のメッセージ	158
1.26.1	ブリッジ/STP 定義無効	158
1.26.2	IEEE802.1X 認証定義無効	159
1.26.3	lan ポートバックアップ定義無効	162
1.26.4	lan 自動復旧モード定義無効	162
1.26.5	MDI 自動検出定義無効	163
1.26.6	lan 定義無効	163
1.26.7	wan 定義無効	165
1.26.8	接続先定義無効	168
1.26.9	wan 定義有効化	174
1.26.10	wan 定義無効化	175
1.26.11	接続先定義有効化	175
1.26.12	接続先定義無効化	175
1.26.13	アドレス重複	176
1.26.14	相手ネットワークまたは接続先定義無効	177
1.26.15	NAT 定義無効	177
1.26.16	NAT 変換テーブル拡張失敗	178
1.26.17	IP フィルタ定義無効	178
1.26.18	TOS/Traffic Class 値書き換え定義無効	179
1.26.19	Ingress ポリシールーティング定義無効	180
1.26.20	UPnP 関連の定義矛盾	180
1.26.21	IPv6 DHCP 関連の定義矛盾	181
1.26.22	template 定義無効	181
1.26.23	動的VPN サーバ定義無効	186
1.26.24	スイッチ定義無効	186
1.26.25	スタティック経路の優先度矛盾	187
1.26.26	スタティック経路のECMP 数オーバ	188
1.26.27	ECMP 対象となるスタティック経路のメトリック矛盾	188
1.26.28	スタティック ARP 無効	188
1.26.29	フルルート定義無効	189
1.26.30	IPv6 スタティック経路の優先度矛盾	189
1.26.31	IPv6 スタティック経路のECMP 不可	189
1.26.32	LDP の IPv4 Transport Address の設定失敗	190
1.26.33	マルチキャストのメッセージ	190
1.26.34	VRID 重複設定	193
1.26.35	仮想ルータの IP アドレスインタフェースサブネット外設定	193
1.26.36	仮想ルータの IP アドレスインタフェース同一アドレス設定	193
1.26.37	AAA グループ ID 定義異常	194
1.26.38	不当な SNMP エージェントアドレスの設定	194
1.26.39	RADIUS 機能の設定無効(他 RADIUS サーバ定義)	195
1.26.40	RADIUS 機能の設定無効(他 RADIUS クライアント定義)	195
1.26.41	AAA グループ ID 定義異常	195
1.26.42	ログインユーザの AAA 情報定義矛盾	196
1.26.43	IPv6 BGP セッション無効	196
1.27	ACL 関連のメッセージ	197
1.27.1	ACL 定義矛盾(MAC を無視)	198
1.27.2	ACL 定義矛盾(IP を無視)	198

1.27.3	ACL 定義矛盾(IPv6 を無視)	199
1.27.4	ACL 定義矛盾(TCP を無視)	199
1.27.5	ACL 定義矛盾(UDP を無視)	199
1.27.6	ACL 定義矛盾(ICMP を無視)	200
1.27.7	ACL 定義矛盾(ACL 定義存在せず)	200
1.27.8	ACL 定義矛盾(必要な定義が存在しないために無効)	201
1.28	ポリシーグループ関連のメッセージ	202
1.28.1	ポリシーグループ定義矛盾(必須定義不足)	202
1.28.2	ポリシーグループ定義矛盾(ポリシーグループ定義存在せず)	202
1.28.3	ポリシーグループ定義矛盾(nextthop 無効)	203
1.28.4	ポリシーグループ定義矛盾(nextthop6 無効)	203
1.28.5	ポリシーグループセッション監視メッセージ	204
1.29	DHCP クライアントのメッセージ	205
1.29.1	IP アドレス獲得成功	205
1.29.2	リース更新成功	205
1.29.3	リース更新失敗 1	205
1.29.4	リース更新失敗 2	206
1.29.5	リース期間満了	206
1.30	IPv6 DHCP クライアントのメッセージ	207
1.30.1	IPv6 プレフィックス獲得成功	207
1.30.2	リース更新失敗 1	207
1.30.3	リース更新失敗 2	207
1.30.4	IPv6 プレフィックス割り当ての設定誤り	208
1.31	ProxyDNS のメッセージ	209
1.31.1	DNS プロキシの問い合わせパケット	209
1.31.2	エラー検知によるパケット破棄	209
1.32	SNMP のメッセージ	211
1.32.1	SNMP 認証失敗	211
1.33	VRRP のメッセージ	212
1.33.1	VRRP グループ開始	212
1.33.2	マスタルータ/バックアップルータ/イニシャル切り替わり	212
1.33.3	インタフェースアップ/ダウントリガイベント発生	213
1.33.4	ルートアップ/ダウントリガイベント発生	213
1.33.5	ノードアップ/ダウントリガイベント発生	214
1.33.6	マスタルータダウン検出	214
1.33.7	受信 VRRP-AD TTL 異常	215
1.33.8	受信 VRRP-AD HopLimit 異常	215
1.33.9	受信 VRRP-AD 認証タイプ異常	216
1.33.10	受信 VRRP-AD 認証パスワード異常	216
1.33.11	VRRP 状態変化に対するアクション適用失敗	216
1.34	スケジュールのメッセージ	218
1.34.1	電話番号変更予約の実施	218
1.34.2	電話番号変更の失敗	218
1.35	ブリッジ/STP のメッセージ	219
1.35.1	構成変更を検出	219
1.35.2	上位ブリッジのダウンを検出	219
1.36	LLDP 関連のメッセージ	220
1.36.1	送信 LLDPDU のオーバーフロー	220
1.37	IEEE802.1X 認証のメッセージ	221
1.37.1	IEEE802.1X 認証初期化失敗	221
1.37.2	認証成功	221
1.37.3	ユーザログオフ	221
1.37.4	ユーザの強制ログオフ	222
1.37.5	メモリ不足による課金開始または課金終了の失敗	222
1.37.6	メモリ不足による認証失敗	223
1.37.7	認証サーバの通知メッセージ異常	223

1.37.8	認証再試行	223
1.37.9	最大 ID 長オーバ	224
1.37.10	ポートアクセス制御失敗	224
1.38	モデム関連のメッセージ	225
1.38.1	モデム初期化失敗	225
1.39	PC カード関連共通のメッセージ	226
1.39.1	PC カード挿入	226
1.39.2	PC カード抜去	226
1.39.3	PC カード異常	226
1.40	データ通信カード関連のメッセージ	228
1.40.1	データ通信カード初期化失敗	228
1.40.2	データ通信カード初期化失敗(構成定義 PIN 照合なし、データ通信カード PIN 照合あり)	228
1.40.3	データ通信カード初期化失敗(PIN 照合失敗)	228
1.40.4	データ通信カード初期化失敗(PIN ロック発生)	229
1.40.5	データ通信カード初期化失敗(PIN ロック状態)	229
1.40.6	データ通信カード初期化失敗(PUK ロック状態)	230
1.40.7	PIN 制御コマンド実行エラー(enable, disable, change)(PIN 照合失敗)	230
1.40.8	PIN 制御コマンド実行エラー(enable, disable, change)(PIN ロック発生)	230
1.40.9	PIN 制御コマンド実行エラー(unlock)(PUK 入力エラー)	231
1.40.10	PIN 制御コマンド実行エラー(unlock)(PUK ロック発生)	231
1.40.11	構成定義 PIN 照合あり、データ通信カード PIN 照合なしで運用中	231
1.40.12	構成定義 PIN 照合あり、データ通信カード PIN 未サポート	232
1.40.13	データ通信カード異常検出	232
1.41	無線 LAN カード関連のメッセージ	233
1.41.1	無線 LAN 設定での誤りを検知	233
1.41.2	無線 LAN アクセスポイントの同期	234
1.41.3	無線 LAN 端末の接続	235
1.41.4	無線 LAN 端末の切断	236
1.41.5	WPA 関連メッセージ	236
1.42	動的 VPN の情報交換クライアント関連のメッセージ	241
1.42.1	ユーザ ID 登録	241
1.42.2	ユーザ ID 削除	241
1.42.3	情報交換セッション確立	241
1.42.4	情報交換セッション切断	242
1.42.5	情報交換セッションの確立失敗	242
1.42.6	情報交換セッションの更新失敗	243
1.42.7	情報交換失敗応答受信	243
1.42.8	情報交換セッション開始メッセージの認証失敗	244
1.42.9	情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗	244
1.42.10	動的 VPN サーバアドレスの解決失敗	245
1.42.11	情報交換セッションの開始メッセージをリダイレクトした	245
1.42.12	情報交換セッションの開始を辞退した	245
1.43	動的 VPN サーバ関連のメッセージ	247
1.43.1	ユーザ ID の登録	247
1.43.2	ユーザ ID の削除	247
1.43.3	情報交換セッションの確立	247
1.43.4	情報交換セッションの切断	248
1.43.5	情報交換セッションの満了	248
1.43.6	情報交換セッション開始メッセージの認証失敗	248
1.43.7	情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗	249
1.44	SIP-SIP ゲートウェイ機能のメッセージ	250
1.44.1	SIP-SIP ゲートウェイ機能無効	250
1.44.2	登録成功	250
1.44.3	登録失敗	250
1.44.4	登録削除	251
1.44.5	接続	251
1.44.6	切断	252

1.44.7	接続失敗	252
1.45	AAA/RADIUS のメッセージ	254
1.45.1	RADIUS アカウンティング情報の表示	254
1.45.2	RADIUS 認証サーバ未応答	254
1.45.3	RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング開始時)	255
1.45.4	RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング終了時)	255
1.45.5	RADIUS 認証同時要求数オーバ	255
1.45.6	RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング開始時)	256
1.45.7	RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング終了時)	256
1.45.8	RADIUS 認証構成定義無効	257
1.45.9	RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング開始時)	257
1.45.10	RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング終了時)	257
1.45.11	RADIUS 認証メモリ枯渇	258
1.45.12	RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング開始時)	258
1.45.13	RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング終了時)	258
1.45.14	RADIUS 認証共有鍵不一致	259
1.45.15	RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング開始時)	259
1.45.16	RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング終了時)	260
1.45.17	ローカル認証 DB アカウンティング情報の表示	260
1.45.18	Access-Challenge の受信	260
1.45.19	Message-Authenticator 不適性	261
1.45.20	アトリビュート作成失敗(送信バッファオーバーフロー)	261
1.45.21	RADIUS 認証取り消し	262
1.45.22	RADIUS 認証サーバダウン	262
1.45.23	RADIUS 認証サーバ復旧	262
1.45.24	RADIUS アカウンティングサーバダウン	263
1.45.25	RADIUS アカウンティングサーバ復旧	263
1.45.26	認証処理失敗(メモリ枯渇)	263
1.45.27	未サポート EAP オプション受信	264
1.45.28	未サポートのパケット受信	264
1.45.29	パケットシーケンスエラー検出	264
1.45.30	メモリ枯渇による認証失敗	265
1.45.31	認証アルゴリズム不一致	265
1.45.32	端末 MAC アドレス収集限界	265
1.46	証明書関連機能のメッセージ	266
1.46.1	証明書関連情報定義矛盾	266
1.47	USB メモリ関連のメッセージ	268
1.47.1	USB メモリの挿入	268
1.47.2	USB メモリの拔出	268
1.47.3	USB デバイス接続	268
1.47.4	USB デバイス切断	268
1.47.5	USB VBUS 過電流発生	269
1.47.6	ファイルシステムの不正	269
1.47.7	I/O エラー	269
1.47.8	ファイルシステムの不整合	269
1.48	USB マスストレージ制御関連のメッセージ	270
1.48.1	USB マスストレージクラスデバイスの認識成功	270
1.48.2	USB マスストレージクラスデバイスの認識失敗	270
1.48.3	USB デバイス抜去待ち状態	270
1.48.4	USB デバイスエラー発生	270
1.48.5	USB デバイスクラス判定失敗	271
1.49	外部メディアスタート機能のメッセージ	272
1.49.1	外部メディアスタート機能の動作の開始	272
1.49.2	外部メディアスタート機能の動作開始時のログファイルエラー	272
1.49.3	外部メディアスタート機能の動作開始時のパスワード認証エラー	272
1.49.4	外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル作成エラー	272
1.49.5	外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル読み込みエラー	273
1.49.6	外部メディアスタート機能の動作開始時の状態ファイルのエラー	273

---

1.49.7	外部メディアスタート機能の動作開始時の時刻取得エラー	273
1.49.8	外部メディアスタート機能の動作の完了	273
1.49.9	外部メディアスタート機能の動作のエラー終了	273
1.50	コンフィグトライアル機能のメッセージ	275
1.50.1	コンフィグトライアル機能の動作の開始	275
1.50.2	コンフィグトライアル機能による切り戻し動作の実行	275
1.50.3	コンフィグトライアル機能による切り戻し動作のエラー終了	275
1.50.4	コンフィグトライアル機能の動作のキャンセル	275
1.51	無線 LAN 管理機能・管理監視機能のメッセージ	276
1.51.1	管理監視機能の起動	276
1.51.2	管理外無線 LAN アクセスポイントの自動削除	276
1.51.3	管理機器の消失検知 (LAN/WLAN)	276
1.51.4	不明無線 LAN アクセスポイントの初回検知	277
1.51.5	不明無線 LAN アクセスポイントの消失検知	277
1.52	無線 LAN 管理機能・稼働情報機能のメッセージ	278
1.52.1	稼働情報収集機能の起動、停止	278
1.52.2	稼働情報収集機能の状態遷移	278
1.52.3	稼働情報収集機能の処理でエラーを検知	278
1.53	無線 LAN 管理機能・機器監視機能のメッセージ	280
1.53.1	機器監視機能の起動、停止	280
1.53.2	機器監視機能の状態遷移	280
1.54	無線 LAN 管理機能・無線監視機能のメッセージ	281
1.54.1	無線監視機能の起動、停止	281
1.54.2	無線監視機能の状態遷移	281
1.54.3	無線監視機能の処理でエラーを検知	281
1.55	無線 LAN 管理機能・ログ出力機能のメッセージ	283
1.55.1	ログ出力機能の起動、停止	283
1.56	メモリ予兆監視機能関連のメッセージ	284
1.56.1	メモリ予兆監視機能メモリ枯渇状態	284
1.57	その他のメッセージ	285
1.57.1	ISDN 課金情報のクリア	285
1.57.2	モデム接続の課金情報のクリア	285
1.57.3	データ通信カード接続の課金情報のクリア	286
1.57.4	システムリセットエラー	286
1.57.5	動的定義反映実行	287
1.57.6	重複メッセージの省略	287
1.57.7	コマンド実行履歴	287
1.58	ISDN 理由表示番号一覧	289

---

## 第 1 章 システムログ情報一覧

パラメタの意味に表示される<slot> は、装置のスロット番号を示しています。  
表示内容とその意味は、以下のとおりです。

**mb**

標準搭載インタフェース(基本ボード)

**00**

slot0

**01**

slot1

**02**

slot2

**03**

slot3

---

## 1.1 システムのメッセージ

### 1.1.1 システム起動

#### 【メッセージ】

```
init: system startup now.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

システムが起動したことを示します。

### 1.1.2 システムダウン検出

#### 【メッセージ】

```
init: system down occurred. down code <code>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

動作異常によるシステムダウンを検出したエラーログ情報が存在していることを示します。

#### 【パラメタの意味】

<code>

異常検出対象となったエラーログ情報のシステムダウンコード

### 1.1.3 RTC 異常検出

#### 【メッセージ】

```
init: RTC acknowledge error occurred.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

時刻バックアップを行う RTC の動作異常を検出したことを示します。

---

## 1.2 ルーティングマネージャのメッセージ

### 1.2.1 ルーティングテーブルオーバーフロー

#### 【メッセージ】

```
nsm: routing table overflow. <route> from <protocol>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IPv4 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<route>**  
破棄した経路情報  
**<protocol>**  
プロトコル種別

### 1.2.2 スタティック経路の優先度矛盾

#### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the distance is contradictory. <route> from <protocol>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

優先度が0の経路を含んだ重複経路を登録しようとしたため、新たな経路情報を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を登録する場合、優先度0の経路を含むことはできません。

#### 【パラメタの意味】

**<route>**  
破棄した経路情報  
**<protocol>**  
プロトコル種別

### 1.2.3 スタティック経路の ECMP 数オーバ

#### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of ECMP routes has reached maximum. <route> from <protocol>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

スタティック経路の追加時に、該当経路の ECMP 数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<route>**  
破棄した経路情報  
**<protocol>**  
プロトコル種別

## 1.2.4 ECMP 対象となるスタティック経路のメトリック矛盾

### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the metric is contradictory. <route> from <protocol>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

メトリックの異なる経路を ECMP 経路として登録しようとしたため、新たな経路を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を ECMP 経路として登録する場合、メトリックが同じである必要があります。

### 【パラメタの意味】

**<route>**  
破棄した経路情報  
**<protocol>**  
プロトコル種別

## 1.2.5 スタティックエントリ数オーバーフロー

### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of static routes has reached maximum. <route> from <protocol>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

スタティック経路を追加しようとした場合に、スタティック経路のエントリ数が最大値に達していたため破棄したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<route>**  
破棄した経路情報  
**<protocol>**  
プロトコル種別

## 1.2.6 経路再登録の中断

### 【メッセージ】

```
nsm: Re-registration processing of the IPv4 route was interrupted.
```

---

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPv4 経路情報の再登録処理を中断しました。

## 1.2.7 IP アドレスの割り当て

### 【メッセージ】

```
nsm: <address> was assigned to <interface> from <protocol>.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPv4 DHCP サーバから獲得した IP アドレスをインタフェースに割り当てたことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<address>**  
IP アドレス  
**<interface>**  
インタフェース名  
**<protocol>**  
プロトコル種別

## 1.2.8 IP アドレスの重複

### 【メッセージ】

```
nsm: <address> cannot be assigned to <interface> from <protocol>, because duplicated.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPv4 DHCP サーバから獲得した IP アドレスが重複しているため、インタフェースに割り当てることができなかったことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<address>**  
IP アドレス  
**<interface>**  
インタフェース名  
**<protocol>**  
プロトコル種別

---

## 1.3 RIP のメッセージ

### 1.3.1 パケット長異常

#### 【メッセージ】

```
ripd: rcv from <src-addr> (<interface>): invalid packet length(<length>)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

受信した RIP パケットのパケット長が異常であることを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

##### <interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

##### <length>

RIP パケットのパケット長

### 1.3.2 バージョン異常

#### 【メッセージ】

```
ripd: rcv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 0 であることを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

##### <interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

##### <version>

RIP パケットの RIP バージョン番号

### 1.3.3 送信元ポート番号異常

#### 【メッセージ】

```
ripd: rcv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元ポート番号が RIP ポート番号ではないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<src-addr>**

RIP パケットの送信元 IP アドレス

**<interface>**

RIP パケットを受信したインタフェース名

**<port>**

RIP パケットの送信元ポート番号

## 1.3.4 送信元 IP アドレス異常

### 【メッセージ】

```
ripd: rcv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元アドレスが本装置のセカンダリアドレスが属しているネットワークであることを示します。

### 【パラメタの意味】

**<src-addr>**

RIP パケットの送信元 IP アドレス

**<interface>**

RIP パケットを受信したインタフェース名

## 1.3.5 アドレスファミリー異常

### 【メッセージ】

```
ripd: rcv from <src-addr> (<interface>): invalid address-family(<family>)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のアドレスファミリーが AF\_INET でないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<src-addr>**

RIP パケットの送信元 IP アドレス

**<interface>**

RIP パケットを受信したインタフェース名

**<family>**

RIP パケットで受信したアドレスファミリー

---

### 1.3.6 経路情報あて先異常

#### 【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid address (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のあて先がブロードキャストアドレス、または、ループバックアドレスであることを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

##### <interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

##### <address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

##### <mask>

RIP パケットで受信したマスク長

##### <metric>

RIP パケットで受信したメトリック

### 1.3.7 マスク長異常

#### 【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid mask (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のあて先が、マスク長の範囲を超えていることを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

##### <interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

##### <address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

##### <mask>

RIP パケットで受信したマスク長

##### <metric>

RIP パケットで受信したメトリック

---

### 1.3.8 メトリック異常

#### 【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid metric (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のメトリックが 0 である、または、16 よりも大きいことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

##### <interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

##### <address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

##### <mask>

RIP パケットで受信したマスク長

##### <metric>

RIP パケットで受信したメトリック

### 1.3.9 RIP ルーティングテーブルオーバフロー (RIP パケット受信)

#### 【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> from <src-addr>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <address>

破棄された経路情報のあて先

##### <mask>

破棄された経路情報のマスク長

##### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

### 1.3.10 RIP ルーティングテーブルオーバフロー (再配布経路受信)

#### 【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> redistribute from <protocol>
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask>

破棄された経路情報のマスク長

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

### 1.3.11 インタフェース経路情報オーバフロー

## 【メッセージ】

```
ripd: connected route overflow. <address>/<mask>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

再配布されたインタフェース経路情報が上限値に達しているため、新たなインタフェース経路情報を破棄したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask>

破棄された経路情報のマスク長

---

## 1.4 BGP4 のメッセージ

### 1.4.1 マーカフィールド異常

#### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/1 (Message Header Error/Connection Not Synchronized.) <detail>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

不当なマーカフィールドを受信したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <address>

相手装置の IP アドレス

##### <direct>

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

##### <detail>

異常となった原因の詳細情報

### 1.4.2 メッセージ長異常

#### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/2 (Message Header Error/Bad Message Length.)<detail>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

規定長範囲外のメッセージ長のメッセージを受信したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <address>

相手装置の IP アドレス

##### <direct>

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

##### <detail>

異常となった原因の詳細情報

### 1.4.3 メッセージタイプ異常

#### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/3 (Message Header Error/Bad Message Type.)<detail>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

サポート外のメッセージタイプを受信したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<direct>**

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

## 1.4.4 メッセージヘッダ異常サブエラーコード認識不可

### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 1/<subcode> (Message Header Error/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

メッセージヘッダ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<subcode>**

サブエラーコード

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

## 1.4.5 バージョン異常

### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/1 (OPEN Message Error/Unsupported Version Number.)<detail>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

サポート外の BGP バージョンのメッセージを受信したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<direct>**

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

---

<detail>

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.6 AS 番号異常

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/2 (OPEN Message Error/Bad Peer AS.) <detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

設定外の AS 番号または自側と同じ AS 番号を受信したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.7 BGP-ID 異常

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/3 (OPEN Message Error/Bad BGP Identifier.) <detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

不当な BGP-ID を受信したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.8 サポート外オプション

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/4 (OPEN Message Error/Unsupported Optional Parameter.)<detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

---

### 【意味】

サポート外のオプションを受信したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<direct>**

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

## 1.4.9 認証異常

### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/5 (OPEN Message Error/Authentication Failure.)<detail>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

認証に失敗したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<direct>**

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

## 1.4.10 HOLD 時間受け入れ不可

### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/6 (OPEN Message Error/Unacceptable Hold Time.)<detail>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

受け入れ不可な HOLD 時間を受信したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<direct>**

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

---

<detail>

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.11 ケイパビリティ受け入れ不可

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/7 (OPEN Message Error/Unsupported Capability.)<detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

受け入れ不可なケイパビリティを受信したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.12 OPEN メッセージ異常サブエラーコード認識不可

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 2/<subcode> (OPEN Message Header Error/Unrecognized Error Subcode)  
<detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

OPEN メッセージ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail>

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.13 属性異常

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/1 (UPDATE Message Error/Malformed Attribute List)<detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

受信した属性の処理中に異常が発生したことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <address>

相手装置の IP アドレス

### <direct>

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

### <detail>

異常となった原因の詳細情報

## 1.4.14 サポート外既知属性

## 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/2 (UPDATE Message Error/Unrecognized Well-known Attribute.)<detail>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

サポート外の属性を既知属性として受信したことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <address>

相手装置の IP アドレス

### <direct>

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

### <detail>

異常となった原因の詳細情報

## 1.4.15 既知属性の消失

## 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/3 (UPDATE Message Error/Missing Well-known Attribute.)<detail>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

UPDATE メッセージを受信しましたが、必要な属性がすべてそろいませんでした。

## 【パラメタの意味】

### <address>

相手装置の IP アドレス

### <direct>

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

---

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.16 属性フラグ異常

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/4 (UPDATE Message Error/Missing Well-known Attribute.)<detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

無効な属性フラグを受信したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<direct>**

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.17 属性長異常

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/5 (UPDATE Message Error/Attribute Length Error.)<detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

不当な値の属性長を受信したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<direct>**

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.18 ORIGIN 属性異常

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/6 (UPDATE Message Error/Invalid ORIGIN Attribute.)<detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

不当な値の ORIGIN 属性を受信したことを示します。

**【パラメタの意味】****<address>**

相手装置の IP アドレス

**<direct>**

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.19 メッセージループ

**【メッセージ】**

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/7 (UPDATE Message Error/AS Routing Loop.) <detail>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

相手側で経路情報を通知するメッセージが AS 間でループしていることを検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

**【パラメタの意味】****<address>**

相手装置の IP アドレス

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.20 NEXT-HOP 属性異常

**【メッセージ】**

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/8 (UPDATE Message Error/Invalid NEXT_HOP Attribute.) <detail>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

不当な値の NEXT-HOP 属性を受信したことを示します。

**【パラメタの意味】****<address>**

相手装置の IP アドレス

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

---

#### 1.4.21 オプション属性異常

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/9 (UPDATE Message Error/Optional Attribute Error.) <detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

相手側で不当なオプション属性を受信し、自側にその異常を通知したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.22 不当経路情報

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/10 (UPDATE Message Error/Invalid Network Field.) <detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

不当な値の経路情報を受信したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<direct>**

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.23 不当 AS\_PATH

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/11 (UPDATE Message Error/Malformed AS_PATH.) <detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

不当な値の AS\_PATH を受信したことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<direct>**

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

## 1.4.24 UPDATE メッセージ異常サブエラーコード認識不可

### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/<subcode> (UPDATE Message Header Error/Unrecognized Error Subcode)
<detail>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

UPDATE メッセージ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<subcode>**

サブエラーコード

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

## 1.4.25 HOLD 時間満了

### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 4/0 (Hold Timer Expired) <detail>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

相手側との無通信状態がネゴシエーションした結果の HOLD 時間を経過したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<direct>**

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

---

#### 1.4.26 内部状態矛盾

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 5/0 (Finite State Machine Error) <detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

bgpd 内部の状態に矛盾が発生したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

###### <address>

相手装置の IP アドレス

###### <direct>

“ received ” は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ” は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

###### <detail>

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.27 BGP セッション終了

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 6/0 (Cease) <detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

BGP のセッションを終了したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

###### <address>

相手装置の IP アドレス

###### <direct>

“ received ” は相手側で BGP のセッションを終了したことを示します。

“ sending ” は自側で BGP のセッションを終了したことを示します。

###### <detail>

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.28 エラーコード認識不可

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION <code>/<subcode> (Unrecognized Error Code/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

NOTIFICATION を受信し、エラーコードを認識できなかったことを示します。

**【パラメタの意味】****<address>**

相手装置の IP アドレス

**<code>**

エラーコード

**<subcode>**

サブエラーコード

**<detail>**

異常となった原因の詳細情報

#### 1.4.29 設定外装置からの接続受信

**【メッセージ】**

```
bgpd: <address> BGP connection IP address is not configured
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

設定されていない装置から接続要求を受信したことを示します。

**【パラメタの意味】****<address>**

接続要求を行った装置の IP アドレス

#### 1.4.30 BGP ルーティングテーブルオーバーフロー (UPDATE パケット受信)

**【メッセージ】**

```
bgpd: BGP routing table overflow. <route> from <address>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

BGP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】****<route>**

破棄した経路情報

**<address>**

経路情報を送信した相手装置の IP アドレス

---

#### 1.4.31 BGP ルーティングテーブルオーバフロー(再配布経路受信)

##### 【メッセージ】

```
bgpd: BGP routing table overflow. <route> redistribute from <protocol>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

BGP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<route>**

破棄した経路情報

**<protocol>**

再配布経路のルーティングプロトコル種別

#### 1.4.32 BGP セッション数オーバ

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP session is failed.(too many sessions)
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

BGP セッション数が最大数に達しているため、新たな BGP セッションの接続に失敗したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

#### 1.4.33 BGP グレースフルリスタート処理開始

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP started graceful-restart processing.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

相手装置との間でグレースフルリスタート処理を開始したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手装置の IP アドレス

---

#### 1.4.34 BGP グレースフルリスタート処理終了

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP completed graceful-restart processing.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

相手装置との間のグレースフルリスタート処理が完了したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

#### 1.4.35 BGP グレースフルリスタート中断

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP stopped graceful-restart processing by the OPEN message without restart directions.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

グレースフルリスタート処理中に、相手装置からリスタート開始指示以外の OPEN メッセージを受信したため、グレースフルリスタートの処理を中断したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

#### 1.4.36 BGP リスタートタイマ満了

##### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP stopped graceful-restart processing by timeout of a restart-timer.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

リスタートタイマがタイムアウトしたため、相手装置との間のグレースフルリスタートの処理を中断したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

---

### 1.4.37 BGP stale タイマ満了

#### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP deleted stale routes received from neighbor by timeout of a stale-timer.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

相手装置との間の stale タイマがタイムアウトしたため、相手装置から受信していた stale 経路を削除したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

### 1.4.38 4 オクテット AS 番号未サポート相手装置との接続

#### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP neighbor does not support 4-octet AS number.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

4 オクテット AS 番号をサポートしていない相手装置と接続したことを示します。  
本メッセージは本装置の AS 番号として 1.0 以上を設定した場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

### 1.4.39 BGP セッションクリア

#### 【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP session was cleared by operation command. <option>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

操作コマンドにより BGP セッションがクリアされたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<option>

操作コマンド実行時のオプション

none

BGP セッションの再接続を行ったことを示します。

---

**soft out**

経路を再広報したことを示します。

**soft in**

経路の再広報を要求したことを示します。

**soft both**

経路の再広報および再広報要求したことを示します。

#### 1.4.40 ルートリフレッシュメッセージ受信

**【メッセージ】**

```
bgpd: <address> received ROUTE-REFRESH Message. <AFI/SAFI>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

ルートリフレッシュメッセージを受信したことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<AFI/SAFI>**

指定されたアドレスファミリ

#### 1.4.41 ルートリフレッシュメッセージ送信不可

**【メッセージ】**

```
bgpd: <address> ROUTE-REFRESH Message was not transmitted. <AFI/SAFI>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

相手装置にルートリフレッシュ能力がなかったため ROUTE-REFRESH メッセージを送信しなかったことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<address>**

相手装置の IP アドレス

**<AFI/SAFI>**

指定されたアドレスファミリ

#### 1.4.42 IPv6 BGP セッション無効

**【メッセージ】**

```
bgpd: IPv6 BGP session is disable.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

---

**【意味】**

IPv6 での BGP セッションを使用できる条件を満たしていないため、機能が無効となったことを示します。  
このメッセージは、Si-R570、Si-R570B で拡張用 512M メモリモジュールが搭載されていない場合にだけ出力されます。

---

## 1.5 OSPF のメッセージ

### 1.5.1 エリア ID 不一致

#### 【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> invalid Area ID <area_id>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

インタフェースに設定されているエリア ID と受信したメッセージに設定されているエリア ID が異なっていることを示します。

#### 【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router\_id>

ルータ ID

<area\_id>

受信した OSPF メッセージヘッダに設定されているエリア ID

### 1.5.2 認証方式不一致

#### 【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> authentication type mismatch.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

インタフェースに設定されている認証方式が相手装置と異なっていることを示します。  
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

#### 【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router\_id>

ルータ ID

### 1.5.3 テキスト認証鍵不一致

#### 【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> authentication failed.
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

インタフェースに設定されているテキスト認証鍵または MD5 認証鍵 ID が相手装置と異なっていることを示します。  
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

## 【パラメタの意味】

**<interface>**  
インタフェース名  
**<address>**  
インタフェースのアドレス  
**<router\_id>**  
ルータ ID

### 1.5.4 MD5 認証鍵不一致

## 【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> md5 authentication failed.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

インタフェースに設定されている MD5 認証鍵が相手装置と異なっていることを示します。  
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

## 【パラメタの意味】

**<interface>**  
インタフェース名  
**<address>**  
インタフェースのアドレス  
**<router\_id>**  
ルータ ID

### 1.5.5 ネットワークマスク長不一致

## 【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> NetworkMask mismatch.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

<router\_id> で示すルータと自装置でインタフェースに設定されたマスク長が異なっていることを示します。

---

**【パラメタの意味】**

**<router\_id>**  
ルータ ID

### 1.5.6 Hello パケット送信間隔の不一致

**【メッセージ】**

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> HelloInterval mismatch.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

<router\_id> で示すルータと自装置で Hello パケット送信間隔の設定値が異なっていることを示します。

**【パラメタの意味】**

**<router\_id>**  
ルータ ID

### 1.5.7 隣接ルータ停止確認間隔の不一致

**【メッセージ】**

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> RouterDeadInterval mismatch.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

<router\_id> で示すルータと自装置で隣接ルータ停止確認間隔の設定値が異なっていることを示します。

**【パラメタの意味】**

**<router\_id>**  
ルータ ID

### 1.5.8 エリアタイプの不一致

**【メッセージ】**

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> option mismatch: my options: <my_option>, his options <his_option>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

<router\_id> で示すルータと自装置で、エリアタイプの設定値が異なっていることを示します。

**【パラメタの意味】**

**<router\_id>**  
ルータ ID

---

#### <my\_option>

自装置に設定されているエリアタイプ

"2 transit"

transit エリア

"0 stub"

stub エリア

"8 nssa"

準 stub エリア(nssa)

"nnn unknown"

上記以外のエリアタイプ

nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。

#### <his\_option>

router\_id で示されるルータに設定されているエリアタイプ

"2 transit"

transit エリア

"0 stub"

stub エリア

"8 nssa"

準 stub エリア(nssa)

"nnn unknown"

上記以外のエリアタイプ

nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。

### 1.5.9 LSA 最大数オーバ

#### 【メッセージ】

```
ospfd: RECV[LS-Upd]: From <router_id> LSDB overflow.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

LSDB で、LSA 最大数を超えたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<router\_id>

LSA 送信元ルータ ID

ルータ ID が自装置ルータ ID の場合、再配布経路を示します。

### 1.5.10 ルータ ID の重複

#### 【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: router-id <router_id> duplicated.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

自装置と同じルータ ID を使用する装置を検出したことを示します。

---

**【パラメタの意味】**

**<router\_id>**  
ルータ ID

1.5.11 MTU 値の不一致

**【メッセージ】**

```
ospfd: RECV[DD]: From <router_id> <interface>:<address> MTU mismatch.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

隣接ルータのインタフェースに設定されている MTU 値が、自装置よりも大きいことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<router\_id>**  
隣接ルータ ID  
**<interface>**  
インタフェース名  
**<address>**  
インタフェースのアドレス

1.5.12 SPF 計算テーブル数オーバ

**【メッセージ】**

```
ospfd: Area ID <area_id>: SPF calculation table overflow.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<area\_id>**  
SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたエリア ID

1.5.13 OSPF 作業メモリアーバ

**【メッセージ】**

```
ospfd: Temporary memory allocation failed.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

OSPF ルーティングで使用する作業メモリが許容範囲を超えたために経路情報の一部を破棄したことを示します。

---

### 1.5.14 受信可能サイズを超えたパケットの破棄

#### 【メッセージ】

```
ospfd: RECV: packet from <address> ignored. (size too big)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<address> で示すアドレスから、受信可能サイズ以上の IP パケットを受信したため該当パケットを破棄したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<address>

パケットの送信元 IP アドレス

### 1.5.15 隣接関係異常

#### 【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address> : neighbor <router_id> down detection. (<old_state> -> Down)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

OSPF 隣接ルータ停止確認間隔(dead interval)の間に Hello パケットを受信できず、隣接ルータとの OSPF 隣接関係が失われたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<interface>

自装置のインタフェース名

バーチャルリンク接続では VLINK と表示されます。

<address>

自装置のインタフェースのアドレス

<router\_id>

隣接ルータ ID

<old\_state>

隣接関係が失われる前の隣接ルータとの状態

Full, Loading, Exchange, ExStart, 2-Way のどれかの状態

### 1.5.16 connected 経路オーバフロー

#### 【メッセージ】

```
ospfd: connected route overflow. <route>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

再配布された connected 経路数が上限値に達しているため、新たな connected 経路を破棄したことを示します。

---

【パラメタの意味】

<route>

破棄した connected 経路情報

---

## 1.6 ルーティングマネージャのメッセージ (IPv6)

### 1.6.1 ルーティングテーブルオーバーフロー

#### 【メッセージ】

```
nsm: IPv6 routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <protocol>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IPv6 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<prefix>/<prefixlen>**

破棄した経路情報

**<protocol>**

プロトコル種別

### 1.6.2 IPv6 プレフィックスの割り当て

#### 【メッセージ】

```
nsm: <prefix>/<prefixlen> was assigned to <interface> from <protocol>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した IPv6 プレフィックスをインタフェースに割り当てたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<prefix>/<prefixlen>**

IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

**<interface>**

インタフェース名

**<protocol>**

プロトコル種別

### 1.6.3 IPv6 プレフィックスの重複

#### 【メッセージ】

```
nsm: <prefix/prefixlen> cannot be assigned to <interface> from <protocol>, because duplicated.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した IPv6 プレフィックスが重複しているため、インタフェースに割り当てることができなかったことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<prefix>/<prefixlen>**  
IPv6 プレフィックスとプレフィックス長  
**<interface>**  
インタフェース名  
**<protocol>**  
プロトコル種別

#### 1.6.4 IPv6 スタティック経路の優先度矛盾

### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the distance is contradictory. <prefix/prefixlen> from <protocol>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

優先度が0の経路を含んだ重複経路を登録しようとしたため、新たな経路情報を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を登録する場合、優先度0の経路を含むことはできません。

### 【パラメタの意味】

**<prefix/prefixlen>**  
破棄した経路情報  
**<protocol>**  
プロトコル種別

#### 1.6.5 IPv6 スタティック経路の ECMP 不可

### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of ECMP routes has reached maximum. <prefix/prefixlen> from <protocol>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

イコールコストとなる経路がすでに存在しているため、新たに追加しようとしたスタティック経路を破棄したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<prefix/prefixlen>**  
破棄した経路情報  
**<protocol>**  
プロトコル種別

---

## 1.6.6 IPv6 スタティックエントリ数オーバーフロー

### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of static routes has reached maximum. <prefix/prefixlen>  
from <protocol>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

スタティック経路を追加しようとした場合に、スタティック経路のエントリ数が最大値に達していたため破棄したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

## 1.6.7 経路再登録の中断

### 【メッセージ】

```
nsm: Re-registration processing of the IPv6 route was interrupted.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPv6 経路情報の再登録処理を中断しました。

---

## 1.7 RIP のメッセージ (IPv6)

### 1.7.1 パケット長異常

#### 【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid packet length(<length>)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

受信した RIP パケットのパケット長が異常であることを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

##### <interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

##### <length>

RIP パケットのパケット長

### 1.7.2 バージョン異常

#### 【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 1 でないことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

##### <interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

##### <version>

RIP パケットの RIP バージョン番号

### 1.7.3 送信元ポート番号異常

#### 【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元ポート番号が RIP ポート番号ではないことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

### <interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

### <port>

RIP パケットの送信元ポート番号

## 1.7.4 送信元 IP アドレス異常

## 【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元アドレスがリンクローカルアドレスではないことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

### <interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

## 1.7.5 ホップリミット異常

## 【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid hoplimit(<hoplimit>)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) のホップリミットが、255 ではないことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

### <interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

### <hoplimit>

RIP パケットのホップリミット

---

## 1.7.6 経路情報プレフィックス異常

### 【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid prefix (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のプレフィックスがマルチキャストアドレス、またはリンクローカルアドレス、または、ループバックアドレスであることを示します。

### 【パラメタの意味】

**<src-addr>**

RIP パケットの送信元 IP アドレス

**<interface>**

RIP パケットを受信したインタフェース名

**<prefix>**

RIP パケットで受信したプレフィックス

**<prefixlen>**

RIP パケットで受信したプレフィックス長

**<metric>**

RIP パケットで受信したメトリック

## 1.7.7 プレフィックス長異常

### 【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid prefixlen (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のプレフィックス長が 128 よりも長いことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<src-addr>**

RIP パケットの送信元 IP アドレス

**<interface>**

RIP パケットを受信したインタフェース名

**<prefix>**

RIP パケットで受信したプレフィックス

**<prefixlen>**

RIP パケットで受信したプレフィックス長

**<metric>**

RIP パケットで受信したメトリック

---

### 1.7.8 メトリック異常

#### 【メッセージ】

```
rip6d: rcv from <src-addr> (<interface>): invalid metric (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のメトリックが 0 である、または、16 よりも大きいことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

##### <interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

##### <prefix>

RIP パケットで受信したプレフィックス

##### <prefixlen>

RIP パケットで受信したプレフィックス長

##### <metric>

RIP パケットで受信したメトリック

### 1.7.9 RIP ルーティングテーブルオーバフロー (RIP パケット受信)

#### 【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <src-addr>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <prefix>

破棄された経路情報のプレフィックス

##### <prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィックス長

##### <src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

### 1.7.10 RIP ルーティングテーブルオーバフロー (再配布経路受信)

#### 【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> redistribute from <protocol>
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<prefix>

破棄された経路情報のプレフィックス

<prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィックス長

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

### 1.7.11 インタフェース経路情報オーバフロー

## 【メッセージ】

```
rip6d: connected route overflow. <prefix>/<prefixlen>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

再配布されたインタフェース経路情報数が上限値に達しているため、新たなインタフェース経路情報を破棄したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<prefix>

破棄された経路情報のプレフィックス

<prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィックス長

---

## 1.8 OSPF のメッセージ(IPv6) (Si-R180B , Si-R220C , Si-R220D , Si-R240B , Si-R570 , Si-R570B)

### 1.8.1 エリア ID 不一致

#### 【メッセージ】

```
ospf6d: RECV: From <router_id> <interface>: invalid Area ID <area_id>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

インタフェースに設定されているエリア ID と受信したメッセージに設定されているエリア ID が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<router\_id>**

隣接ルータ ID

**<interface>**

パケットを受信したインタフェース名

**<area\_id>**

受信パケットの OSPF ヘッダに設定されているエリア ID

### 1.8.2 Hello パケット送信間隔の不一致

#### 【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: HelloInterval mismatch.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<router\_id> で示すルータと自装置で、Hello パケット送信間隔の設定値が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<router\_id>**

隣接ルータ ID

**<interface>**

パケットを受信したインタフェース名

### 1.8.3 隣接ルータ停止確認間隔の不一致

#### 【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: RouterDeadInterval mismatch.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

<router\_id> で示すルータと自装置で、隣接ルータ停止確認間隔の設定値が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<router\_id>  
隣接ルータ ID  
<interface>  
パケットを受信したインタフェース名

## 1.8.4 エリアタイプの不一致

### 【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: option mismatch. my options: <my_option>, his options: <his_option>.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

<router\_id> で示すルータと自装置で、エリアタイプの設定値が異なっているため該当パケットを破棄したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<router\_id>  
隣接ルータ ID  
<interface>  
パケットを受信したインタフェース名  
<my\_option>  
自装置に設定されているエリアタイプ  
normal : normal エリア  
stub : stub エリア  
<his\_option>  
router\_id で示されるルータに設定されているエリアタイプ  
normal : normal エリア  
stub : stub エリア  
nssa : nssa エリア  
unknown : 上記以外のエリアタイプ

## 1.8.5 LSA 最大数オーバ

### 【メッセージ】

```
ospf6d: LSDB overflow. type <lsa_type> adv-router <router_id>.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

保持可能な LSA の最大数を越えたため、受信した LSA、または自装置で生成する LSA を LSDB に登録できないことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

<lsa\_type>

登録できなかった LSA のタイプ(16 進数)

<router\_id>

LSA 送信元ルータ ID、または自装置のルータ ID

## 1.8.6 ルータ ID の重複

### 【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: router-id duplicated.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

自装置と同じルータ ID を使用する装置を検出したため、該当パケットを破棄したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<router\_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

## 1.8.7 MTU 値の不一致

### 【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[DD]: From <router_id> <interface>: MTU mismatch.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

隣接ルータのインタフェースに設定されている MTU 値が、自装置のインタフェースに設定されている MTU 値よりも大きい場合、該当パケットが破棄されたことを示します。

### 【パラメタの意味】

<router\_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

## 1.8.8 受信可能サイズを超えたパケットの破棄

### 【メッセージ】

```
ospf6d: RECV: packet from <interface>:<address> ignored. (size too big)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

受信可能サイズ以上の IP パケットを受信したため、該当パケットを破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】****<interface>**

パケットを受信したインタフェース名

**<address>**

パケットの送信元リンクアドレス

### 1.8.9 隣接ルータダウンの検出

**【メッセージ】**

```
ospf6d: interface <interface>: neighbor <router_id> down detection. (<old_state>->Down)
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

<router\_id>で示す隣接ルータとの関係が、ダウンとみなされる状態に遷移したことを示します。

**【パラメタの意味】****<interface>**

自装置のインタフェース名

**<router\_id>**

隣接ルータ ID

**<old\_state>**

隣接関係が失われる前の隣接ルータとの状態

Full, Loading, Exchange, ExStart, 2-Way のどれかの状態

### 1.8.10 LSA 最大数オーバ(再配布経路受信時)

**【メッセージ】**

```
ospf6d: LSDB overflow. <route> redistribute from <protocol>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

保持可能な LSA の最大数を越えたため、受信した再配布経路に関する LSA を LSDB に登録できないことを示します。

**【パラメタの意味】****<router>**

破棄した経路情報

**<protocol>**

再配布経路のルーティングプロトコル種別

---

## 1.8.11 IPv6 OSPF 定義無効

### 【メッセージ】

```
ospf6d: IPv6 OSPF is disable.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPv6 OSPF を使用できる条件を満たしていないため、機能が無効となったことを示します。  
このメッセージは、Si-R570、Si-R570B で拡張用 512M メモリモジュールが搭載されていない場合にだけ出力されます。

---

## 1.9 LDP のメッセージ

### 1.9.1 セッションリミッタ

#### 【メッセージ】

```
ldpd: Session limit over(<number>): Clearing up adjacency for <adjacency>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

セッション最大数を超えたため、超えたセッションに対応する adjacency を破棄したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<number>**

セッション最大数

**<adjacency>**

相手 LSR の IP アドレス

### 1.9.2 FEC テーブルリミッタ

#### 【メッセージ】

```
ldpd: FEC table limit over(<number>)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

これ以上、FEC のテーブルを追加できないことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<number>**

FEC テーブル最大数

### 1.9.3 Hello Packet のバージョンの不一致

#### 【メッセージ】

```
ldpd: Version mismatch found in Hello packet received from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

異なるバージョンの Hello Packet を受信したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<address>**

相手 LSR の IP アドレス

---

#### 1.9.4 Hello Packet の LDP-ID の重複

##### 【メッセージ】

```
ldpd: LDP ID sent by peer <address> is the same as the LDP ID
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

自装置の LDP-ID と重複する Hello Packet を受信したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

#### 1.9.5 Hello Packet の LDP-ID の不一致

##### 【メッセージ】

```
ldpd: LDP ID mismatch: Cleaning up adjacency for <address>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

異なる LDP-ID の Hello Packet を受信したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

#### 1.9.6 Hello Packet の IPv4 Transport Address の不一致

##### 【メッセージ】

```
ldpd: ipv4_trans_addr mismatch: Cleaning up adjacency for <address>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

異なる IPv4 Transport Address の Hello Packet を受信したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

#### 1.9.7 Initialization Message のバージョンの不一致

##### 【メッセージ】

```
ldpd: Version mismatch with peer <address>: Cleaning up session
```

---

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

異なるバージョンの Initialization Message を受信したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

## 1.9.8 LDP ID の重複

### 【メッセージ】

```
ldpd: LDP ID in Init message does not match local LDP ID for <router_id>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

受信した Initialization Message の LDP-ID が自装置の LDP-ID と一致しなかったことを示します。

### 【パラメタの意味】

<router\_id>

LDP-ID

## 1.9.9 LDP セッションの運用可能状態への遷移

### 【メッセージ】

```
ldpd: LDP session state shifted to OPERATIONAL for <address>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

LDP セッション状態が運用可能な状態まで遷移したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

## 1.9.10 Error Notification の受信

### 【メッセージ】

```
ldpd: Error Notification message (code = <code>) received from <address>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

Error Notification メッセージを受信したことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <code>

ステータスコード

詳細はステータスコード一覧に記載

### <address>

相手 LSR の IP アドレス

## 1.9.11 Error Notification の送信

## 【メッセージ】

```
ldpd: Error Notification message (code = <code>) sent to <address>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

Error Notification メッセージを送信したことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <code>

ステータスコード

詳細はステータスコード一覧に記載

### <address>

相手 LSR の IP アドレス

[ LDP Error Notification メッセージで利用されるステータスコード一覧 ]

RFC3036 での表記	Status Code	状態の意味
Bad LDP Identifier	0x00000001	LDP-IDの不良
Bad Protocol Version	0x00000002	LDP プロトコルバージョンの不良
Bad PDU Length	0x00000003	PDU長の不良
Bad Message Length	0x00000005	メッセージ長の不良
Bad TLV length	0x00000007	TLV 長の不良
Malformed TLV Value	0x00000008	TLV 値の誤形成
Hold Timer Expired	0x00000009	Hello タイマの満了
Shutdown	0x0000000a	シャットダウン(セッション強制切断)
Session Rejected/No Hello	0x00000010	セッション拒否(Hello 近隣がない)
Session Rejected/Parameters Advertisement Mode 可)	0x00000011	セッション拒否(AdvertisementMode受け入れ不可)
Session Rejected/Parameters Max PDU Length	0x00000012	セッション拒否(最大PDU長受け入れ不可)
Session Rejected/Parameters Label Range	0x00000013	セッション拒否(ラベル範囲受け入れ不可)
KeepAlive Timer Expired	0x00000014	キープアライブタイマの満了
Session Rejected/Bad KeepAlive Time	0x00000018	セッション拒否(キープアライブの不良)
Internal Error	0x00000019	内部エラー

注) 本装置から送信されるError Notification メッセージには利用されないコードも含まれます。

---

## 1.10 通信関連のメッセージ

### 1.10.1 LAN キャリア検出

#### 【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] lan port link up
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

Ethernet 回線について、リンクアップを検出したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<line>**  
回線番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: [switch/<index>/<port>] ether port link up
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

スイッチポート上の Ethernet 回線について、リンクアップを検出したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<index>**  
スイッチ定義番号  
**<port>**  
ポート番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: master port link recover
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

スイッチデバイスと接続されるパスが確立したことを示します。

### 1.10.2 LAN キャリア喪失

#### 【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] lan port link down
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

Ethernet 回線について、リンクダウンを検出したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<slot>  
スロット番号  
<line>  
回線番号

## 【メッセージ】

```
protocol: [switch/<index>/<port>] ether port link down
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

スイッチポート上の Ethernet 回線について、リンクダウンを検出したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<index>  
スイッチ定義番号  
<port>  
ポート番号

## 【メッセージ】

```
protocol: master port error detect (<reason>)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

スイッチデバイスと接続されるパスでエラーを検出したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<reason>  
"link down": スイッチデバイスとのパス上でキャリア喪失を検出しました。

### 1.10.3 同期確立

## 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] line synchronization is established
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

回線の同期確立が完了したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、専用線、フレームリレー、ATM 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合に出力されます。

## 【パラメタの意味】

**<line>**  
対象となる回線  
**ISDN 回線、専用線、フレームリレー、ATM 回線、データ通信カードの場合**  
[<slot>/<line>]  
<slot> : スロット番号  
<line> : 回線番号  
**モデムの場合**  
[com/<no>]  
<no> : serial 定義番号

### 1.10.4 同期はずれ

## 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] line synchronization is failed
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

回線の同期はずれが発生したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、専用線、フレームリレー、ATM 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合に出力されます。

## 【パラメタの意味】

**<line>**  
対象となる回線  
**ISDN 回線、専用線、フレームリレー、ATM 回線、データ通信カードの場合**  
[<slot>/<line>]  
<slot> : スロット番号  
<line> : 回線番号  
**モデムの場合**  
[com/<no>]  
<no> : serial 定義番号

### 1.10.5 フラグ検出

## 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] wan <number> flag pattern detected
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

専用線で、相手装置からのフラグを検出したことを示します。

---

## 【パラメタの意味】

**<line>**  
対象となる回線  
[<slot>/<line>]  
<slot> : スロット番号  
<line> : 回線番号

**<number>**  
wan 定義番号

### 1.10.6 フラグ検出失敗

#### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] wan <number> flag pattern lost
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

専用線で、相手装置からのフラグを検出できなくなったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<line>**  
対象となる回線  
[<slot>/<line>]  
<slot> : スロット番号  
<line> : 回線番号

**<number>**  
wan 定義番号

### 1.10.7 回線接続

#### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] connected <ch> to <target>(<dial>) by <reason>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

発信により相手システムと接続したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カードの場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<line>**  
対象となる回線  
**ISDN 回線、データ通信カードの場合**  
[<slot>/<line>]  
<slot> : スロット番号  
<line> : 回線番号

---

#### PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> : 利用した lan 定義番号

#### モデムの場合

[com/<no>]

<no> : 利用した serial 定義番号

#### <ch>

接続物理チャネル

#### ISDN 回線の場合

B1 ~ B23ch

#### PPPoE、モデム、データ通信カードの場合

-

#### <target>

ネットワーク名、接続先名

#### <dial>

接続ダイヤル番号 (ISDN 回線、モデム、データ通信カードの場合だけ表示)

#### <reason>

発信契機

#### forwarding packet

フォワードパケット

#### ProxyDNS

ProxyDNS

#### MP

MP (ISDN 回線の場合だけ)

#### manual

手動接続

#### keep connection

回線接続保持機能 (常時接続) による接続 (ISDN 回線または PPPoE の場合だけ表示)

### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] connected <ch> from <target>(<dial>)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

着信により相手システムと接続したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合だけ出力されます。

### 【パラメタの意味】

#### <line>

対象となる回線

#### ISDN 回線、データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

#### モデムの場合

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

#### <ch>

接続物理チャネル

---

#### ISDN 回線の場合

B1 ~ B23ch

#### モデム、データ通信カードの場合

-

#### <target>

ネットワーク名.接続先名

(テンプレート着信の場合は テンプレート名.接続ユーザ ID)

#### <dial>

相手電話番号

### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> is decided as <target>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

<ch> で着信した相手が認証により<target> と判明したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合だけ出力されます。

### 【パラメタの意味】

#### <line>

対象となる回線

#### ISDN 回線、データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

#### モデムの場合

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

#### <ch>

接続物理チャネル

#### ISDN 回線の場合

B1 ~ B23ch

#### モデム、データ通信カードの場合

-

#### <target>

ネットワーク名.接続先名

(テンプレート着信の場合は テンプレート名.接続ユーザ ID)

## 1.10.8 回線切断

### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] disconnected <ch> to <target> : charge=<charge> time=<time> [<reason>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

自側より回線切断を行い、回線が切断されたことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カードの場合に出力されます。ISDN 回線の場合だけ「charge=<charge>」が表示されます。

---

## 【パラメタの意味】

### <line>

対象となる回線

**ISDN 回線、データ通信カードの場合**

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

**PPPoE の場合**

[lan<no>]

<no> : 利用した lan 定義番号

**モデムの場合**

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

### <ch>

接続物理チャネル

**ISDN 回線の場合**

B1 ~ B23ch

**PPPoE、モデム、データ通信カードの場合**

-

### <target>

ネットワーク名、接続先名(テンプレート着信の場合は テンプレート名.接続ユーザ ID)

### <charge>

通話料金(円単位)

ISDN 回線で網から通知があった場合

### <time>

接続時間(dddd.hh:mm:ss の形式)

### <reason>

切断理由(テンプレート着信の場合だけ表示)

**リモート IP アドレス重複**

same ip remote address exist(<address>)

<address> : リモート IP アドレス

**IPv6 プレフィックス重複**

same ip6 prefix exist(<prefix>/<prefixlen>)

<prefix>/<prefixlen> : IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

**同一ユーザ接続済み**

same user already connected(<user>)

<user> : ユーザ ID

**経路追加失敗**

cannot add route(<route>)

<route> : 追加できなかった経路

## 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] disconnected <ch> from <target> : charge=<charge> time=<time>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

相手側または網から回線切断が通知され、回線が切断されたことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カードの場合に出力されます。ISDN 回線の場合だけ「charge=<charge>」が表示されます。

## 【パラメタの意味】

### <line>

対象となる回線

#### ISDN 回線、データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

#### PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> : 利用した lan 定義番号

#### モデムの場合

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

### <ch>

接続物理チャネル

#### ISDN 回線の場合

B1 ~ B23ch

#### PPPoE、モデム、データ通信カードの場合

-

### <target>

ネットワーク名. 接続先名

(テンプレート着信の場合は テンプレート名.接続ユーザ ID)

### <charge>

通話料金(円単位)

ISDN 回線で網から通知があった場合

### <time>

接続時間(dddd.hh:mm:ss の形式)

## 1.10.9 課金制御機能による強制切断

## 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] forced disconnection <target> <reason>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

累計パケット数、または累計接続時間が上限値を超過したため、自側より回線切断を行うことを示します。このメッセージはデータ通信カードの場合に出力されます。

## 【パラメタの意味】

### <line>

対象となる回線

#### データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]

---

<slot> : スロット番号  
<line> : 回線番号  
**<target>**  
ネットワーク名、接続先名  
**<reason>**  
超過した内容。以下の情報のどちらかとなります。  
**total packets=<packet>**  
累計パケット数  
**total time=<day>:<hour>:<min>:<sec>**  
累計接続時間

#### 1.10.10 着信拒否

##### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] rejected call from (<dial>) because <reason>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

着信通知を拒絶したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合だけ出力されます。

##### 【パラメタの意味】

**<line>**  
対象となる回線  
**ISDN 回線、データ通信カードの場合**  
[<slot>/<line>]  
<slot> : スロット番号  
<line> : 回線番号  
**モデムの場合**  
[com/<no>]  
<no> : serial 定義番号  
**<dial>**  
相手電話番号(モデム、データ通信カードの場合: -)  
**<reason>**  
拒否理由  
**permission denied**  
着信が許可されていなかったための拒否

##### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> is not decided as any defined host, but anonymous login is not usable
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

認証により着信相手判断を行おうとしたが、一致する接続先情報がなく、また不特定相手着信ができない状態であったため、切断することを示します。このメッセージは ISDN 回線、モデムの場合だけ出力されます。

---

## 【パラメタの意味】

### <line>

対象となる回線

#### ISDN 回線の場合

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

#### モデムの場合

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

### <ch>

接続物理チャネル

#### ISDN 回線の場合

B1 ~ B23ch

#### モデムの場合

-

## 1.10.11 自動発呼の抑止中

### 【メッセージ】

```
protocol: autodial locked by <name>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

自動発信が抑止中のため、自動発信処理を中止したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、データ通信カードの場合に出力されます。

### 【パラメタの意味】

#### <name>

抑止の原因

#### schedule

スケジュール情報による抑止

#### limiter

課金制限による抑止 (ISDN 回線の場合だけ)

#### redial

3 分間に 2 回を超える再発信のため自動発信処理を中止 (ISDN 回線、モデム、データ通信カードの場合だけ)

## 1.10.12 着信抑止

### 【メッセージ】

```
protocol: callin rejected by <name>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

着信が抑止中により、着信処理を中止したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合だけ出力されます。

### 【パラメタの意味】

**<name>**  
抑止の原因  
**schedule**  
スケジュール情報による抑止

## 1.10.13 課金制御条件の制限超過

### 【メッセージ】

```
protocol: wan <number> ISDN connect limit over [<reason>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_WARNING

### 【意味】

課金制御条件の制限を超過して発信しようとしたことを示します。このメッセージは ISDN 回線の場合だけ出力されます。

### 【パラメタの意味】

**<number>**  
wan 定義番号  
**<reason>**  
超過した内容。以下の情報のどちらかとなります。  
**charge=<charge>yen**  
課金制限を超過  
**time=<day>:<hour>:<min>:<sec>**  
時間制限を超過  
課金制限および時間制限の両方が超過している場合は、課金制限超過の内容が出力されます。

## 1.10.14 連続接続失敗による発信抑止

### 【メッセージ】

```
protocol: continuous PPP negotiation error <target> : call stop
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

連続して 30 回の接続に失敗(回線は接続されるが IP 通信ができずに失敗の場合)し、発信を禁止したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カードの場合に出力されます。

### 【パラメタの意味】

**<target>**  
ネットワーク名.接続先名

---

### 1.10.15 PPP ネゴシエーション失敗

#### 【メッセージ】

```
protocol: <protocol> is closed by <target>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<protocol>が相手から終了させられ、そのデータ回線上で<protocol>で示されたプロトコルでの通信が行えなくなったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <protocol>

終了させられたプロトコル

##### IPCP

IPv4 用のプロトコル名

##### IPV6CP

IPv6 用のプロトコル名

##### BCP

ブリッジ用のプロトコル名

##### <target>

ネットワーク名、接続先名

### 1.10.16 発信失敗

#### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (dial busy) : detail [<status>/<state>/<reason>(<code>)]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

相手話中による発信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線モデム、およびデータ通信カードの場合だけ出力されます。

#### 【パラメタの意味】

##### <line>

対象となる回線

##### ISDN 回線、データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

##### モデムの場合

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

##### <status>

エラーステータス

##### <state>

呼状態

---

**<reason>**

理由表示

**<code>**

理由表示番号

詳細は「ISDN 理由表示番号一覧」を参照してください。

モデム、およびデータ通信カードの場合、detail 以下は表示されません。

## 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (auth rejected)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

相手より認証で拒絶されたことによる発信失敗を示します。

## 【パラメタの意味】

**<line>**

対象となる回線

**ISDN 回線、データ通信カードの場合**

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

**PPPoE の場合**

[lan<no>]

<no> : 利用した lan 定義番号

**モデムの場合**

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

**<ch>**

接続物理チャネル

**ISDN 回線の場合**

B1 ~ B23ch

## 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (auth deny)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

相手を拒絶したことによる発信失敗を示します。

## 【パラメタの意味】

**<line>**

対象となる回線

**ISDN 回線、データ通信カードの場合**

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

---

#### PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> : 利用した lan 定義番号

#### モデムの場合

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

#### <ch>

接続物理チャネル

#### ISDN 回線の場合

B1 ~ B23ch

### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (negotiation)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

PPP ネゴシエーション失敗による発信失敗を示します。

### 【パラメタの意味】

#### <line>

対象となる回線

#### ISDN 回線、データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

#### PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> : 利用した lan 定義番号

#### モデムの場合

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

#### <ch>

接続物理チャネル

#### ISDN 回線の場合

B1 ~ B23ch

### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (other reason) : detail [<status>/<state>/<reason>(<code>)]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

detail で示される理由による発信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合だけ出力されます。

---

## 【パラメタの意味】

### <line>

対象となる回線

ISDN 回線、データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

### モデムの場合

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

### <status>

エラーステータス

### <state>

呼状態

### <reason>

理由表示

### <code>

理由表示番号

詳細は「ISDN 理由表示番号一覧」を参照してください。

モデム、およびデータ通信カードの場合、detail 以下は表示されません。

## 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (alert timeout)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

相手が呼び出し応答を行い、着信応答をしないことによる発信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線の場合にだけ出力されます。

## 【パラメタの意味】

### <line>

対象となる回線

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

## 1.10.17 着信失敗

## 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callin failed (auth rejected)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

相手より認証で拒絶されたことによる着信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線の場合にだけ出力されます。

---

## 【パラメタの意味】

### <line>

対象となる回線

#### ISDN 回線の場合

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

### <ch>

接続物理チャネル

#### ISDN 回線の場合

B1 ~ B23ch

## 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callin failed (auth deny)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

相手を認証で拒絶したことによる着信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合にだけ出力されます。

## 【パラメタの意味】

### <line>

対象となる回線

#### ISDN 回線、データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

#### モデムの場合

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

### <ch>

接続物理チャネル

#### ISDN 回線の場合

B1 ~ B23ch

## 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callin failed (negotiation)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

PPP ネゴシエーション失敗による着信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合にだけ出力されます。

---

## 【パラメタの意味】

### <line>

対象となる回線

**ISDN 回線、データ通信カードの場合**

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

**モデムの場合**

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

### <ch>

接続物理チャネル

**ISDN 回線の場合**

B1 ~ B23ch

## 1.10.18 回線エラー

### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> disconnected by peer : detail [<status>/<state>/<reason>(<code>)]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

予期しないで相手から切断されたことを示します。このエラーは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合だけ出力されます。

### 【パラメタの意味】

#### <line>

対象となる回線

**ISDN 回線、データ通信カードの場合**

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

**モデムの場合**

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

#### <ch>

接続物理チャネル

**ISDN 回線の場合**

B1 ~ B23ch

#### <status>

エラーステータス

#### <state>

呼状態

#### <reason>

理由表示

#### <code>

理由表示番号

詳細は「ISDN 理由表示番号一覧」を参照してください。

---

モデム、およびデータ通信カードの場合、detail 以降は表示されません。

### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> line error : detail [<status>/<state>/<reason>(<code>)]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

回線エラーが発生したことを示します。このエラーは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合だけ出力されます。

### 【パラメタの意味】

#### <line>

対象となる回線

**ISDN 回線、データ通信カードの場合**

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

**モデムの場合**

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

#### <ch>

接続物理チャネル

**ISDN 回線の場合**

B1 ~ B23ch

#### <status>

エラーステータス

#### <state>

呼状態

#### <reason>

理由表示

#### <code>

理由表示番号

詳細は「ISDN 理由表示番号一覧」を参照してください。

モデム、およびデータ通信カードの場合、detail 以下は表示されません。

### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <target> is disconnected, because <reason>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

ISDN 回線、PPPoE のセッション、モデム接続、またはデータ通信カード接続が切断された理由を示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カードの場合に出力されます。

### 【パラメタの意味】

#### <line>

対象となる回線

---

**ISDN 回線、データ通信カードの場合**

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

**PPPoE の場合**

[lan<no>]

<no> : 利用した lan 定義番号

**モデムの場合**

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

**<target>**

ネットワーク名.接続先名

**<reason>**

切断理由

**no carrier**

キャリアロスト検出のため(PPPoE の場合だけ)

**PADT received**

相手から PADT を受信したため(PPPoE の場合だけ)

**keepalive expired**

相手からの受信がまったくなくなったため

## 1.10.19 発信ログ

### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by forwarding packet: <protocol> <sa>(<sp>)-><da>(<dp>)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

パケット送信により発信処理を行ったことを示します(IPv4/IPv6)。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カードの場合に出力されます。

### 【パラメタの意味】

**<line>**

対象となる回線

**ISDN 回線、データ通信カードの場合**

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

**PPPoE の場合**

[lan<no>]

<no> : 利用した lan 定義番号

**モデムの場合**

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

**<target>**

ネットワーク名

**<protocol>**

発信契機となったパケットの上位プロトコル TCP/UDP/ICMP/ICMPV6 の場合は文字列で表示され、それ以外の場合は数値で表示されます。

---

**<sa>**

パケットの送信元アドレス

**<sp>**

パケットの送信元ポート番号(TCP/UDP の場合だけ)

**<da>**

パケットのあて先アドレス

**<dp>**

パケットのあて先ポート番号(TCP/UDP の場合だけ)

### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by bridging packet: <format>:<type>-<sa>-><da>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

パケット送信により発信処理を行ったことを示します(bridge)。このメッセージは ISDN 回線、モデム、およびデータ通信カードの場合に出力されます。

### 【パラメタの意味】

**<line>**

対象となる回線

**ISDN 回線、データ通信カードの場合**

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

**モデムの場合**

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

**<target>**

ネットワーク名

**<format>**

パケットフォーマット

**Ethernet**

Ethernet 形式

**LLC**

LLC 形式

**<type>**

パケットタイプ

**<sa>**

パケットの送信元 MAC アドレス

**<da>**

パケットのあて先 MAC アドレス

### 【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by <reason>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

上記以外の理由により発信処理を行ったことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、モデム、およびデータ通信カードの場合に出力されます。

## 【パラメタの意味】

### <line>

対象となる回線

#### ISDN 回線、データ通信カードの場合

[<slot>/<line>]

<slot> : スロット番号

<line> : 回線番号

#### PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> : 利用した lan 定義番号

#### モデムの場合

[com/<no>]

<no> : serial 定義番号

### <target>

ネットワーク名

### <reason>

発信理由

#### STP packet

発信契機が STP パケットであった場合

#### ProxyDNS

発信契機が ProxyDNS であった場合

## 1.10.20 閉塞状態への移行

### 【メッセージ】

```
protocol: <name> is force down
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

障害検出またはオペレータ指示によって、閉塞状態に移行したことを示します。

### 【パラメタの意味】

#### <name>

ネットワーク名. 接続先名(WAN 側の場合)

インタフェース名(LAN 側の場合)

スイッチ定義番号とポート番号(スイッチ側の場合)

## 1.10.21 認証メモリ枯渇

### 【メッセージ】

```
protocol: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

接続相手の認証で、メモリ枯渇が発生したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

## 【メッセージ】

```
protocol: authentication request failed for <mac_address> on aaa <group_id>: memory allocation failed.  
[lan<no>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

MAC アドレス認証で、メモリ枯渇が発生したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<mac\_address>  
MAC アドレス認証対象端末の MAC アドレス  
<group\_id>  
AAA グループ ID  
<no>  
LAN インタフェース番号

### 1.10.22 アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング開始時)

## 【メッセージ】

```
protocol: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

メモリが枯渇したことにより、アカウンティング開始を通知できなかったことを示します。

## 【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

---

### 1.10.23 アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング終了時)

#### 【メッセージ】

```
protocol: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

メモリが枯渇したことにより、アカウンティング終了を通知できなかったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

### 1.10.24 ARP 認証端末数超過

#### 【メッセージ】

```
protocol: ARP authentication table overflow
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ARP 認証機能が管理可能な端末数を超過して ARP パケットを受信したことを示します。

---

## 1.11 ATM のメッセージ

### 1.11.1 VP 故障検出

#### 【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] VP(<vpi>) became inactive by fault detection
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ATM 回線で、VP 故障を検出したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<line>**  
回線番号  
**<vpi>**  
VPI 値

### 1.11.2 VP 故障回復検出

#### 【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] VP(<vpi>) was recovered
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ATM 回線で、VP 故障からの回復を検出したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<line>**  
回線番号  
**<vpi>**  
VPI 値

### 1.11.3 VC 故障検出

#### 【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] <target> (VC:<vpi>/<vci>) became inactive by fault detection
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

ATM 回線で、VC 故障を検出したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<line>**  
回線番号  
**<target>**  
相手定義番号. 接続先定義番号  
**<vpi>**  
VPI 値  
**<vci>**  
VCI 値

### 1.11.4 VC 不達検出

## 【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] <target> (VC:<vpi>/<vci>) became inactive by fault loopback timeout
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

ATM 回線で ATM 到達性監視中に到達性異常を検出したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<line>**  
回線番号  
**<target>**  
相手定義番号. 接続先定義番号  
**<vpi>**  
VPI 値  
**<vci>**  
VCI 値

### 1.11.5 VC 故障回復検出

## 【メッセージ】

```
protocol: [<slot>/<line>] <target> (VC:<vpi>/<vci>) was recovered
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

ATM 回線で、VC 故障から、または不達からの回復を検出したことを示します。

---

## 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<line>**

回線番号

**<target>**

相手定義番号. 接続先定義番号

**<vpi>**

VPI 値

**<vci>**

VCI 値

---

## 1.12 フレームリレーのメッセージ

### 1.12.1 CLLM メッセージ受信

#### 【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] received CLLM(<kind>) about <remote_name>(DLCI:<dLCI>)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

CLLM メッセージを受信したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <slot>

スロット番号

##### <line>

回線番号

##### <kind>

CLLM メッセージの種類

2

トラフィックによる軽輻輳

3

トラフィックによる重輻輳

6

装置故障(短時間)

7

装置故障(長時間)

10

保守動作(短時間)

11

保守動作(長時間)

16

原因不明の軽輻輳

17

原因不明の重輻輳

輻輳通知を受けた場合はスループットを減少させます。

装置故障通知または保守動作通知を受けた PVC をインアクティブにします。

##### <remote\_name>

相手ネットワーク名、接続先名

##### <dLCI>

通信内容に該当する DLCI

### 1.12.2 PVC 状態アクティブ

#### 【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dLCI>) became active
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

PVC 状態確認手順のフル状態表示または単一 PVC 非同期状態表示によって PVC がアクティブとなったことを示します。

## 【パラメタの意味】

<slot>  
スロット番号  
<line>  
回線番号  
<remote\_name>  
相手ネットワーク名、接続先名  
<dldci>  
アクティブとなった PVC の DLCI

### 1.12.3 PVC 状態インアクティブ

## 【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dldci>) became inactive
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

PVC 状態確認手順のフル状態表示または単一 PVC 非同期状態表示によって PVC がインアクティブとなったことを示します。

## 【パラメタの意味】

<slot>  
スロット番号  
<line>  
回線番号  
<remote\_name>  
相手ネットワーク名、接続先名  
<dldci>  
インアクティブとなった PVC の DLCI

### 1.12.4 CLLM メッセージ軽輻輳通知による PVC アクティブ

## 【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dldci>) became active by CLLM light
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

CLLM メッセージの軽輻輳通知によって PVC がアクティブとなったことを示します。

---

## 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<line>**  
回線番号  
**<remote\_name>**  
相手ネットワーク名、接続先名  
**<dldci>**  
アクティブとなった PVC の DLCI

### 1.12.5 CLLM メッセージ重輻輳通知による PVC アクティブ

#### 【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dldci>) became active by CLLM serious
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

CLLM メッセージの重輻輳通知によって PVC がアクティブとなったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<line>**  
回線番号  
**<remote\_name>**  
相手ネットワーク名、接続先名  
**<dldci>**  
アクティブとなった PVC の DLCI

### 1.12.6 CLLM メッセージ装置故障通知または保守動作通知による PVC インアクティブ

#### 【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dldci>) became inactive by CLLM stop
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

CLLM メッセージの装置故障通知または保守動作通知によって PVC がインアクティブとなったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<line>**  
回線番号  
**<remote\_name>**  
相手ネットワーク名、接続先名

---

**<dldci>**  
インアクティブとなった PVC の DLCI

### 1.12.7 T2 タイマタイムアウトによる PVC アクティブ

#### 【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] <remote_name>(DLCI:<dldci>) became active by T2-timer timeout
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

CLLM 回復タイマ(T2)のタイムアウトによって PVC がアクティブとなったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<line>**  
回線番号  
**<remote\_name>**  
相手ネットワーク名、接続先名  
**<dldci>**  
アクティブとなった PVC の DLCI

### 1.12.8 PVC 状態確認手順による回線異常検出

#### 【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] PVC link was disconnected
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

PVC 状態確認手順により回線異常を検出します。

最新の 4 回の「状態問い合わせ」メッセージの送信に対し、「状態表示」メッセージ未受信または無効メッセージ受信のエラーを 3 回以上検出したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<line>**  
回線番号

### 1.12.9 PVC 状態確認手順による回線異常状態からの回復

#### 【メッセージ】

```
frctl: [<slot>/<line>] PVC link recover
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

PVC 確認手順により検出した回線異常状態から回復した。

3 回連続して正しい「状態表示」メッセージを受信したことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<slot>**

スロット番号

**<line>**

回線番号

---

## 1.13 PPPoE のメッセージ

### 1.13.1 PPPoE ディスカバリステージ失敗

#### 【メッセージ】

```
protocol: [lan<no>] PPPoE Discovery failed to <target> : reason=<reason> state=<state>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

PPPoE のディスカバリステージ(PPPoE セッションを確立するためのネゴシエーション)が失敗したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <target>

ネットワーク名.接続先名

##### <reason>

失敗理由

**sync failed**

同期はずれ

**datalink config error**

データリンクの設定に誤りがある

**wait timeout**

期待するパケットを受信できずにタイムアウトした

**negotiation error**

ネゴシエーションエラー

##### <state>

PPPoE の内部状態

**Initial**

初期状態

**waitPADO**

PADO 受信待ち

**waitPADS**

PADS 受信待ち

---

## 1.14 セキュリティメッセージ

### 1.14.1 ProxyDNS による DNS 要求破棄

#### 【メッセージ】

```
proxydns: rejected by <no> : QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

#### 【意味】

ProxyDNS で、破棄指定により破棄されたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<no>**  
reject を行った proxydns 命令の転送先定義番号  
**<type>**  
問い合わせタイプ  
**<qname>**  
問い合わせホスト名  
**<ipaddr>**  
発信元ホストの IP アドレス

### 1.14.2 ProxyDNS による unicode DNS 要求の破棄

#### 【メッセージ】

```
proxydns: rejected by unknown character : QTYPE [<type>] from <ipaddr>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

#### 【意味】

ProxyDNS で、非表示文字の破棄指定により破棄されたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<type>**  
問い合わせタイプ  
**<ipaddr>**  
発信元ホストの IP アドレス

### 1.14.3 IP フィルタによるパケット破棄

#### 【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

---

## 【意味】

IP フィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <name>

ネットワーク名(WAN 側の場合)、インタフェース名(LAN 側またはテンプレート着信の場合)

### <no>

フィルタリング定義番号

破棄を行った IP フィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当しないで、lan ip filter default、または remote ip filter default、または template ip filter default の定義に従って破棄を行った場合、“ default ” と出力されます。

特殊フィルタルールに適合した場合は、その内容が出力されます。

### same address

source/destination と同じアドレス

### tiny fragment

tiny fragment を検出

### overlap fragment

overlap fragment を検出

### <P>

プロトコル種別(TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号)

TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S)と出力されます。

### <SA>

送信元 IP アドレス

### <SP>

送信元ポート番号(プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

### <DA>

あて先 IP アドレス

### <DP>

あて先ポート番号(プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

## 1.14.4 PPP 着信拒否

## 【メッセージ】

```
protocol: rejected call from <target>(<dial>) by PPP:<reason>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

## 【意味】

PPP ネゴシエーション中に着信を拒否したことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <target>

ネットワーク名.接続先名

### <dial>

接続ダイヤル番号

### <reason>

認証失敗理由

authentication rejected

認証利用そのものを拒否

---

**wrong account(<id>)**

不正認証情報受信(<id>に ID 情報を出力)

#### 1.14.5 DHCP サーバのアドレス配布

##### 【メッセージ】

```
dhcpd: Server allocation <ip_address> to <mac_address>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

##### 【意味】

DHCP サーバが DHCP クライアントにアドレスを配布したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<ip\_address>**

DHCP クライアントに配布した IP アドレス

**<mac\_address>**

DHCP クライアントの MAC アドレス

#### 1.14.6 DHCP クライアントからの要求の拒否

##### 【メッセージ】

```
dhcpd: DHCP request from <mac_address> rejected
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

##### 【意味】

MAC アドレスが登録されていないため、DHCP クライアントからの要求を拒否したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<mac\_address>**

DHCP クライアントの MAC アドレス

#### 1.14.7 IPv6 フィルタによるパケット破棄

##### 【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <P> <SA>(<SP>) -> <DA>(<DP>)
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

##### 【意味】

IPv6 フィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<name>**

ネットワーク名(WAN 側の場合)、

インタフェース名(LAN 側またはテンプレート着信の場合)

---

<no>

フィルタリング定義番号

破棄を行った IPv6 フィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当しないで、lan ip6 filter default、または remote ip6 filter default、または template ip6 filter default の定義に従って破棄を行った場合、“ default ” と出力されます。

特殊フィルタルールに適合した場合は、その内容が出力されます。

**same address**

source/destination とともに同じアドレス

**tiny header**

tiny header を検出

**tiny fragment**

tiny fragment を検出

**overlap fragment**

overlap fragment を検出

**default restrict**

デフォルトフィルタに適合

<P>

プロトコル種別(TCP,UDP,ICMPV6,その他は番号)TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S)と出力されます。

<SA>

送信元 IPv6 アドレス

<SP>

送信元ポート番号(プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

<DA>

あて先 IPv6 アドレス

<DP>

あて先ポート番号(プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

## 1.14.8 NAT によるパケット破棄

### 【メッセージ】

```
protocol: rejected at NAT(<name>.<reason>) : <P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

### 【意味】

NAT で、変換テーブルがなかったことにより破棄されたことを示します。

### 【パラメタの意味】

<name>

ネットワーク名

<reason>

破棄理由

特殊フィルタルールに適合した場合は、その内容が出力されます。

**tiny fragment**

tiny fragment を検出

**overlap fragment**

overlap fragment を検出

<P>

プロトコル種別(TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号)

TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S)と出力されます。

---

<SA>

送信元 IP アドレス

<SP>

送信元ポート番号(プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

<DA>

あて先 IP アドレス

<DP>

あて先ポート番号(プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

### 1.14.9 NAT 変換テーブル作成

#### 【メッセージ】

```
protocol: NAT:table: <P> <SA> -> <DA>:<DP>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

#### 【意味】

NAT で、通信を契機に NAT 変換テーブルを作成したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<P>

NAT 変換テーブルのプロトコル種別(TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号)

基本 NAT によるテーブル作成の場合は、ALL と出力されます。

<SA>

NAT 変換テーブルのプライベート IP アドレス

アプリケーション対応でプライベート IP アドレスに any を指定したテーブルを作成した場合は、"0.0.0.0"が出力されます。

<DA>

NAT 変換テーブルの相手側 IP アドレス

アプリケーション対応で相手側 IP アドレスに any を指定したテーブルを作成した場合は、"0.0.0.0"が出力されます。

<DP>

NAT 変換テーブルの相手側ポート番号(プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

アプリケーション対応で相手側ポート番号に any を指定したテーブルを作成した場合は、"0"が出力されます。

### 1.14.10 IPv6 DHCP サーバのアドレス配布

#### 【メッセージ】

```
dhcp6sd: Server allocation <address> to <duid>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

#### 【意味】

IPv6 DHCP サーバが IPv6 DHCP クライアントにアドレスを配布したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<address>

IPv6 DHCP クライアントに配布した IPv6 アドレス

---

**<duid>**

IPv6 DHCP クライアントの DUID

#### 1.14.11 IPv6 DHCP サーバのプレフィックス配布

##### 【メッセージ】

```
dhcp6sd: Server delegation <prefix>/<prefixlen> to <duid> on <interface>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

##### 【意味】

IPv6 DHCP サーバが IPv6 DHCP クライアントに IPv6 プレフィックスを配布したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<prefix>/<prefixlen>**

IPv6 DHCP クライアントに配布した IPv6 プレフィックス

**<duid>**

IPv6 DHCP クライアントの DUID

**<interface>**

インタフェース名

#### 1.14.12 アプリケーションフィルタによるパケット破棄

##### 【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <SA> -> <DA>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

##### 【意味】

アプリケーションフィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<name>**

サーバ機能名

**<no>**

フィルタリング定義番号

破棄を行ったアプリケーションフィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当しないで、デフォルト定義に従って破棄を行った場合、“default”と出力されます。

**<SA>**

送信元アドレス

**<DA>**

あて先アドレス

#### 1.14.13 不正端末アクセスの検出

##### 【メッセージ】

```
protocol: the unidentified terminal was detected: MAC=<mac_address> [lan<no>]
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

## 【意味】

MAC アドレス認証に失敗したことで、不正端末アクセスを検出したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<mac\_address>

不正端末の MAC アドレス

<no>

検出した LAN インタフェース番号

### 1.14.14 認証失敗

## 【メッセージ】

```
authd: Supplicant is denied on lan<number> [<mac_addr> user=<username>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

## 【意味】

IEEE802.1X 認証により認証が拒否されたことを示します。

## 【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<mac\_addr>

認証される端末の MAC アドレス

<username>

ユーザ名

### 1.14.15 不正 MAC アドレス検出

## 【メッセージ】

```
protocol: ARP authentication illegal MAC address detected <mac_address>(<ip_address>) [lan <no>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

## 【意味】

ARP 認証機能が登録されていない MAC アドレスを検出したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<mac\_address>

登録されていない MAC アドレス

<ip\_address>

ARP パケットの送信元 IP アドレス

<no>

lan 定義番号

---

## 1.14.16 登録済み MAC アドレス検出

### 【メッセージ】

```
protocol: ARP authentication accepted <mac_address>(<ip_address>) [lan <no>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

### 【意味】

ARP 認証機能が登録されている MAC アドレスを検出したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<mac\_address>**

登録されている MAC アドレス

**<ip\_address>**

ARP パケットの送信元 IP アドレス

**<no>**

lan 定義番号

---

## 1.15 コンソールのメッセージ

### 1.15.1 ログイン成功

#### 【メッセージ】

```
logon: login <user> as <class> on console
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

コンソールで正常にログインできた場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**  
ログインユーザ名  
**<class>**  
ログインクラス  
**admin**  
管理者クラス  
**user**  
一般ユーザクラス

### 1.15.2 ログイン失敗(認証エラー)

#### 【メッセージ】

```
logon: failed login <user> on console
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

コンソールでログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**  
ログインユーザ名

### 1.15.3 ログアウト

#### 【メッセージ】

```
logon: exit <user> as <class> on console [<reason>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

コンソールで exit した場合に出力されます。consoleinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

---

## 【パラメタの意味】

### <user>

ログインユーザ名

### <class>

ログインクラス

**admin**

管理者クラス

**user**

一般ユーザクラス

### <reason>

なし

exit コマンド実行によるログアウト

**autologout**

無操作監視による強制ログアウト

---

## 1.16 telnet デーモンのメッセージ

### 1.16.1 ログイン成功

#### 【メッセージ】

```
telnetd: login <user> as <class> on telnet from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

telnet で正常にログインできた場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**  
ログインユーザ名

**<address>**  
telnet 接続元アドレス

**<class>**  
ログインクラス  
**admin**  
管理者クラス  
**user**  
一般ユーザクラス

### 1.16.2 ログイン失敗(認証エラー)

#### 【メッセージ】

```
telnetd: failed login <user> on telnet from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

telnet でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**  
ログインユーザ名

**<address>**  
telnet 接続元アドレス

### 1.16.3 ログイン終了

#### 【メッセージ】

```
telnetd: exit <user> as <class> on telnet from <address> [(<reason>)]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

telnet で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

## 【パラメタの意味】

### <user>

ログインユーザ名

### <address>

telnet 接続元アドレス

### <class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

### <reason>

なし

exit コマンド実行によるログアウト

autologout

無操作監視による強制ログアウト

exclusive

コンソールログインによる排他ログアウト

---

## 1.17 ftp デーモンのメッセージ

### 1.17.1 ログイン成功

#### 【メッセージ】

```
ftpd: login <user> as <class> on ftp from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ftp で正常にログインできた場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**

ログインユーザ名

**<class>**

ログインクラス

**admin**

管理者クラス

**user**

一般ユーザクラス

**<address>**

クライアントの IP アドレス

### 1.17.2 ログイン失敗(認証エラー)

#### 【メッセージ】

```
ftpd: failed login <user> on ftp from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ftp でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**

ログインユーザ名

**<address>**

クライアントの IP アドレス

### 1.17.3 ファイル蓄積完了

#### 【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Write complete
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

ファイル蓄積(クライアントからの put)により ROM が上書きされたことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<filename>**

上書きされたファイル名

#### 1.17.4 ファイル回収完了

**【メッセージ】**

```
ftpd: <filename> Read complete
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

ファイル回収(クライアントからの get)により ROM が読み出されたことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<filename>**

読み出されたファイル名

#### 1.17.5 ログイン終了

**【メッセージ】**

```
ftpd: exit <user> as <class> on ftp from <address> [(<reason>)]
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

ftp でのログインを終了した場合に出力されます。

15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

**【パラメタの意味】**

**<user>**

ログインユーザ名

**<class>**

ログインクラス

**admin**

管理者クラス

**user**

一般ユーザクラス

**<address>**

クライアントの IP アドレス

**<reason>**

なし

exit コマンド実行によるログアウト

---

**autologout**

無操作監視による強制ログアウト

**exclusive**

コンソールログインによる排他ログアウト

---

## 1.18 ssh デーモンのメッセージ

### 1.18.1 ssh ホスト認証鍵生成開始

#### 【メッセージ】

```
sshd: generating public/private host key pair.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

本装置の ssh ホスト認証鍵の生成を開始した場合に出力されます。

### 1.18.2 ssh ホスト認証鍵生成完了

#### 【メッセージ】

```
sshd: generated public/private host key pair.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

本装置の ssh ホスト認証鍵の生成を完了した場合に出力されます。  
本メッセージ出力後に ssh 接続できるようになります。

### 1.18.3 ログイン失敗(認証エラー)

#### 【メッセージ】

```
sshd: failed login <user> on ssh/sftp from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ssh または sftp でユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

---

## 1.19 ssh ログインデーモンのメッセージ

### 1.19.1 ログイン成功

#### 【メッセージ】

```
sshlogin: login <user> as <class> on ssh from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ssh で正常にログインできた場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**  
ログインユーザ名

**<class>**  
ログインクラス

**admin**  
管理者クラス

**user**  
一般ユーザクラス

**<address>**  
クライアントの IP アドレス

### 1.19.2 ログイン失敗(認証エラー)

#### 【メッセージ】

```
sshlogin: failed login <user> on ssh from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ssh でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**  
ログインユーザ名

**<address>**  
クライアントの IP アドレス

### 1.19.3 ログイン終了

#### 【メッセージ】

```
sshlogin: exit <user> as <class> on ssh from <address> [(<reason>)]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

ssh で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

## 【パラメタの意味】

### <user>

ログインユーザ名

### <class>

ログインクラス

**admin**

管理者クラス

**user**

一般ユーザクラス

### <address>

クライアントの IP アドレス

### <reason>

なし

exit コマンド実行によるログアウト

**autologout**

無操作監視による強制ログアウト

**exclusive**

コンソールログインによる排他ログアウト

---

## 1.20 sftp デーモンのメッセージ

### 1.20.1 ログイン成功

#### 【メッセージ】

```
sftpd: login <user> as <class> on sftp from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

sftp で正常にログインできた場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**  
ログインユーザ名  
**<class>**  
ログインクラス  
**admin**  
管理者クラス  
**user**  
一般ユーザクラス  
**<address>**  
クライアントの IP アドレス

### 1.20.2 ログイン失敗(認証エラー)

#### 【メッセージ】

```
sftpd: failed login <user> on sftp from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

sftp でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**  
ログインユーザ名  
**<address>**  
クライアントの IP アドレス

### 1.20.3 ファイル蓄積完了

#### 【メッセージ】

```
sftpd: <filename> Write complete
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

ファイル蓄積(クライアントからの put)により ROM が上書きされたことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<filename>**

上書きされたファイル名

#### 1.20.4 ファイル回収完了

**【メッセージ】**

```
sftpd: <filename> Read complete
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

ファイル回収(クライアントからの get)により ROM が読み出されたことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<filename>**

読み出されたファイル名

#### 1.20.5 ログイン終了

**【メッセージ】**

```
sftpd: exit <user> as <class> on sftp from <address> [(<reason>)]
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

sftp でのログインを終了した場合に出力されます。

15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

**【パラメタの意味】**

**<user>**

ログインユーザ名

**<class>**

ログインクラス

**admin**

管理者クラス

**user**

一般ユーザクラス

**<address>**

クライアントの IP アドレス

**<reason>**

なし

exit コマンド実行によるログアウト

---

**autologout**

無操作監視による強制ログアウト

**exclusive**

コンソールログインによる排他ログアウト

---

## 1.21 http のメッセージ

### 1.21.1 ログイン成功

#### 【メッセージ】

```
httpd: login <user> as <class> on http from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

http で正常にログインできた場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**  
ログインユーザ名

**<class>**  
ログインクラス

**admin**  
管理者クラス

**user**  
一般ユーザクラス

**<address>**  
http 接続元アドレス

### 1.21.2 ログイン失敗(認証エラー)

#### 【メッセージ】

```
httpd: failed login <user> on http from <address>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

http でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<user>**  
ログインユーザ名

**<address>**  
http 接続元アドレス

### 1.21.3 ログイン終了

#### 【メッセージ】

```
httpd: exit <user> as <class> on http from <address> [(<reason>)]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

http で exit した場合に出力されます。時間制限による自動切断により強制 exit された場合にも出力されま  
す。

## 【パラメタの意味】

**<user>**

ログインユーザ名

**<class>**

ログインクラス

**admin**

管理者クラス

**user**

一般ユーザクラス

**<address>**

http 接続元アドレス

**<reason>**

なし

exit コマンド実行によるログアウト

**autologout**

無操作監視による強制ログアウト

**exclusive**

ほかのログインによる排他ログアウト

---

## 1.22 admin/su コマンドのメッセージ

### 1.22.1 admin 成功

#### 【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> succeeded on <apl_name>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

admin コマンドで認証に成功し、正常に管理者クラスに移行できた場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

##### <name>

admin コマンドを実行したプログラム

##### cmdexec

コンソールで admin コマンドを実行した

##### telexec

telnet で admin コマンドを実行した

##### sshexec

ssh で admin コマンドを実行した

##### <user>

ログインユーザ名

##### <apl\_name>

admin コマンドを実行したアプリケーション名

##### console

コンソールで admin コマンドを実行した

##### telnet

telnet で admin コマンドを実行した

##### ssh

ssh で admin コマンドを実行した

### 1.22.2 admin 失敗(認証エラー)

#### 【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> failed on <apl_name>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

admin コマンドで認証に失敗し、管理者クラスに移行できなかった場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

##### <name>

admin コマンドを実行したプログラム

##### cmdexec

コンソールで admin コマンドを実行した

---

**telexec**

telnet で admin コマンドを実行した

**sshexec**

ssh で admin コマンドを実行した

**<user>**

ログインユーザ名

**<apl\_name>**

admin コマンドを実行したアプリケーション名

**console**

コンソールで admin コマンドを実行した

**telnet**

telnet で admin コマンドを実行した

**ssh**

ssh で admin コマンドを実行した

### 1.22.3 admin 終了

**【メッセージ】**

```
<name>: admin: exit <user> on <apl_name>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

admin コマンドで管理者クラスに移行していた状態から一般ユーザクラスに復帰した場合に表示されます。

**【パラメタの意味】****<name>**

admin コマンドを実行したプログラム

**telexec**

telnet で admin コマンドを実行した

**sshexec**

ssh で admin コマンドを実行した

**cmdexec**

コンソールで admin コマンドを実行した

**<user>**

ログインユーザ名

**<apl\_name>**

admin コマンドを実行したアプリケーション名

**telnet**

telnet で admin コマンドを実行した

**ssh**

ssh で admin コマンドを実行した

**console**

コンソールで admin コマンドを実行した

---

## 1.23 IDS のメッセージ

### 1.23.1 IDS による異常パケット通知

#### 【メッセージ】

```
protocol: curious packet at ids(<name>.<cause>) : <packet>  
protocol: curious packet at ids(<name>.<cause>) : <counter> times in <time> seconds
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_NOTICE

#### 【意味】

IDS によって、異常パケットが検知されたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <name>

相手ネットワーク名(remote 定義の場合)、またはインタフェース名(lan または template 定義の場合)

##### <cause>

検知理由

IP オプションにかかわる異常パケット通知の場合は IP オプション名が出力されます。

##### 1) IP ヘッダ関連

###### Unknown IP protocol

protocol フィールドが 134 以上のとき

###### Land attack

始点 IP アドレスと終点 IP アドレスが同じとき

###### Short IP header

IP ヘッダの長さが length フィールドの長さよりも短いとき

###### Malformed IP packet

length フィールドと実際のパケットの長さが違うとき

##### 2) IP オプションヘッダ関連

###### Malformed IP option

オプションヘッダの構造が不正であるとき

###### Security IP option

Security and handling restriction header を受信したとき

###### Loose routing IP option

Loose source routing header を受信したとき

###### Record route IP option

Record route header を受信したとき

###### Stream ID IP option

Stream identifier header を受信したとき

###### Strict routing IP option

Strict source routing header を受信したとき

###### Timestamp IP option

Internet timestamp header を受信したとき

##### 3) ICMP 関連

###### ICMP source quench

source quench を受信したとき

###### ICMP timestamp request

timestamp request を受信したとき

###### ICMP timestamp reply

timestamp reply を受信したとき

---

**ICMP information request**

information request を受信したとき

**ICMP information reply**

information reply を受信したとき

**ICMP address mask request**

address mask request を受信したとき

**ICMP address mask reply**

address mask reply を受信したとき

## 5) TCP 関連

**TCP no bits set**

フラグに何もセットされていないとき

**TCP SYN and FIN**

SYN と FIN が同時にセットされているとき

**TCP FIN and no ACK**

ACK のない FIN を受信したとき

## 6) FTP 関連

**FTP improper port**

PORT や PASV コマンドで指定されるポート番号が 1024 ~ 65535 の範囲でないとき

**<packet>**

異常パケットの内容

フラグメントにかかわる異常パケット通知だけフラグメントに関する情報が出力されます。

FTP にかかわる異常パケット通知だけ FTP ポート番号に関する情報が出力されます。

ICMP にかかわる異常パケット通知だけ ICMP type と ICMP code に関する情報が出力されます。

異常パケットを大量に検知した場合はサマリーモードに切り替え、パケットの詳細情報は出力しません。

出力形式を以下に示します。

```
<P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
<P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP> ftpport:<ftpport>
<P> <SA> -> <DA> fragment offset:<fragment>
<P> <SA> -> <DA> <icmpcode>:<icmpcode>
```

**<P>**

プロトコル種別(TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号)

TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S)と出力されます。

**<SA>**

送信元 IP アドレス

**<SP>**

送信元ポート番号(プロトコル種別が TCP、または UDP の場合)

**<DA>**

あて先 IP アドレス

**<DP>**

あて先ポート番号(プロトコル種別が TCP、または UDP の場合)

**<fragment offset>**

フラグメントオフセットの量を示します。

**<icmpcode>**

ICMP type

**<icmpcode>**

ICMP code

**<ftp port>**

ftp port 番号

**<counter>**

検知した回数

---

<time>

検知した期間

---

## 1.24 IPsec/IKE のメッセージ

### 1.24.1 ISAKMP SA ネゴシエーション

#### 【メッセージ】

```
isakmp: not acceptable <etype> mode
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

サポートされていない、または受け入れられない交換モードを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、自側の設定により決定した交換モードとは異なるモードを受信したときに出力されます。

#### 【パラメタの意味】

##### <etype>

交換モード

サポートされていない交換モード

1

Base

受け入れられない交換モード

自側の設定により決定した交換モードとは異なるモード

2

Identity Protection

4

Aggressive

#### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid encryption algorithm <algorithm>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

サポートされていない、または不正な暗号アルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、DES\_CBC、3DES\_CBC、AES\_CBC 以外の暗号アルゴリズムを受信したときに出力されます。

#### 【パラメタの意味】

##### <algorithm>

暗号アルゴリズム

サポートされていない暗号アルゴリズム

2

IDEA 暗号アルゴリズム

3

Blowfish 暗号アルゴリズム

4

RC5-R16-B64 暗号アルゴリズム

6

CAST 暗号アルゴリズム

---

不正な暗号アルゴリズム

1 ~ 7 以外の不定の値

以下の暗号アルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1

DES CBC 暗号アルゴリズム

5

3DES CBC 暗号アルゴリズム

7

AES-CBC 暗号アルゴリズム

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid hash algorithm <algorithm>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

サポートされていない、または不正なハッシュアルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、MD5、SHA 以外のハッシュアルゴリズムを受信したときに出力されます。

### 【パラメタの意味】

<algorithm>

ハッシュアルゴリズム

サポートされていないハッシュアルゴリズム

3

Tiger ハッシュアルゴリズム

不正なハッシュアルゴリズム

1 ~ 3 以外の不定の値

以下のハッシュアルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1

MD5 アルゴリズム

2

SHA アルゴリズム

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid authentication method <method>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

サポートされていない、不正な認証方式を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、共有鍵(Pre-shared key)認証以外の認証方式を受信したときに出力されます。

### 【パラメタの意味】

<method>

認証方式

サポートされていない認証方式

2

DSS 署名認証方式

---

3

RSA 署名認証方式

4

RSA 暗号認証方式

5

改良 RSA 暗号認証方式  
不正な認証方式

1 ~ 5 以外の不定の値

以下の認証方式はサポートされているため出力されることはありません。

1

既知共有鍵認証方式

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid DH group type <group>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

サポートされていない、または不正なグループタイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、RFC2409 に定義されている中で MODP 以外のグループタイプを受信したときに出力されます。

### 【パラメタの意味】

<group>

グループ記述子

サポートされていないグループタイプ

2

ECP だ円関数グループ

3

EC2N だ円関数グループ

不正な認証方式

1 ~ 3 以外の不定の値

以下のグループタイプはサポートされているため出力されることはありません。

1

MODP 指数関数グループ

### 【メッセージ】

```
isakmp: ignore the packet, expecting the packet encrypted
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

受信パケットが暗号化されていることを期待していたが、暗号化されていないため、パケットを破棄したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションで、鍵交換後のパケットは暗号化されることを期待するが、暗号化されていないパケットを受信したときに出力されます。

### 【メッセージ】

```
isakmp: Expecting IP address type in main mode, but <type>
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

Main モードで受信した ID ペイロードの IP アドレスタイプが、期待していたタイプでなかったことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションを共有鍵(Pre-shared key)認証で行う場合に、ID ペイロードの交換が IPv4 アドレス、IPv6 アドレス以外で行われたときに出力されます。

## 【パラメタの意味】

<type>  
ID タイプ  
サポートされていない ID タイプ  
1  
IPv4 アドレス  
2  
省略なしドメイン名  
3  
省略なしユーザ名  
4  
IPv4 アドレスとネットマスク  
5  
IPv6 アドレス  
6  
IPv6 アドレスとネットマスク  
7  
IPv4 アドレス範囲指定  
8  
IPv6 アドレス範囲指定  
9  
証明書対象者の X.501 バイナリ DER  
エンコーディング  
10  
証明書対象者の X.509 バイナリ DER  
エンコーディング  
11  
独自 ID 情報  
不正な ID タイプ  
1 ~ 11 以外の不定の値

## 【メッセージ】

```
isakmp: give up phase1 negotiation. <local>[<local_port>] -> <remote>[<remote_port>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常、相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できず、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。または、設定ミスによりネゴシエーションパケットが破棄され、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。

---

## 【パラメタの意味】

### <local>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレスまたは自装置識別情報

### <remote>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレスまたは相手装置識別情報

### <local\_port>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元ポート番号

### <remote\_port>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先ポート番号

## 【メッセージ】

```
isakmp: phase1 information overflow.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションで、Phase1 情報が最大数を越えたことを示します。このメッセージは、大規模構成で同時に IPsec/IKE 通信を行い、それぞれの IPsec SA 更新のタイミングが同時期に行われた場合や相手装置の問題によって定義数以上のネゴシエーションが行われた場合に出力されます。

## 【メッセージ】

```
isakmp: invalid Minor Version.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

不正な Minor Version の値を受信したことを示します。

このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、Minor Version に 0、1 以外の値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

## 【メッセージ】

```
isakmp: invalid RESERVED field.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

不正な RESERVED フィールドの値を受信したことを示します。

このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、RESERVED フィールドに 0 以外の値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

## 【メッセージ】

```
isakmp: invalid number of Transform Payload.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

不正な#of Transforms の値を受信したことを示します。

このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、#of Transforms 値に Transform ペイロードの個数と異なる値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of SA Payload.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

不正な SA ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。

このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、SA ペイロードの次ペイロードタイプに Proposal ペイロード(2)、Transform ペイロード(3)の値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of Transform Payload.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

不正な Transform ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。

このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、Transform ペイロードの次ペイロードタイプに次ペイロードなし(0)、Transform ペイロード(3)以外の値が設定されたパケットを受信したときに出力されま  
す。

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of the last Payload.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

不正な最終ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。

このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、最終ペイロードの次ペイロードタイプに次ペイロードなし(0)でない値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type <type>.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

規定されていない不正な次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。

このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、次ペイロードタイプに規定されていない不正な値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

---

## 【パラメタの意味】

### <type>

不正なペイロードタイプ  
0 ~ 13 以外の不定の値

## 1.24.2 IPsec SA ネゴシエーション

## 【メッセージ】

```
isakmp: invalid transform id=<id> in <protocol>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

サポートされていない、または不正なトランスフォーム ID を受信したことを示します。このメッセージは IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信したトランスフォームペイロードトランスフォーム ID が未サポート、または不正な認証または暗号アルゴリズムの場合に出力されます。

## 【パラメタの意味】

### <id>

トランスフォーム ID(認証 / 暗号アルゴリズム)

#### protocol が ISAKMP のとき

不正なトランスフォーム ID

1 以外の不定の値

以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

1

IKE

#### protocol が AH のとき

サポートされていないトランスフォーム ID

3

DES 認証アルゴリズム

#### 不正なトランスフォーム ID

1 ~ 3 以外の不定の値

以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

2

MD5 認証アルゴリズム

3

SHA 認証アルゴリズム

#### protocol が ESP のとき

サポートされていないトランスフォーム ID

1

DES IV64 暗号アルゴリズム

4

RC5 暗号アルゴリズム

5

IDEA 暗号アルゴリズム

6

CAST 暗号アルゴリズム

7

Blowfish 暗号アルゴリズム

---

8

トリプル IDEA 暗号アルゴリズム

9

DES IV32 暗号アルゴリズム

10

RC4 暗号アルゴリズム

#### 不正なトランスフォーム ID

1 ~ 12 以外の不定の値

以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

2

DES 暗号アルゴリズム

3

3DES 暗号アルゴリズム

12

AES 暗号アルゴリズム

#### <protocol>

プロトコル

1

ISAKMP プロトコル

2

認証プロトコル

3

暗号プロトコル

#### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid encryption mode=<mode>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

サポートされていない、または不正なカプセルモードを受信したことを示します。このメッセージは IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、トンネルモード以外のカプセルモードを受信したときに出力されません。

#### 【パラメタの意味】

<mode>

カプセルモード

1

トンネルモード

2

トランスポートモード

**3(または 61443)**

UDP カプセリングトンネルモード

**4(または 61444)**

UDP カプセリングトランスポートモード

以下のカプセルモードはサポートされているため出力されることはありません。

2

トランスポートモード

**4(または 61444)**

UDP カプセリングトランスポートモード

---

不正なカプセルモード  
上記以外の不定の値

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid authentication algorithm=<algorithm>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

サポートされていない、または不正な認証アルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、HMAC-MD5、HMAC-SHA1 以外の認証アルゴリズムを受信したときに出力されます。

### 【パラメタの意味】

#### <algorithm>

認証アルゴリズム

サポートされていない認証アルゴリズム

3

DES MAC 認証アルゴリズム

4

KPDK 認証アルゴリズム

不正な認証アルゴリズム

1 ~ 4 以外の不定の値

以下の認証アルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1

HMAC MD5 認証アルゴリズム

2

HMAC SHA 認証アルゴリズム

### 【メッセージ】

```
isakmp: give up phase2 negotiation. <src_addr>[<src_port>] -> <dst_addr>[<dst_port>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPsec SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常や相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できなかった場合や設定ミスによりパケットが破棄されたことによって、ネゴシエーションが失敗した場合に出力されます。

### 【パラメタの意味】

#### <src\_addr>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレス

#### <dst\_addr>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレス

#### <src\_port>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元ポート番号

#### <dst\_port>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先ポート番号

---

## 【メッセージ】

```
isakmp: phase2 information overflow.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

IPsec SA のネゴシエーションで、Phase2 情報が最大数を越えたことを示します。このメッセージは、大規模構成で同時に IPsec/IKE 通信を行い、それぞれの IPsec SA 更新のタイミングが同時期に行われた場合や相手装置の問題により定義数以上のネゴシエーションが行われた場合に出力されます。

## 【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA protocol id mismatched.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

IPsec SA のネゴシエーションプロトコルが、受信した IPsec SA のネゴシエーションと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンドによって出力されます。

## 【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA encryption algorithm mismatched.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

IPsec SA の暗号アルゴリズムが、受信した IPsec SA の暗号アルゴリズムと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンドによって出力されます。

## 【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA encryption algorithm key length mismatched.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

IPsec SA の暗号アルゴリズムの鍵長が、受信した IPsec SA の暗号アルゴリズムの鍵長と一致しなかったことを示します。  
IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンドによって出力されます。

## 【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA authentication algorithm mismatched.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

IPsec SA の認証アルゴリズムが、受信した IPsec SA の認証アルゴリズムと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンドによって出力されます。

### 【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA pfs group mismatched.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPsec SA の PFS 使用時の DH グループが、受信した IPsec SA の DH グループと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンドによって出力されます。

## 1.24.3 ISAKMP、IPsec 共通

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid value of DOI 0x<doi>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

不正な DOI の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信した SA ペイロードの DOI が IPsec DOI 以外の場合に出力されます。

### 【パラメタの意味】

<doi>  
DOI  
00000001 以外の不定の値

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid situation 0x<situation>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

サポートされていない、または不正な Situation の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信した SA ペイロードの Situation が SIT\_IDENTITY\_ONLY 以外の場合に出力されます。

### 【パラメタの意味】

<situation>  
situation  
サポートされていない Situation  
00000002  
ネゴシエーション中の SA が、ラベル付けされたセキュリティが必要な環境にあることを示します。

---

#### 00000004

ネゴシエーション中の SA が、ラベルが付いたインテグリティを必要とする環境にあることを示します。

不正な situation

00000001、00000002、00000004 以外の不定の値

以下の Situation はサポートされているため出力されることはありません。

#### 00000001

発信元 ID 情報によって SA を確認することを指定します。

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid protocol id <id>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

サポートされていない、または不正なプロトコル ID の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信したプロポーザルペイロードのプロトコル ID が ISAKMP、AH、ESP 以外の場合に出力されます。

### 【パラメタの意味】

<id>

プロトコル ID

サポートされていないプロトコル ID

4

圧縮プロトコル

不正なプロトコル ID

1 ~ 4 以外の不定の値

以下のプロトコル ID はサポートされているため出力されることはありません。

1

ISAKMP プロトコル

2

IPsec 認証プロトコル

3

IPsec 暗号プロトコル

### 【メッセージ】

```
isakmp: invalid life type <type>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

不正な Life タイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、RFC2409 に定義されていない Life タイプを受信したときに出力されます。

### 【パラメタの意味】

<type>

Life タイプ

不正な Life タイプ

1、2 以外の不定の値

以下の Life タイプはサポートされているため出力されることはありません。

- 
- 1  
単位秒
  - 2  
単位キロバイト

### 【メッセージ】

`isakmp: invalid attribute type <type>`

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

サポートされていない、または不正な属性タイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、サポートされていないまたは RFC2409 に定義されていない属性タイプを受信したときに出力されます。

### 【パラメタの意味】

<type>

属性タイプ

ISAKMP SA ネゴシエーションのとき

サポートされていない属性タイプ

8

グループ生成 2 属性タイプ

9

グループ曲線 A 属性タイプ

10

グループ曲線 B 属性タイプ

15

フィールド長属性タイプ

16

グループ順属性タイプ

不正な属性タイプ

1 ~ 15 以外の不定の値

以下の属性タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1

暗号アルゴリズム

2

ハッシュアルゴリズム

3

認証方式

4

グループ記述子

5

グループタイプ

6

グループ素数 / 規約多項式

7

グループ生成 1

11

Life タイプ

---

12

Life 継続期限

13

prf

14

鍵長

IPsec SA ネゴシエーションのとき  
サポートされていない属性タイプ

7

鍵ラウンド属性タイプ

8

圧縮辞書サイズ属性タイプ

9

圧縮プライベート

アルゴリズム

不正な属性タイプ

1 ~ 9 以外の不定の値

以下の属性タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1

Life タイプ

2

Life 継続期限

3

グループ記述子

4

カプセルモード

5

認証アルゴリズム

6

鍵長

## 【メッセージ】

```
isakmp: invalid group description=<group>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

サポートされていない、または不正なグループ記述子を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、サポートされていないまたは RFC2409 に定義されていないグループ記述子を受信したときに出力されます。

## 【パラメタの意味】

<group>

グループ記述子

サポートされていないグループ記述子

3

EC2N[2<sup>155</sup>] だ円関数グループ

4

EC2N[2<sup>185</sup>] だ円関数グループ

不正なグループ記述子

---

1 ~ 5 以外の不定の値

以下のグループ記述子はサポートされているため出力されることはありません。

1

768 ビット MODP グループ

2

1024 ビット MODP グループ

5

1536 ビット MODP グループ

### 【メッセージ】

```
isakmp: ignore the packet, received unexpected payload type <group>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

期待していないペイロードタイプを受信したため、そのパケットを破棄したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションで、受信したパケットに期待していないペイロードが含まれていたときに出力されます。

### 【パラメタの意味】

<group>

ペイロードタイプ

0

none ペイロード

1

SA ペイロードタイプ

2

プロポーザルペイロードタイプ

3

トランスフォームペイロードタイプ

4

鍵交換ペイロードタイプ

5

ID ペイロードタイプ

6

証明書ペイロードタイプ

7

証明書要求ペイロードタイプ

8

ハッシュペイロードタイプ

9

署名ペイロードタイプ

10

Nonce ペイロードタイプ

11

通知ペイロードタイプ

12

削除ペイロードタイプ

13

ベンダ ID ペイロードタイプ

---

**20(または 130)**

NAT ディスカバリペイロードタイプ

**21(または 131)**

NAT オリジナルアドレスペイロードタイプ

不正なペイロードタイプ

上記以外の不定の値

**【メッセージ】**

```
isakmp: received invalid next payload type <receive_type>, expecting <expect_type>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

期待していたペイロードタイプとは異なるペイロードが次ペイロードに指定されていたことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションで、自身が受けるパケット構成とは異なる構成のパケットを受信したときに出力されます。

**【パラメタの意味】****<receive\_type>**

受信した次ペイロードタイプ

0

none ペイロード

1

SA ペイロードタイプ

2

プロポーザルペイロードタイプ

3

トランスフォームペイロードタイプ

4

鍵交換ペイロードタイプ

5

ID ペイロードタイプ

6

証明書ペイロードタイプ

7

証明書要求ペイロードタイプ

8

ハッシュペイロードタイプ

9

署名ペイロードタイプ

10

Nonce ペイロードタイプ

11

通知ペイロードタイプ

12

削除ペイロードタイプ

13

ベンダ ID ペイロードタイプ

**20(または 130)**

NAT ディスカバリペイロードタイプ

---

## 21(または 131)

NAT オリジナルアドレスペイロードタイプ  
不正なペイロードタイプ  
上記以外の不定の値

### <expect\_type>

期待していたペイロードタイプ

1

SA ペイロードタイプ

8

ハッシュペイロードタイプ

## 【メッセージ】

```
isakmp: HASH mismatched side=<side> exchange type=<type> status=<status>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

受信したハッシュ値と受信パケットから生成したハッシュ値が一致しないことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション中に、イニシエータまたはレスポンドによって出力されます。イニシエータまたはレスポンドから受信したパケットがデータの破壊や改ざんなどにより、正常なパケットと判断できなかったことを示します。また、Aggressive 交換では、共有鍵が一致しない場合も出力されます。

## 【パラメタの意味】

### <side>

自側の状態

0

イニシエータ側

1

レスポンド側

### <type>

ISAKMP 交換の種類

2

Identity Protection 交換

4

Aggressive 交換

32

Quick 交換

### <status>

ISAKMP 交換での状態

Identity Protection 交換イニシエータのとき

7

3rd メッセージ受信時

Identity Protection 交換レスポンドのとき

5

3rd メッセージ受信時

Aggressive 交換イニシエータのとき

3

1st メッセージ受信時

Aggressive 交換レスポンドのとき

---

3

2nd メッセージ受信時  
Quick 交換イニシエータのとき

5

1st メッセージ受信時  
Quick 交換レスポングのとき

1

1st メッセージ受信時

5

2nd メッセージ受信時

### 【メッセージ】

```
isakmp: psk mismatched.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションで共有鍵が一致していない可能性があることを示します。共有鍵が一致していない可能性があるときにレスポングにより出力されます。

### 【メッセージ】

```
protocol: weak key not usable for des-cbc encryption.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPsec SA の des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている weak key を設定したことを示します。des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている鍵が設定され、IPsec SA の作成を行わなかったときに出力されます。

### 【メッセージ】

```
protocol: weak key not usable for 3des-cbc encryption.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPsec SA の 3des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている weak key を設定したことを示します。3des-cbc 暗号鍵設定時に暗号鍵を 8 バイトごとの 3 つの鍵に分割した際、3 つの鍵のどれかに RFC2409 の Appendix A に記述されている鍵が設定され、IPsec SA の作成を行わなかったときに出力されます。

### 【メッセージ】

```
protocol: IPsec extension-range reached maximum.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

動的 VPN または Radius で追加する拡張 IPsec 対象範囲情報が最大値に達したため、IPsec SA が作成できなかったことを示します。

また、動的 VPN または Radius を併用して定義追加を行った場合に定義反映時に拡張 IPsec 対象範囲情報が最大値に達したため作成できなかったことを示します。

拡張 IPsec 対象範囲定義数を見直してください。

## 【メッセージ】

```
isakmp: give up <exchange_type> negotiation. <local>[<local_port>] -> <remote>[<remote_port>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

IKEv2 で、IPsec SA/ISAKMP SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常、相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できず、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。または、設定ミスによりネゴシエーションパケットが破棄され、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。

## 【パラメタの意味】

**<exchange\_type>**

交換タイプ

**IKE\_SA\_INIT**

IKE\_SA\_INIT 交換

**IKE\_AUTH**

IKE\_AUTH 交換

**CREATE\_CHILD\_SA**

CREATE\_CHILD\_SA 交換

**INFORMATIONAL**

INFORMATIONAL 交換

**<local>**

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレスまたは自装置識別情報

**<remote>**

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレスまたは相手装置識別情報

**<local\_port>**

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元ポート番号

**<remote\_port>**

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先ポート番号

## 1.24.4 IKE セッションの復旧

### 【メッセージ】

```
icmpwatchd: IKE session watching host is up. [<target>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IKE セッションの監視ホスト、または接続回線が復旧したことを示します。

---

【パラメタの意味】

<target>

ネットワーク名、接続先名

#### 1.24.5 IKE セッションの障害検出

【メッセージ】

```
icmpwatchd: IKE session watching host is down. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG\_INFO

【意味】

IKE セッションの監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>

ネットワーク名、接続先名

【メッセージ】

```
isakmp: DPD watching host is down. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG\_INFO

【意味】

DPD による IKE セッションの検出ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<target>

ネットワーク名、接続先名 (接続先が相手情報設定の場合)

テンプレート名、接続先識別子 (接続先がテンプレート情報設定の場合)

#### 1.24.6 動的 VPN のメッセージ

【メッセージ】

```
isakmp: The IKE negotiation demand from <user_id> has not received.
```

【プライオリティ】

LOG\_INFO

【意味】

<user\_id>からの IKE ネゴシエーション要求が受信できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<user\_id>

動的 VPN 情報交換を承諾したユーザ ID

---

## 【メッセージ】

```
isakmp: duplicate route: <address>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

動的 VPN 接続で IKE ネゴシエーションを行うために追加した経路よりも優先度が高い同じ経路がすでに設定されていたことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<address>**

追加した経路情報

## 【メッセージ】

```
protocol: <user_id> was disconnected. [tmp<template>.rmt<remote> (<reason>)]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

<user\_id>を切断したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<user\_id>**

動的 VPN 情報交換を承諾したユーザ ID

**<template>**

テンプレート定義番号

**<remote>**

相手定義番号

**<reason>**

切断理由

**idle timer expired**

無通信監視時間満了による切断

**manual**

手動切断

**cannot add route(<route>)**

経路追加失敗(追加できなかった経路)

## 【メッセージ】

```
isakmp: invalid psk was received. <user_id>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

不正な IKE 共有鍵を受信したことを示します。

このメッセージは、動的 VPN 機能で配布された IKE 共有鍵が本装置のサポート範囲を超えた場合に出力されます。

---

### 【パラメタの意味】

**<user\_id>**  
動的 VPN 情報交換中のユーザ ID

### 【メッセージ】

```
isakmp: psk was not received. <user_id>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IKE 共有鍵が動的 VPN 機能で配布されないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<user\_id>**  
動的 VPN 情報交換中のユーザ ID

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: lack of configuration for DVPN.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

動的 VPN 定義に必要な情報の設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号  
**<remote>**  
相手定義番号  
**<ap>**  
接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: invalid DVPN client configuration.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報に必要な設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<remote>**  
相手定義番号

---

<ap>

接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: invalid DVPN client configuration.(address family of
server address contradicts ua)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の動的 VPN サーバとクライアントのアドレスファミリが矛盾しているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: invalid DVPN client configuration.(address family of
tunnel local contradicts global)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の VPN 通信の終端グローバルアドレスと自側エンドポイントのアドレスファミリが矛盾しているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same DVPN session configuration in remote <other_remote>
ap <other_ap>.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

以下のどちらかの理由により、この ap 定義が利用できないことを示します。

- トンネルアドレスが異なり、同じ動的 VPN クライアント情報を参照する接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されている。

```
remote [<number>] ap [<ap_number>] dvpn client
```

```
remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
```

例：

---

```
remote 0 ap 0 dvpn client 0
remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
remote 1 ap 0 dvpn client 0
remote 1 ap 0 tunnel local 192.168.2.1
remote 1 が無効
```

- 参照する動的 VPN クライアント情報が異なり、同じトンネルアドレスの接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されている。

```
remote [<number>] ap [<ap_number>] dvpn client
remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
```

例 :

```
remote 0 ap 0 dvpn client 0
remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
remote 1 ap 0 dvpn client 1
remote 1 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
remote 1 が無効
```

### 【パラメタの意味】

**<remote>**

相手定義番号

**<ap>**

接続先定義番号

**<other\_remote>**

相手定義番号

**<other\_ap>**

接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid DVPN client configuration.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の設定が欠けているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<template>**

テンプレート定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid DVPN client configuration.(address family of
server address contradicts ua)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の動的 VPN サーバとクライアントのアドレスファミリーが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

---

## 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid DVPN client configuration.(address family of tunnel local contradicts global)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の VPN 通信の終端グローバルアドレスと自側エンドポイントのアドレスファミリが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: address family is contradicts,ignore server <count> of template <template> dvpn client <number>.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

動的 VPN サーバのアドレスファミリが矛盾しているため、<number>で示される動的 VPN クライアント情報の <count>で設定されている動的 VPN サーバ定義を無視したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<count>**  
動的 VPN サーバ定義番号  
**<template>**  
テンプレート定義番号  
**<number>**  
動的 VPN クライアント定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: same DVPN session configuration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

以下のどちらかの理由により、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

- トンネルアドレスが異なり、同じ動的 VPN クライアント情報を参照する接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですすでに設定されている。

remote [<number>] ap [<ap\_number>] dvpn client

---

```
remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
```

例 :

```
remote 0 ap 0 dvpn client 0
remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
template 0 dvpn client 0
template 0 tunnel local 192.168.2.1
template 0 が無効
```

- ・ 参照する動的 VPN クライアント情報が異なり、同じトンネルアドレスの接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されている。

```
remote [<number>] ap [<ap_number>] dvpn client
remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
```

例 :

```
remote 0 ap 0 dvpn client 0
remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
template 0 dvpn client 1
template 0 tunnel local 192.168.1.1
template 0 が無効
```

### 【パラメタの意味】

**<template>**

テンプレート定義番号

**<remote>**

相手定義番号

**<ap>**

接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: same DVPN session configuration in template <other_template>.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

以下のどちらかの理由により、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

- ・ トンネルアドレスが異なり、同じ動的 VPN クライアント情報を参照するテンプレート情報が、異なるテンプレート定義ですでに設定されている。

```
template [<number>] dvpn client
template [<number>] tunnel local
```

例 :

```
template 0 dvpn client 0
template 0 tunnel local 192.168.1.1
template 1 dvpn client 0
template 1 tunnel local 192.168.2.1
template 1 が無効
```

- ・ 参照する動的 VPN クライアント情報が異なり、同じトンネルアドレスのテンプレート情報が、異なるテンプレート定義ですでに設定されている。

```
template [<number>] dvpn client
template [<number>] tunnel local
```

例 :

```
template 0 dvpn client 0
template 0 tunnel local 192.168.1.1
```

---

```
template 1 dvpn client 1
template 1 tunnel local 192.168.1.1
template 1 が無効
```

#### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号

**<other\_template>**  
テンプレート定義番号

### 1.24.7 NAT トラバーサル関連システムログ

#### 【メッセージ】

```
isakmp: Vendor ID for NAT traversal which is not supported was received.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

受信した NAT トラバーサルのベンダ ID はサポートされていないことを示します。  
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、自身が NAT トラバーサルを使用していて、相手から自身がサポートする NAT トラバーサル用のベンダ ID を 1 つも受信できなかったとき、または、自身がサポートする NAT トラバーサル用のベンダ ID 以外を受信したときに出力されます。

#### 【メッセージ】

```
isakmp: There is no vendor ID for NAT traversal.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

NAT トラバーサルのベンダ ID が受信できなかったことを示します。  
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、自身が NAT トラバーサルを使用していて、相手から NAT トラバーサル用のベンダ ID を受信できなかったときに出力されます。

### 1.24.8 RSA デジタル署名関連システムログ

#### 【メッセージ】

```
isakmp: certificate remote <cert_ident> is not exist. <remote_name>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する相手装置証明書が存在しない場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<cert\_ident>**  
相手装置証明書識別番号、またはサブジェクト代替名称

---

**<remote\_name>**

相手ネットワーク名、接続先名

**【注意】**

<cert\_ident>の文字数が 150 文字以上の場合は、150 文字までしか表示されません。

**【メッセージ】**

```
isakmp: certificate local <cert_number> is not exist. <remote_name>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する自装置証明書が存在しない場合に出力されます。

**【パラメタの意味】**

**<cert\_number>**

自装置証明書識別番号

**<remote\_name>**

相手ネットワーク名、接続先名

**【メッセージ】**

```
isakmp: certificate private <key_number> is not exist. <remote_name>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する RSA 秘密鍵が存在しない場合に出力されます。

**【パラメタの意味】**

**<key\_number>**

秘密鍵識別番号

**<remote\_name>**

相手ネットワーク名、接続先名

**【メッセージ】**

```
isakmp: certificate ca <cert_number> is not exist. <remote_name>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する認証局証明書が存在しない場合に出力されます。

**【パラメタの意味】**

**<cert\_number>**

認証局証明書識別番号

---

**<remote\_name>**

相手ネットワーク名、接続先名

### 【メッセージ】

```
isakmp: certificate local <cert_number> expired. <remote_name>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する自装置証明書の有効期限が満了している場合に出力されます。

有効期限が満了した場合は、証明書の更新(保存)を行ってください。

remote ap ike certificate expired コマンドが"use(使用する)"の場合、この syslog が出力されても証明書を  
使用し続けます。

remote ap ike certificate expired コマンドが"unuse(使用しない)"の場合は、証明書は使用しないで IKE ネゴ  
シエーションが失敗します。

### 【パラメタの意味】

**<cert\_number>**

自装置証明書識別番号

**<remote\_name>**

相手ネットワーク名、接続先名

### 【メッセージ】

```
isakmp: certificate remote <cert_ident> expired. <remote_name>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する相手装置証明書の有効期限が満了している場合に出力されます。

有効期限が満了した場合は、証明書の更新(保存)を行ってください。

remote ap ike certificate expired コマンドが"use(使用する)"の場合、この syslog が出力されても証明書を  
使用し続けます。

remote ap ike certificate expired コマンドが"unuse(使用しない)"の場合は、証明書は使用しないで IKE ネゴ  
シエーションが失敗します。

### 【パラメタの意味】

**<cert\_number>**

相手装置証明書識別番号、またはサブジェクト代替名称

**<remote\_name>**

相手ネットワーク名、接続先名

### 【メッセージ】

```
isakmp: certificate ca <cert_number> expired. <remote_name>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する認証局証明書の有効期限が満了している場合に出力されます。  
有効期限が満了した場合は、証明書の更新(保存)を行ってください。

remote ap ike certificate expired コマンドが"use(使用する)"の場合、この syslog が出力されても証明書を  
使用し続けます。

remote ap ike certificate expired コマンドが"unuse(使用しない)"の場合は、証明書は使用しないで IKE ネゴ  
シエーションが失敗します。

## 【パラメタの意味】

<cert\_number>

認証局証明書識別番号

<remote\_name>

相手ネットワーク名、接続先名

## 【メッセージ】

```
isakmp: signature mismatched. <name>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションで、使用している相手装置証明書が違う可能性があることを示します。  
使用している相手装置証明書が違う可能性があるときに、レスポンスにより出力されます。

## 【パラメタの意味】

<name>

相手ネットワーク名、接続先名 または、テンプレート名 または、動的 VPN 接続中のユーザ ID

## 【メッセージ】

```
isakmp: certificate mismatched. <name>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーション中に受信した相手装置証明書と、自装置が使用する相手装置証明書が違うためネ  
ゴシエーションを終了したときに出力されます。

## 【パラメタの意味】

<name>

相手ネットワーク名、接続先名 または、テンプレート名 または、動的 VPN 接続中のユーザ ID

## 【メッセージ】

```
isakmp: ca mismatched. <name>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

ISAKMP SA のネゴシエーション中に受信した認証局の情報と、自装置が信頼する認証局の情報が違うためネゴシエーションを終了したときに出力されます。

**【パラメタの意味】**

<name>

相手ネットワーク名、接続先名 または、テンプレート名 または、動的 VPN 接続中のユーザ ID

---

## 1.25 接続先セッション監視のメッセージ

### 【メッセージ】

```
icmpwatchd: ap watching host is down. [<target>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

接続先セッション監視の監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<target>

ネットワーク名、接続先名（接続先が相手情報設定の場合）

テンプレート名、接続先識別子（接続先がテンプレート情報設定の場合）

### 【メッセージ】

```
icmpwatchd: ap watching host is up. [<target>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

接続先セッション監視の監視ホスト、または接続回線の障害が復旧したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<target>

ネットワーク名、接続先名（接続先が相手情報設定の場合）

テンプレート名、接続先識別子（接続先がテンプレート情報設定の場合）

---

## 1.26 構成定義関連のメッセージ

### 1.26.1 ブリッジ/STP 定義無効

#### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: cannot use bridge on vlan
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

vlan インタフェースでブリッジを定義したため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。  
本メッセージが出力された場合、構成定義を修正後装置をリセットしてください。

#### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: this lan is bound by vlan.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

vlan でバインドされたインタフェースでブリッジを定義したため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。  
本メッセージが出力された場合、構成定義を修正後装置をリセットしてください。

#### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: two or more lan interfaces are included in the same group in IP bridge mode.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IP をブリッジする設定で複数の lan インタフェースを同じグループに含めたため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。  
本メッセージが出力された場合、構成定義を修正後装置をリセットしてください。

#### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

---

## 【メッセージ】

```
protocol: <interface> STP is disable :STP cannot be used except group 0.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

ブリッジグループ 0 以外のインタフェースで STP を定義したため、このインタフェースで STP を無効にしたことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<interface>**  
インタフェース名

## 【メッセージ】

```
protocol: <interface> STP is disable:STP cannot be used on vlan interface.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

vlan インタフェースで STP を定義したため、このインタフェースで STP を無効にしたことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<interface>**  
インタフェース名

## 【メッセージ】

```
protocol: <interface> STP is disable: STP cannot be used with BPDU forwarding mode.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

MAC コントロールパケット転送機能により STP のパケットが転送するモードとなっているため、このインタフェースで STP を無効にしたことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<interface>**  
インタフェース名

### 1.26.2 IEEE802.1X 認証定義無効

## 【メッセージ】

```
I2nsm: AAA group ID is not defined [lan<number>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

<number>で表示された lan インタフェースで、IEEE802.1X 認証が使用する AAA のグループ ID が未設定であることを示します。

**【パラメタの意味】**

<number>  
lan 定義番号

**【メッセージ】**

```
I2nsm: VLAN and port authentication cannot be defined at same time [lan<number>]
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

IEEE802.1X 認証が VLAN 定義された lan 定義で設定されたため、IEEE802.1X 機能が無効となったことを示します。

**【パラメタの意味】**

<number>  
lan 定義番号

**【メッセージ】**

```
I2nsm: MAC authentication and port authentication cannot be used at same time [lan<number>]
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

IEEE802.1X 認証と MAC アドレス認証機能が同一 LAN インタフェース上で定義されたため、IEEE802.1X 機能が無効となったことを示します。

**【パラメタの意味】**

<number>  
lan 定義番号

**【メッセージ】**

```
I2nsm: MAC authentication and WPA/WPA2 mode on wireless LAN cannot be used at same time [lan<number>]
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

WPA/WPA2-PSK を使用する無線 LAN をバインドしている lan 定義に MAC アドレス認証機能が定義されたため、MAC アドレス認証機能が利用できないことを示します。

**【パラメタの意味】**

<number>  
lan 定義番号

---

## 【メッセージ】

```
I2nsm: Cannot set eapol forwarding mode(port authentication mode was disabled)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

EAPOL フレームをブリッジ転送するモードとなっているため、IEEE802.1X 機能が無効となったことを示します。

## 【パラメタの意味】

<number>  
lan 定義番号

## 【メッセージ】

```
I2nsm: IEEE 802.1X authentication cannot be used on switch ports [lan<number>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

スイッチポートを使用するインタフェースで IEEE802.1X 認証機能が有効とされたために、IEEE802.1X 認証機能が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

<number>  
lan 定義番号

## 【メッセージ】

```
I2nsm: IEEE802.1X is needed for WPA/WPA2 on wireless LAN [lan<no>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

WPA または WPA2 を使用する無線 LAN をバインドしている lan 定義のため、IEEE802.1X 機能の設定が必須であることを示します。

## 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

## 【メッセージ】

```
I2nsm: IEEE802.1X cannot be used on wireless LAN except WPA/WPA2 mode [lan<no>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

WPA または WPA2 を使用していない無線 LAN をバインドしている lan 定義のため、IEEE802.1X 機能が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

## 1.26.3 lan ポートバックアップ定義無効

### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> backup is not available: no line
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

以下のどちらかの理由により、この lan 定義で lan ポートバックアップ機能が利用できないことを示します。

- ・ 拡張モジュールが装着されていない、禁止された組み合わせの拡張モジュールを装着しているなどが原因で、lan backup 命令で指定された物理回線が使用できない。
- ・ lan backup 命令で指定された物理回線が Ethernet ではない。

### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> backup is not available: this line is already bound
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

lan backup 命令で指定された物理回線が、別の lan 定義によってすでに使用されているために、この lan 定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

## 1.26.4 lan 自動復旧モード定義無効

### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> recovery is not available: cannot define recovery mode on vlan
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

vlan インタフェースで recovery を定義したため、この lan で自動復旧モードの設定を無効にしたことを示します。

**【パラメタの意味】**

<no>  
lan 定義番号

### 1.26.5 MDI 自動検出定義無効

**【メッセージ】**

```
protocol: lan <no> is set to MDI: auto MDI cannot be used on no-auto negotiation mode
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

lan mode の設定が auto でないインタフェースに対して MDI の自動検出が指定されたために、MDI として動作することを示します。

**【パラメタの意味】**

<no>  
lan 定義番号

**【メッセージ】**

```
protocol: sw <no> is set to MDI-X: auto MDI cannot be used on no-auto negotiation mode
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

switch port mode の設定が auto でないインタフェースに対して MDI の自動検出が指定されたために、MDI-X として動作することを示します。

**【パラメタの意味】**

<no>  
スイッチポート番号

### 1.26.6 lan 定義無効

**【メッセージ】**

```
protocol: lan <no> is not attached: no line
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

以下のどちらかの理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- 
- ・ 拡張モジュールが装着されていない、禁止された組み合わせの拡張モジュールを装着しているなどが原因で、lan bind 命令で指定された物理回線が使用できない。
  - ・ lan bind 命令で指定された物理回線が Ethernet ではない。

#### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: this line is already bound
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

lan bind 命令で指定された物理回線が、別の lan 定義によって、すでに使用されているために、この lan 定義が利用できないことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: wlan<number> is already bound
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

lan bind 命令で指定された wlan 定義が、別の lan 定義によって、すでに使用されているために、この lan 定義が利用できないことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号  
<number>  
wlan 定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: no line to bind from vlan
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

以下のどれかの理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- ・ vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定された物理回線が存在しない。
- ・ vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定された物理回線が Ethernet ではない。

---

### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: cannot bind vlan to vlan
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

以下の理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- ・ vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定した先が vlan インタフェースである。

### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: duplicate vid and bind with lan <other_no>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

以下の理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- ・ 同じ物理インタフェースを使用する複数の vlan インタフェースで、同じ VLAN ID が定義されている。

### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号  
<other\_no>  
lan 定義番号

## 1.26.7 wan 定義無効

### 【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: no line
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

以下のどれかの理由により、wan 定義が利用できないことを示します。

- ・ 拡張モジュールが装着されていない、禁止された組み合わせの拡張モジュールを装着しているなどが原因で、wan bind 命令で指定された物理回線が使用できない。
- ・ wan bind 命令で指定された物理回線で利用できない回線種別が指定されている。
- ・ BR14 ポート拡張モジュールで、フレームリレーが指定されている。

---

### 【パラメタの意味】

<no>  
wan 定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: this line is already bound
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

wan bind 命令によって指定された物理回線が、別の wan 定義によってすでに使用されているために、この wan 定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

<no>  
wan 定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: no sufficient resource
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

PPP 利用セッション数が上限を超えているため、その wan 定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

<no>  
wan 定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: invalid line speed
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

利用できない回線速度が指定されているため、この wan 定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

<no>  
wan 定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: number of vpcs exceed
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

VP 数が最大定義数を超過しているために、この wan 定義が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: vpi out of range
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

設定された VPI 値が使用可能範囲を超えているために、この wan 定義が利用できないことを示します。  
ATM25M 拡張モジュール L2、ATM155M 拡張モジュール L2 の場合は 0～127 の範囲で指定します。

## 【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: vp rate violation
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

VP 速度が正しく設定されていないために、この wan 定義が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: duplicate vpi
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

設定された VPI 値の重複により、この wan 定義が利用できないことを示します。

---

## 【パラメタの意味】

<no>  
wan 定義番号

### 1.26.8 接続先定義無効

## 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: no line
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定された wan 定義または lan 定義が存在しないために、この ap 定義が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

<remote>  
相手定義番号  
<ap>  
接続先定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: this line is already bound
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定された wan 回線が、別の ap 定義によってすでに使用されているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

<remote>  
相手定義番号  
<ap>  
接続先定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: duplicate DLCI
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

設定された DLCI 値の重複により、この ap 定義が使用できないことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<remote>**  
相手定義番号  
**<ap>**  
接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: illegal tunnel endpoint address
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

tunnel endpoint address の設定が正しくないため、この ap 定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<remote>**  
相手定義番号  
**<ap>**  
接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <remote> ap <ap> has same tunnel endpoint address as remote <other_remote> ap <other_ap>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

tunnel endpoint address が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<remote>**  
相手定義番号  
**<ap>**  
接続先定義番号  
**<other\_remote>**  
相手定義番号  
**<other\_ap>**  
接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same IPsec/IKE configuration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

IPsec/IKE 通信用として定義した接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですすでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<remote>**  
相手定義番号  
**<ap>**  
接続先定義番号  
**<other\_remote>**  
相手定義番号  
**<other\_ap>**  
接続先定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same IPsec range configuration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

IPsec 通信用(自動鍵設定)として定義した IPsec 対象範囲が、異なる ap 定義ですすでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

この syslog は、1 つの IKE SA で複数の IPsec SA を利用する設定で表示されます。

## 【パラメタの意味】

**<remote>**  
相手定義番号  
**<ap>**  
接続先定義番号  
**<other\_remote>**  
相手定義番号  
**<other\_ap>**  
接続先定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same IPsec manual configuration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

IPsec 通信用(手動鍵設定)として定義した IPsec SA が、異なる remote 定義の ap 定義ですすでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<remote>**  
相手定義番号

---

<ap>  
接続先定義番号  
<other\_remote>  
相手定義番号  
<other\_ap>  
接続先定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: lack of configuration for IPsec.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IPsec 定義に必要な情報の設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<remote>  
相手定義番号  
<ap>  
接続先定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: lack of configuration for IKE.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IKE 定義に必要な情報の設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<remote>  
相手定義番号  
<ap>  
接続先定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: reference remote <other_remote> ap <other_ap> IKE configuration is invalid.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

参照先の IKE 情報が有効でないため、この ap 定義が利用できないことを示します。  
この syslog は、1 つの IKE SA で複数の IPsec SA を利用する設定で表示されます。

---

## 【パラメタの意味】

**<remote>**  
相手定義番号  
**<ap>**  
接続先定義番号  
**<other\_remote>**  
相手定義番号  
**<other\_ap>**  
接続先定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: unavailable serial <no>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定されたシリアルポートの定義が無効になっているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<remote>**  
相手定義番号  
**<ap>**  
接続先定義番号  
**<no>**  
serial 定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: vci not defined
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

VCI 値が設定されていないため、この ap 定義が使用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<remote>**  
相手定義番号  
**<ap>**  
接続先定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: duplicate vci
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

設定された VCI 値の重複により、この ap 定義が使用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

<remote>  
相手定義番号  
<ap>  
接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: vc rate violation
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

VC 速度が正しく設定されていないために、この ap 定義が使用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

<remote>  
相手定義番号  
<ap>  
接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: number of vccs exceeded
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

ATM の VC 数がシステム最大値を超えているため、この ap 定義が使用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

<remote>  
相手定義番号  
<ap>  
接続先定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: vci out of range
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

設定された VCI 値が使用範囲を超えているため、この ap 定義が使用できないことを示します。

---

ATM155M 拡張モジュール L2 の場合は 32 ~ 2047、ATM25M 拡張モジュール H1 および ATM155M 拡張モジュール H1 の場合は 32 ~ 1023 の範囲で指定します。

#### 【パラメタの意味】

<remote>  
相手定義番号  
<ap>  
接続先定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: invalid service type
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

設定されたサービスタイプが運用上無効になるため、この ap 定義が使用できないことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<remote>  
相手定義番号  
<ap>  
接続先定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: can't be bundled to MP
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

以下のどれかにより、論理リンクを構成できないため、この ap 定義が利用できないことを示します。

- ・ 専用線、ISDN 回線以外の回線種別の wan 定義が、remote ap datalink bind 命令で指定された。
- ・ 専用線以外の回線定義を bundle 先に指定された。
- ・ 無効な定義を bundle 先に指定された。
- ・ bundle 指定定義を bundle 先に指定された。

#### 【パラメタの意味】

<remote>  
相手定義番号  
<ap>  
接続先定義番号

### 1.26.9 wan 定義有効化

#### 【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is attached: card is inserted
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

以下の理由により、wan 定義が利用できるようになったことを示します。

- ・ データ通信カードが検出された

### 【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

## 1.26.10 wan 定義無効化

### 【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is detached: card is ejected
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

以下の理由により、wan 定義が利用できなくなったことを示します。

- ・ データ通信カードが抜かれた
- ・ データ通信カード異常を検出した

### 【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

## 1.26.11 接続先定義有効化

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is attached: card is inserted
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

以下の理由により、ap 定義が利用できるようになったことを示します。

- ・ データ通信カードが検出された

### 【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

## 1.26.12 接続先定義無効化

### 【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is detached: card is ejected
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

以下の理由により、ap 定義が利用できなくなったことを示します。

- ・ データ通信カードが抜かれた
- ・ データ通信カード異常を検出した

## 【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

### 1.26.13 アドレス重複

## 【メッセージ】

```
enabled: lan <no> has same network/address as lan <other_no>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

<no>と<other\_no> の LAN の IP ネットワーク、または IP アドレスが重複したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<no>

lan 定義番号

<other\_no>

lan 定義番号

## 【メッセージ】

```
enabled: remote <no> has same remote address as remote <other_no>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

<no>と<other\_no> の相手情報のリモート IP アドレスが重複したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<no>

相手定義番号

<other\_no>

相手定義番号

## 【メッセージ】

```
enabled: remote <no> has same remote address as loopback
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

loopback に設定されたアドレスと、<no>の相手情報のリモート IP アドレスが重複したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<no>  
相手定義番号

## 【メッセージ】

```
enabled: <interface> has same ip6 prefix as <other_interface>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

<interface>と<other\_interface>の IPv6 プレフィックスが重複したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<interface>  
インタフェース名  
<other\_interface>  
インタフェース名

### 1.26.14 相手ネットワークまたは接続先定義無効

## 【メッセージ】

```
init: remote/ap number is out of range.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

相手定義番号または接続先定義番号が指定範囲を超えているか、接続先定義が本装置全体の定義可能数を超えているため、範囲外の相手定義 / 接続先定義は無効であることを示します。

本メッセージは本装置の起動 / 再起動時に出力されます。また、構成定義関連のエラー詳細はコンソールに出力されます。

### 1.26.15 NAT 定義無効

## 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> NAT is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_WARNING

---

**【意味】**

NAT 初期化時にメモリ枯渇になって NAT の初期化が成功しないで、NAT でパケットのアドレス変換がなされない状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

**【パラメタの意味】**

<no>  
lan 定義番号

**【メッセージ】**

```
protocol: remote <remote> ap <ap> NAT is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_WARNING

**【意味】**

NAT 初期化時にメモリ枯渇になって NAT の初期化が成功しないで、NAT でパケットのアドレス変換がなされない状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

**【パラメタの意味】**

<remote>  
相手定義番号  
<ap>  
接続先定義番号

### 1.26.16 NAT 変換テーブル拡張失敗

**【メッセージ】**

```
protocol: NAT table is not extended.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

OSPF または BGP を使用する、かつ NAT 変換テーブル数を拡張する設定のため、NAT 変換テーブル数の拡張に失敗したことを示します。OSPF または BGP を使用する場合、NAT 変換テーブル数は通常とみなされます。

### 1.26.17 IP フィルタ定義無効

**【メッセージ】**

```
protocol: rmt<no> ip filter is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_WARNING

**【意味】**

IP フィルタ初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、IP フィルタが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

---

### 【パラメタの意味】

<no>  
rmt インタフェース番号

### 【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip6 filter is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_WARNING

### 【意味】

IPv6 フィルタ初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、IPv6 フィルタが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

### 【パラメタの意味】

<no>  
rmt インタフェース番号

## 1.26.18 TOS/Traffic Class 値書き換え定義無効

### 【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip tos is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_WARNING

### 【意味】

TOS 値書き換え初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、TOS 値書き換えが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

### 【パラメタの意味】

<no>  
rmt インタフェース番号

### 【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip6 trafficclass is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_WARNING

### 【意味】

IPv6 Traffic Class 値書き換え初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、IPv6 Traffic Class 値書き換えが無効な状態になったことを示します。  
メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

### 【パラメタの意味】

<no>  
rmt インタフェース番号

---

## 1.26.19 Ingress ポリシールーティング定義無効

### 【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip in-policy is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_WARNING

### 【意味】

Ingress ポリシールーティング初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、Ingress ポリシールーティングが無効な状態になったことを示します。

メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

### 【パラメタの意味】

<no>

rmt インタフェース番号

### 【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip6 in-policy is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_WARNING

### 【意味】

IPv6 Ingress ポリシールーティング初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功しないで、IPv6 Ingress ポリシールーティングが無効な状態になったことを示します。

メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

### 【パラメタの意味】

<no>

rmt インタフェース番号

## 1.26.20 UPnP 関連の定義矛盾

### 【メッセージ】

```
ssdpd: no UPnP external interface.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

VoIP NAT トラバーサル機能で使用する外部インタフェースがありません。UPnP は動作しますが、定義にエラーがあることが通知されます。NAT を使用する lan 定義または remote 定義がない場合に出力されます。

### 【メッセージ】

```
ssdpd: no UPnP internal interface. UPnP is not available.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

VoIP NAT トラバーサル機能で使用する内部インタフェースがありません。UPnP は動作しません。NAT を使用しない lan 定義がない場合に出力されます。

## 1.26.21 IPv6 DHCP 関連の定義矛盾

### 【メッセージ】

```
dhcp6cd: <interface> is not initialized. <reason>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPv6 DHCP クライアントに必要な情報の設定不足、または設定不正のため、利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<interface>**

インタフェース名

**<reason>**

理由

**there is no option to request.**

IPv6 DHCP サーバに要求するオプションがない

### 【メッセージ】

```
dhcp6relay: <interface> is not initialized. <reason>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPv6 DHCP リレーエージェントに必要な情報の設定不足、または設定不正のため、利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<interface>**

インタフェース名

**<reason>**

理由

**relay interface omitted.**

リレー先インタフェースが指定されていない

## 1.26.22 template 定義無効

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :wan <no> is not configured.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

バインド先の wan が定義されていないため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号  
**<no>**  
wan 定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :wan <no> line is not supported.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

バインド先の wan の回線種別テンプレート着信に対応していないため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号  
**<no>**  
wan 定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :wan <no> is not acceptable.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

バインド先の wan が着信禁止になっているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号  
**<no>**  
wan 定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :this line is already bound other template.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

template datalink bind 命令で指定された回線が別のテンプレート定義によってすでに使用されているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :no pooled interface.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

テンプレート着信に使用するインタフェース定義がないため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :pooled interface is already configured on remote.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

テンプレート用に予約したインタフェースに該当する remote 定義がすでに設定されているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: unsupported datalink type by the combined function.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

template combine use 命令で指定された機能ではサポートしていない回線種別のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: same IPsec tunnel endpoint address in template <other_template>.
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

IPsec 通信用(AAA を利用)として定義した IPsec トンネルアドレスが、異なるテンプレート定義ですでに設定されているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<other\_template>

テンプレート定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid IPsec configuration.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

IPsec 定義に必要な情報の設定不足、または設定不正のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid IKE configuration.
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

IKE 定義に必要な情報の設定不足、または設定不正のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

## 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: illegal tunnel endpoint address
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

tunnel endpoint address の設定が正しくないため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid DVPN configuration.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

動的 VPN 定義に必要な情報の設定不足、または設定不正のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: address family of server address contradicts ua.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

動的 VPN サーバとクライアントのアドレスファミリが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: address family of global contradicts tunnel local.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

VPN 通信の終端グローバルアドレスと自側エンドポイントのアドレスファミリが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<template>**  
テンプレート定義番号

---

### 1.26.23 動的 VPN サーバ定義無効

#### 【メッセージ】

```
protocol: address family is contradicts,ignore server <count> of remote <remote> ap <ap> dvpn client <number>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

動的 VPN サーバのアドレスファミリが矛盾しているため、<number>で示される動的 VPN クライアント情報の <count>で設定されている動的 VPN サーバ定義を無視したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<count>**

動的 VPN サーバ定義番号

**<remote>**

相手定義番号

**<ap>**

接続先定義番号

**<number>**

動的 VPN クライアント定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: address family is contradicts,ignore server <count> of template <template>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

動的 VPN サーバのアドレスファミリが矛盾しているため、<count>で設定されている動的 VPN サーバ定義を無視したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<count>**

動的 VPN サーバ定義番号

**<template>**

テンプレート定義番号

### 1.26.24 スイッチ定義無効

#### 【メッセージ】

```
protocol: cannot find switch device [index=<no>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

スイッチデバイスが実装されていないためにスイッチ定義を無視したことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

<no>  
スイッチ定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: lan1 port is bound directly by lan <no>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

スイッチ定義が有効である状態で lan 定義が LAN1 ポートをバインドしていることを示します。

### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

### 【メッセージ】

```
protocol: lan <no> duplicate binding for switch device
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

スイッチを直接バインドする lan 定義が複数存在していることを示します。

### 【パラメタの意味】

<no>  
lan 定義番号

## 1.26.25 スタティック経路の優先度矛盾

### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the distance is contradictory. <route> from <protocol>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

優先度が 0 の経路を含んだ重複経路を登録しようとしたため、新たな経路情報を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を登録する場合、優先度 0 の経路を含むことはできません。

### 【パラメタの意味】

<route>  
破棄した経路情報  
<protocol>  
プロトコル種別

---

## 1.26.26 スタティック経路の ECMP 数オーバ

### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of ECMP routes has reached maximum. <route> from <protocol>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

スタティック経路の追加時に、該当経路の ECMP 数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<route>  
破棄した経路情報  
<protocol>  
プロトコル種別

## 1.26.27 ECMP 対象となるスタティック経路のメトリック矛盾

### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the metric is contradictory. <route> from <protocol>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

メトリックの異なる経路を ECMP 経路として登録しようとしたため、新たな経路を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を ECMP 経路として登録する場合、メトリックが同じである必要があります。

### 【パラメタの意味】

<route>  
破棄した経路情報  
<protocol>  
プロトコル種別

## 1.26.28 スタティック ARP 無効

### 【メッセージ】

```
nsm: This static ARP entry became invalid. <dst> of <interface>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

設定されたインタフェースに IPv4 アドレスがない、または、インタフェースアドレスの範囲外となるあて先 IP アドレスが指定されているため、スタティック ARP エントリが無効な状態になったことを示します。DHCP クライアントが有効なインタフェース上では、このメッセージは出力されません。

---

### 【パラメタの意味】

**<dst>**  
あて先 IP アドレス  
**<interface>**  
インタフェース名

#### 1.26.29 フルルート定義無効

### 【メッセージ】

```
bgpd: full-route is disable.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

フルルートを使用できる条件を満たしていないため、フルルート定義が無効となったことを示します。  
このメッセージは、Si-R570、Si-R570B の場合だけに出力されます。

#### 1.26.30 IPv6 スタティック経路の優先度矛盾

### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the distance is contradictory. <prefix/prefixlen> from <protocol>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

優先度が 0 の経路を含んだ重複経路を登録しようとしたため、新たな経路情報を破棄したことを示します。  
同じあて先に複数の経路を登録する場合、優先度 0 の経路を含むことはできません。

### 【パラメタの意味】

**<prefix/prefixlen>**  
破棄した経路情報  
**<protocol>**  
プロトコル種別

#### 1.26.31 IPv6 スタティック経路の ECMP 不可

### 【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of ECMP routes has reached maximum. <prefix/prefixlen>  
from <protocol>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

イコールコストとなる経路がすでに存在しているため、新たに追加しようとしたスタティック経路を破棄したことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<prefix/prefixlen>**  
破棄した経路情報  
**<protocol>**  
プロトコル種別

## 1.26.32 LDP の IPv4 Transport Address の設定失敗

### 【メッセージ】

```
ldpd: ipv4_trans_addr not found: LDP on interface <ifname> is not available
```

### 【プライオリティ】

LOG\_ERROR

### 【意味】

IPv4 Transport Address の設定が異常(装置に存在しないアドレスを指定)のため、LDP のインタフェース設定に失敗したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<ifname>**  
インタフェース名

## 1.26.33 マルチキャストのメッセージ

### 【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (too many interface)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

インタフェース数の上限を超えたため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<name>**  
動作しているプロトコル  
**pimdmd**  
PIM-DM  
**pimsm**  
PIM-SM  
**mstaticd**  
マルチキャスト・スタティックルーティング  
**<interface>**  
インタフェース名

### 【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (different protocol)
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

ほかのインタフェースで指定されたマルチキャスト・ルーティングプロトコルと異なるプロトコルが指定されたため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<name>**  
動作しているプロトコル  
**pimdmd**  
PIM-DM  
**pimsm**  
PIM-SM  
**mstaticd**  
マルチキャスト・スタティックルーティング  
**<interface>**  
インタフェース名

## 【メッセージ】

`<name>: <interface> is disable for multicast. (unnumbered interface)`

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

IP アドレスが設定されていないインタフェースのため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<name>**  
動作しているプロトコル  
**pimdmd**  
PIM-DM  
**pimsm**  
PIM-SM  
**mstaticd**  
マルチキャスト・スタティックルーティング  
**<interface>**  
インタフェース名

## 【メッセージ】

`pimsm: Invalid Cand-RP address.`

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスが不正のため、RP として動作しないことを示します。

---

### 【メッセージ】

```
pimsmc: Cand-RP address is not local.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、RP として動作しないことを示します。

### 【メッセージ】

```
pimsmc: Invalid Cand-BSR address.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスが不正のため、BSR として動作しないことを示します。

### 【メッセージ】

```
pimsmc: Cand-BSR address is not local.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、BSR として動作しないことを示します。

### 【メッセージ】

```
pimsmc: multiple own address for static RP
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

スタティック RP として自身の IP アドレスが重複指定されていることを示します。

### 【メッセージ】

```
mstaticd: multicast ipv4 static route <count> is unavailable(include invalid interface)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

マルチキャスト・スタティックルーティング定義に不正なインタフェースが含まれるため、登録に失敗したことを示します。

---

【パラメタの意味】

**<count>**  
マルチキャスト・スタティックルーティング定義番号

### 1.26.34 VRID 重複設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <interface> vrid<vrid> [<address>] is not initialized. this vrid is already used
```

【プライオリティ】

LOG\_INFO

【意味】

指定された VRID がすでに装置内で有効となっているため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

**<interface>**  
インタフェース名  
**<vrid>**  
無効となった VRID  
**<address>**  
VRID の仮想 IP アドレス

### 1.26.35 仮想ルータの IP アドレスインタフェースサブネット外設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp virtual router IP address out of interface subnet. <interface> vrid<vrid> <address>
```

【プライオリティ】

LOG\_INFO

【意味】

この VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースのサブネット外であることを示します。

【パラメタの意味】

**<interface>**  
インタフェース名  
**<vrid>**  
該当した VRID  
**<address>**  
サブネット外である仮想ルータの IP アドレス

### 1.26.36 仮想ルータの IP アドレスインタフェース同一アドレス設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp same invalid virtual router IP address as real IP address was set as backup. <interface> vrid<vrid> <address>
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

バックアップ設定である VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースの実 IP アドレスと同じであるため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<interface>**

インタフェース名

**<vrid>**

無効となった VRID

**<address>**

実インタフェースと同じである仮想ルータの IP アドレス

### 1.26.37 AAA グループ ID 定義異常

## 【メッセージ】

```
dhcpcd: AAA group ID is not defined [lan <no>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

DHCP MAC アドレスチェック機能で使用する AAA のグループ ID が未設定であることを示します。

## 【パラメタの意味】

**<no>**

lan 定義番号

### 1.26.38 不当な SNMP エージェントアドレスの設定

## 【メッセージ】

```
<component>: illegal SNMP agent address
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

自装置の IP アドレスとして割り当てられていない IP アドレスが SNMP エージェントアドレスとして定義されています。そのため、SNMP エージェントおよび TRAP 機能では、自装置の IP アドレスを使用します。SNMP マネージャとは正常に通信できない場合があります。

## 【パラメタの意味】

**<component>**

出力コンポーネント名

- enabled
- snmpd

---

### 1.26.39 RADIUS 機能の設定無効(他 RADIUS サーバ定義)

#### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: aaa <group_id> radius service is not available: another aaa group is already configured as the radius server.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ほかの AAA グループで、RADIUS サーバとして使用することが設定されているため、指定された AAA グループの RADIUS 機能が無効となることを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<group\_id>**  
AAA グループ ID

### 1.26.40 RADIUS 機能の設定無効(他 RADIUS クライアント定義)

#### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: aaa <group_id> radius service is not available: another aaa group is already configured as the radius client.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ほかの AAA グループで、RADIUS クライアントとして使用することが設定されているため、指定された AAA グループの RADIUS 機能が無効となることを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<group\_id>**  
AAA グループ ID

### 1.26.41 AAA グループ ID 定義異常

#### 【メッセージ】

```
protocol: AAA group ID for ARP authentication is not defined [lan <no>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ARP 認証機能で使用する AAA のグループ ID が未設定であることを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<no>**  
lan 定義番号

---

## 1.26.42 ログインユーザの AAA 情報定義矛盾

### 【メッセージ】

```
<component>: password aaa is invalid
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

管理者の AAA 情報または一般ユーザの AAA 情報が定義されているため、ログインユーザの AAA 情報定義を無視することを示します。

### 【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- aaa\_agentd

## 1.26.43 IPv6 BGP セッション無効

### 【メッセージ】

```
bgpd: IPv6 BGP session is disable.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

IPv6 での BGP セッションを使用できる条件を満たしていないため、機能が無効となったことを示します。このメッセージは、Si-R570、Si-R570B で拡張用 512M メモリモジュールが搭載されていない場合にだけ出力されます。

---

## 1.27 ACL 関連のメッセージ

本章に記載されている<config>(ACL 参照定義)に表示される定義内容を以下に示します。

### <config>

#### IP フィルタ定義

- lan <number> ip filter <count>
- lan <number> ip6 filter <count>
- remote <number> ip filter <count>
- remote <number> ip6 filter <count>
- template <number> ip filter <count>
- template <number> ip6 filter <count>

#### TOS/Traffic Class 書き換え定義

- lan <number> ip tos <count>
- lan <number> ip6 trafficclass <count>
- remote <number> ip tos <count>
- remote <number> ip6 trafficclass <count>
- template <number> ip tos <count>
- template <number> ip6 trafficclass <count>

#### 帯域制御(WFQ)定義

- lan <number> ip priority <count>
- lan <number> ip6 priority <count>
- remote <number> ip priority <count>
- remote <number> ip6 priority <count>
- template <number> ip priority <count>
- template <number> ip6 priority <count>

#### CLP 値設定の定義

- remote <number> ip clp <count>
- remote <number> ip6 clp <count>

#### 動的 VPN 定義

- remote <number> ip dvpn <count>
- remote <number> ip6 dvpn <count>

#### EXP 書き換え定義

- remote <number> ip exp <count>
- remote <number> ip6 exp <count>

#### Ingress ポリシールーティング定義

- lan <number> ip in-policy <count> policy-group <policy-group\_number> pattern <pattern\_count>
- lan <number> ip6 in-policy <count> policy-group <policy-group\_number> pattern <pattern\_count>
- remote <number> ip in-policy <count> policy-group <policy-group\_number> pattern <pattern\_count>
- remote <number> ip6 in-policy <count> policy-group <policy-group\_number> pattern <pattern\_count>
- template <number> ip in-policy <count> policy-group <policy-group\_number> pattern <pattern\_count>
- template <number> ip6 in-policy <count> policy-group <policy-group\_number> pattern <pattern\_count>

#### MAC フィルタ定義

- lan <number> bridge filter <count>
- remote <number> bridge filter <count>

#### 無線 LAN MAC フィルタ定義

- wlan <number> filter <count>

### <number>

lan、remote、template または無線 lan 定義番号

### <count>

各定義の優先順位

---

**<policy-group\_number>**

ポリシーグループ番号

**<pattern\_count>**

ポリシーグループパターン定義番号

### 1.27.1 ACL 定義矛盾(MAC を無視)

#### 【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> mac is invalid
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<acl\_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、MAC に関する定義を無視することを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<component>**

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

**<config>**

ACL 参照定義

**<acl\_count>**

ACL 定義番号

### 1.27.2 ACL 定義矛盾(IP を無視)

#### 【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> ip is invalid
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<acl\_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IP に関する定義を無視することを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<component>**

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

**<config>**

ACL 参照定義

**<acl\_count>**

ACL 定義番号

---

### 1.27.3 ACL 定義矛盾 (IPv6 を無視)

#### 【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> ip6 is invalid
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<acl\_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IPv6 に関する定義を無視することを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

##### <config>

ACL 参照定義

##### <acl\_count>

ACL 定義番号

### 1.27.4 ACL 定義矛盾 (TCP を無視)

#### 【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> tcp is invalid
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<acl\_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、TCP に関する定義を無視することを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

##### <config>

ACL 参照定義

##### <acl\_count>

ACL 定義番号

### 1.27.5 ACL 定義矛盾 (UDP を無視)

#### 【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> udp is invalid
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

<acl\_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、UDP に関する定義を無視することを示します。

**【パラメタの意味】****<component>**

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

**<config>**

ACL 参照定義

**<acl\_count>**

ACL 定義番号

### 1.27.6 ACL 定義矛盾(ICMP を無視)

**【メッセージ】**

```
<component>: <config> acl <acl_count> icmp is invalid
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

<acl\_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、ICMP に関する定義を無視することを示します。

**【パラメタの意味】****<component>**

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

**<config>**

ACL 参照定義

**<acl\_count>**

ACL 定義番号

### 1.27.7 ACL 定義矛盾(ACL 定義存在せず)

**【メッセージ】**

```
<component>: <config> acl <acl_count> doesn't exist
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

<acl\_count>の ACL 定義が存在しないため、<config>で示す定義が無効であることを示します。

**【パラメタの意味】****<component>**

出力コンポーネント名

- enabled

- 
- ・ protocol
- <config>**  
ACL 参照定義
- <acl\_count>**  
存在しない ACL 定義番号

### 1.27.8 ACL 定義矛盾(必要な定義が存在しないために無効)

#### 【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> is invalid
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<acl\_count>の ACL 定義で必要な定義がないため、<config>で示す定義が無効であることを示します。

#### 【パラメタの意味】

- <component>**  
出力コンポーネント名
- ・ enabled
  - ・ protocol
- <config>**  
ACL 参照定義
- <acl\_count>**  
無効として扱う ACL 定義番号

---

## 1.28 ポリシーグループ関連のメッセージ

本章に記載されている<config>(ポリシーグループ参照定義)に表示される定義内容を以下に示します。

### <config>

Ingress ポリシールーティング定義

- lan <number> ip in-policy <count>
- lan <number> ip6 in-policy <count>
- remote <number> ip in-policy <count>
- remote <number> ip6 in-policy <count>
- template <number> ip in-policy <count>
- template <number> ip6 in-policy <count>

### <number>

lan、remote、または template 定義番号

### <count>

各定義の優先順位

### 1.28.1 ポリシーグループ定義矛盾(必須定義不足)

#### 【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> <parameter> doesn't exist
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<policy-group\_number>のポリシーグループの必須定義に不足があり、<config>で示す定義が無効であることを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

##### <config>

ポリシーグループ参照定義

##### <policy-group\_number>

ポリシーグループ定義番号

##### <parameter>

存在しないポリシーグループ必須定義

- pattern
- interface

IPv4 定義コマンド

- nexthop(interface が lan の場合だけ)

IPv6 定義コマンド

- nexthop6(interface が lan の場合だけ)

### 1.28.2 ポリシーグループ定義矛盾(ポリシーグループ定義存在せず)

#### 【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> doesn't exist
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

<policy-group\_number>のポリシーグループ定義が存在しないため、<config>で示す定義が無効であることを示します。

## 【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- ・ enabled
- ・ protocol

<config>

ポリシーグループ参照定義

<policy-group\_number>

存在しないポリシーグループ定義番号

### 1.28.3 ポリシーグループ定義矛盾(nexthop 無効)

## 【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> nexthop is invalid
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

<policy-group\_number>のポリシーグループ定義に定義矛盾があり、nexthop に関する定義を無視することを示します。

## 【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- ・ enabled
- ・ protocol

<config>

ポリシーグループ参照定義

<policy-group\_number>

ポリシーグループ定義番号

### 1.28.4 ポリシーグループ定義矛盾(nexthop6 無効)

## 【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> nexthop6 is invalid
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

<policy-group\_number>のポリシーグループ定義に定義矛盾があり、nexthop6 に関する定義を無視することを示します。

## 【パラメタの意味】

### <component>

出力コンポーネント名

- ・ enabled
- ・ protocol

### <config>

ポリシーグループ参照定義

### <policy-group\_number>

ポリシーグループ定義番号

## 1.28.5 ポリシーグループセッション監視メッセージ

## 【メッセージ】

```
icmpwatchd: policy-group watching host is down. <target>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

Ingress ポリシールーティングセッション監視の監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <target>

policy-group ポリシーグループ番号

## 【メッセージ】

```
icmpwatchd: policy-route watching host is up. <target>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

Ingress ポリシールーティングセッション監視の監視ホスト、または接続回線が復旧したことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <target>

policy-group ポリシーグループ番号

---

## 1.29 DHCP クライアントのメッセージ

### 1.29.1 IP アドレス獲得成功

#### 【メッセージ】

```
dhcpcd: Client received DHCPACK [<IP address>] [lan<no>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

DHCP サーバから DHCPACK を受信し、正常に IP アドレスを受け取ったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<IP address>

DHCP サーバから割り当てられた IP アドレス

<no>

受信 LAN 定義番号

### 1.29.2 リース更新成功

#### 【メッセージ】

```
dhcpcd: DHCPACK contains different 'your' IP address. reconfigure to new address
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

リース更新で DHCP サーバから DHCPACK を受信したが、現在使用中の IP アドレスと異なるアドレスが割り当てられたため新しいアドレスに再構成します。

### 1.29.3 リース更新失敗 1

#### 【メッセージ】

```
dhcpcd: Received DHCPNAK(RENEWING). lan<no> go to INIT state
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

リース更新中(RENEWING 状態)に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

#### 【パラメタの意味】

<no>

受信 LAN 定義番号

---

## 1.29.4 リース更新失敗 2

### 【メッセージ】

```
dhcpcd: Received DHCPNAK(REBINDING). lan<no> go to INIT state
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

リース更新中(REBINDING 状態)に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

### 【パラメタの意味】

<no>  
受信 LAN 定義番号

## 1.29.5 リース期間満了

### 【メッセージ】

```
dhcpcd: The lease time expired. [lan<no>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

リース期間が満了したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<no>  
受信 LAN 定義番号

---

## 1.30 IPv6 DHCP クライアントのメッセージ

### 1.30.1 IPv6 プレフィックス獲得成功

#### 【メッセージ】

```
dhcp6cd: Received Reply <prefix>/<prefixlen> <interface>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IPv6 DHCP サーバから Reply を受信し、正常に IPv6 プレフィックスを受け取ったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<prefix>/<prefixlen>**

IPv6 DHCP サーバから割り当てられた IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

**<interface>**

インタフェース名

### 1.30.2 リース更新失敗 1

#### 【メッセージ】

```
dhcp6cd: Renewing failure. <interface> go to REBIND state
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した情報のリース更新(RENEW)に失敗したため、REBIND 状態に遷移します。

#### 【パラメタの意味】

**<interface>**

インタフェース名

### 1.30.3 リース更新失敗 2

#### 【メッセージ】

```
dhcp6cd: Rebinding failure. <interface> go to INIT state
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した情報のリース更新(REBIND)に失敗したため、INIT 状態に遷移します。

#### 【パラメタの意味】

**<interface>**

インタフェース名

---

#### 1.30.4 IPv6 プレフィックス割り当ての設定誤り

##### 【メッセージ】

```
dhcp6cd: Configuration error for IPv6 prefix assignment. <interface>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

IPv6 プレフィックスを割り当てのための設定に誤りがあることを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<interface>**  
インタフェース名

---

## 1.31 ProxyDNS のメッセージ

### 1.31.1 DNS プロキシの問い合わせパケット

#### 【メッセージ】

```
proxydns: QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr> to <remote>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

発信契機となった DNS の問い合わせパケットの内容を示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <type>

問い合わせタイプ

<type>	番号	説明
" A "	1	host address
" NS "	2	authoritative server
" CNAME "	5	canonical name
" SOA "	6	start of authority zone
" MB "	7	mailbox domain name
" MG "	8	mail group member
" MR "	9	mail rename name
" NULL "	10	null resource record
" WKS "	11	well known service
" PTR "	12	domain name pointer
" HINFO "	13	host information
" MINFO "	14	mailbox information
" MX "	15	mail routing information
" TXT "	16	text strings
" AAAA "	28	IPv6 Address
" SRV "	33	Server Selection
" ANY "	255	wildcard match
" Type[ 番号] "		上記以外

##### <qname>

問い合わせホスト名

##### <ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

##### <remote>

問い合わせ先ネットワーク名

### 1.31.2 エラー検知によるパケット破棄

#### 【メッセージ】

```
proxydns: ERROR: record type <type>, class <class>, from <address> QNAME [<name>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_WARNING

#### 【意味】

不正と思われる type や class を持つ DNS 要求を破棄したことを示します。

---

## 【パラメタの意味】

### <type>

DNS 要求パケットの Type の値

### <class>

DNS 要求パケットの Class の値

### <address>

DNS 要求発行元の IP アドレス

### <name>

DNS 要求を行った名前

---

## 1.32 SNMP のメッセージ

### 1.32.1 SNMP 認証失敗

#### 【メッセージ】

```
snmpd: authentication failed. from <address> [<name>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

許可のない SNMP ホストからのアクセスがあったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <address>

SNMP 認証失敗の原因となった IP アドレス

##### <name>

SNMP 認証に使用されたコミュニティ名(SNMPv1/SNMPv2c 時)  
またはユーザ名(SNMPv3 時)

---

## 1.33 VRRP のメッセージ

### 1.33.1 VRRP グループ開始

#### 【メッセージ】

```
nsm: vrrp group is started. <interface> vrid<vrid> [<address>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループが動作を開始したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<interface>**

インタフェース名

**<vrid>**

本装置に設定された VRID

**<address>**

VRID の仮想 IP アドレス

### 1.33.2 マスタルータ / バックアップルータ / イニシャル切り替わり

#### 【メッセージ】

```
nsm: vrrp state is changed into the <state> state. <interface> vrid<vrid> [<address>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP 状態が<state> で示された状態に変更されたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<interface>**

インタフェース名

**<vrid>**

本装置に設定された VRID

**<address>**

VRID の仮想 IP アドレス

**<state>**

変更後の状態

**master**

マスタルータ

**backup**

バックアップルータ

**Initialize**

イニシャル

---

### 1.33.3 インタフェースアップ / ダウントリガイベント発生

#### 【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<address>] No.<trigger_no> interface <target_if>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<interface>、<vrid> および<trigger\_no> が示す番号で定義されたインタフェーストリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <state>

変更後の状態

##### up

トリガに設定されたインタフェースがアップし、トリガが不適用になりました。

##### down

トリガに設定されたインタフェースがダウンし、トリガが適用されました。

##### <interface>

インタフェース名

##### <vrid>

本装置に設定された VRID

##### <address>

VRID の仮想 IP アドレス

##### <trigger\_no>

トリガ定義番号

##### <target\_if>

トリガの対象となるインタフェース名

### 1.33.4 ルートアップ / ダウントリガイベント発生

#### 【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<address>] No.<trigger_no> route <target_route> <target_if>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<interface> と<vrid> と<trigger\_no> が示す番号で定義されたルートトリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <state>

変更後の状態

##### up

トリガに設定された経路が復旧し、トリガが不適用になりました。

##### down

トリガに設定された経路が損失し、トリガが適用されました。

---

**<interface>**  
インタフェース名

**<vrid>**  
本装置に設定された VRID

**<address>**  
VRID の仮想 IP アドレス

**<trigger\_no>**  
トリガ定義番号

**<target\_route>**  
トリガの対象となる経路

**<target\_if>**  
トリガの対象となる経路の packets 送出インタフェース名

### 1.33.5 ノードアップ/ダウントリガイベント発生

#### 【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<address>] No.<trigger_no> node  
<target_node> <target_if>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<interface> と<vrid> と<trigger\_no> が示す番号で定義されたノードトリガが発生し、トリガの状態が<state> になったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<state>**  
変更後の状態

**up**  
トリガに設定されたノードがアップし、トリガが不適用になりました。

**down**  
トリガに設定されたノードがダウンし、トリガが適用されました。

**<interface>**  
インタフェース名

**<vrid>**  
本装置に設定された VRID

**<address>**  
VRID の仮想 IP アドレス

**<trigger\_no>**  
トリガ定義番号

**<target\_node>**  
トリガの対象となるノードの IP アドレス

**<target\_if>**  
トリガに設定された ICMP ECHO packets 送出インタフェース名

### 1.33.6 マスタルータダウン検出

#### 【メッセージ】

```
nsm: vrrp master router down detection. <interface> vrid<vrid> [<address>] #<code>
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループのマスタルータのダウンを検出したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>

ダウンしたマスタルータの VRID

<address>

異常を検出したマスタルータの実 IP アドレス

<code>

検出した異常の種類

01

マスタルータ放棄

(優先度 0 の VRRP-AD 受信)

02

VRRP-AD 受信タイムアウト

### 1.33.7 受信 VRRP-AD TTL 異常

## 【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet include invalid TTL. from <interface> [<address>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

<interface> が示すインタフェースに TTL が 255 でない VRRP パケットを受信したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

### 1.33.8 受信 VRRP-AD HopLimit 異常

## 【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet include invalid HopLimit. from <interface> [<address>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

<interface> が示すインタフェースに HopLimit が 255 でない VRRP パケットを受信したことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<interface>**

インタフェース名

**<address>**

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

### 1.33.9 受信 VRRP-AD 認証タイプ異常

#### 【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication method mismatched. from <interface> [<address>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証方法の一致しない VRRP パケットを受信したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<interface>**

インタフェース名

**<address>**

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

### 1.33.10 受信 VRRP-AD 認証パスワード異常

#### 【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication data check failed. from <interface> [<address>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証パスワードの一致しない VRRP パケットを受信したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<interface>**

インタフェース名

**<address>**

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

### 1.33.11 VRRP 状態変化に対するアクション適用失敗

#### 【メッセージ】

```
nsm: vrrp action <mode> failed. <interface> vrid<vrid> [<address>] No.<action_no> <state> <action> <target> :  
<msg>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

<interface> と<vrid> と<action\_no> が示す番号で定義された VRRP 状態変化に対するアクションの適用に失敗したことを示します。

## 【パラメタの意味】

### <mode>

アクション適用/非適用

#### On

アクション適用動作を示します。

#### Off

アクション非適用動作を示します。

### <interface>

インタフェース名

### <vrid>

本装置に設定された VRID

### <address>

VRID の仮想 IP アドレス

### <action\_no>

アクション定義番号

### <state>

アクションを適用する状態

### <action>

適用するアクション

### <target>

アクションの対象

#### lan [<lan\_number>]

lan を示します。

#### remote [<remote\_number> [ap <ap\_number> [id <id> <password>]]]

相手ネットワークや接続先を示します。

#### access-point <ap\_name>

接続先を示します。

#### template interface <interface\_name>

template 接続を示します。

#### template <template\_number> [uid <user\_id>]

template 接続を示します。

### <msg>

<action>が失敗した理由

---

## 1.34 スケジュールのメッセージ

### 1.34.1 電話番号変更予約の実施

#### 【メッセージ】

```
scheduled: action: dial number convert [<dial1>] to [<dial2>]  
scheduled: [<no>] <config>: dial number [<dial3>] convert
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

スケジュール機能による電話番号変更が実施されたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <dial1>

電話番号変更予約情報の変更前電話番号

##### <dial2>

電話番号変更予約情報の変更後電話番号

##### <no>

処理通番

##### <config>

対象となる構成定義情報の名称

<name>は相手ネットワーク名、接続先名、相手識別名、グループ名またはユーザ ID

<n>は数字を示します(詳細は各コマンドの説明を参照)。

wan.<n>.isdn.number.<n>

wan.<n>.isdn.numbersend

remote.<name>.ap.<name>.dial.<n>.number

remote.<name>.ap.<name>.called.number

aaa.<name>.user.<name>.called.number

##### <dial3>

変更する電話番号

### 1.34.2 電話番号変更の失敗

#### 【メッセージ】

```
scheduled: config size over, convert failed.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

スケジュール機能による電話番号変更を実施したが、構成定義格納サイズを超えたため、変更失敗を示します。

---

## 1.35 ブリッジ / STP のメッセージ

### 1.35.1 構成変更を検出

#### 【メッセージ】

```
protocol: Topology changed [<root>:<priority>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ブリッジネットワークの構成の変化を検出したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<root>**  
ルートブリッジの MAC アドレス  
**<priority>**  
ルートブリッジの優先度

### 1.35.2 上位ブリッジのダウンを検出

#### 【メッセージ】

```
protocol: STP aging timer expired [<root>:<interface>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

自装置の上位のブリッジ装置から定期的に送信される構成情報 BPDU が規定時間内に受信できないことにより上位ブリッジ装置のダウンを検出したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<root>**  
ルートブリッジの MAC アドレス  
**<interface>**  
ダウンを検出したブリッジ装置が接続されるインタフェース名

---

## 1.36 LLDP 関連のメッセージ

### 1.36.1 送信 LLDPDU のオーバーフロー

#### 【メッセージ】

```
lldpd: lan <number> send LLDPDU size overflow.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

LLDP 情報が送信可能なフレーム長を超えたため、送信する LLDPDU にすべての LLDP 情報を入れることができなかったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<number>

送信 LLDPDU にすべての LLDP 情報を入れることができなかったポートのポート番号

---

## 1.37 IEEE802.1X 認証のメッセージ

### 1.37.1 IEEE802.1X 認証初期化失敗

#### 【メッセージ】

```
authd: open_suppllicant: Error opening socket (<errno>)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IEEE802.1X 認証用のソケットの生成に失敗したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<errno>**  
エラー番号

### 1.37.2 認証成功

#### 【メッセージ】

```
authd: Suppllicant is accepted on lan<number> [<mac_addr> user=<username>] [from CACHE]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

IEEE802.1X 認証による認証が成功したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<number>**  
lan 定義番号  
**<mac\_addr>**  
認証される端末の MAC アドレス  
**<username>**  
ユーザ名  
**from CACHE**  
無線 LAN 接続時に PMK キャッシュ機能が利用されたことを示す

### 1.37.3 ユーザログオフ

#### 【メッセージ】

```
authd: Suppllicant is logged-off on lan<number> due to user request [<username>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ユーザからの要求によりログオフしたことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<number>**  
lan 定義番号  
**<username>**  
ユーザ名

## 1.37.4 ユーザの強制ログオフ

### 【メッセージ】

```
authd: Supplicant is logged-off on lan<number> due to link error or reconfiguration [<username>]  
l2nsm: Supplicant is logged-off on lan<number> due to link error or reconfiguration [<username>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

リンク異常または構成定義変更によりユーザを強制的にログオフにしたことを示します。  
また、無線 LAN で利用している場合は端末が切断されたことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<number>**  
lan 定義番号  
**<username>**  
ユーザ名

## 1.37.5 メモリ不足による課金開始または課金終了の失敗

### 【メッセージ】

```
authd: accounting <request> request failed for <username>/<mac_addr>(lan<number>) on aaa <aaa_gid>: memory  
allocation failed.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

メモリ不足により課金開始または課金終了要求の送信に失敗したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<request>**  
課金要求の種別  
**start**  
課金開始要求  
**stop**  
課金終了要求  
**<number>**  
lan 定義番号  
**<username>**  
ユーザ名  
**<mac\_addr>**  
認証される端末の MAC アドレス

---

<aaa\_gid>  
AAA グループ ID

### 1.37.6 メモリ不足による認証失敗

#### 【メッセージ】

```
authd: authentication request failed for <username>/<mac_addr>(lan<number>) on aaa <aaa_gid>: memory allocation failed.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

メモリ不足により認証が失敗したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<number>  
lan 定義番号  
<username>  
ユーザ名  
<mac\_addr>  
認証される端末の MAC アドレス  
<aaa\_gid>  
AAA グループ ID

### 1.37.7 認証サーバの通知メッセージ異常

#### 【メッセージ】

```
authd: EAP packet cannot be found within RADIUS/AAA response [lan<number>:mac=<mac_addr>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

認証サーバ側の設定などの要因により、認証サーバから通知された応答に EAP パケットが含まれていなかったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<number>  
lan 定義番号  
<mac\_addr>  
認証される端末の MAC アドレス

### 1.37.8 認証再試行

#### 【メッセージ】

```
authd: authentication is restarted on lan<number> [cause=<cause>]
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

<cause>で示された要因により認証処理を再試行したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<cause>

認証再試行の要因。表示される要因には以下のものがあります。

- EAPOL-start  
認証途中の EAPOL-start メッセージ受信
- EAPOL-logoff  
認証途中の EAPOL-logoff メッセージ受信
- supplicant timeout  
認証途中のサブリカントからのメッセージ受信タイムアウト発生

### 1.37.9 最大 ID 長オーバ

## 【メッセージ】

```
authd: Identity Response is ignored on lan<number> (too long user name) [user=<username>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

端末(Supplicant)から通知されたユーザ名がシステムで扱える最大長を超えたためメッセージが無視されたことを示します。

## 【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<username>

ユーザ名

### 1.37.10 ポートアクセス制御失敗

## 【メッセージ】

```
authd: port cannot be opened [lan<number>,user=<username>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

認証が成功したユーザのポート開放処理が異常終了したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<number>

lan 定義番号

<username>

ユーザ名

---

## 1.38 モデム関連のメッセージ

### 1.38.1 モデム初期化失敗

#### 【メッセージ】

```
comctl: fail to initialize MODEM by <reason>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_WARNING

#### 【意味】

起動または enable によってモデムの初期化に失敗したことを示します。このメッセージはモデム接続可能な装置の場合だけ出力されます。

#### 【パラメタの意味】

**<reason>**

初期化契機

**enable**

enable

---

## 1.39 PC カード関連共通のメッセージ

### 1.39.1 PC カード挿入

#### 【メッセージ】

```
<name>: [SLOT<slot>] card is inserted. <card>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

PC カードが挿入されたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<name>**  
PC カード挿入を検出したプログラム  
**protocol**  
プロトコル制御  
**<slot>**  
スロット番号  
**<card>**  
PC カードの製品メーカー名 / 製品名情報

### 1.39.2 PC カード抜去

#### 【メッセージ】

```
<name>: [SLOT<slot>] card is ejected.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

PC カードが抜去されたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<name>**  
PC カード抜去を検出したプログラム  
**protocol**  
プロトコル制御  
**<slot>**  
スロット番号

### 1.39.3 PC カード異常

#### 【メッセージ】

```
<name>: [SLOT<slot>] card is error.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

PC カード異常を検出したことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<name>**

PC カード異常を検出したプログラム

**protocol**

プロトコル制御

**<slot>**

スロット番号

---

## 1.40 データ通信カード関連のメッセージ

### 1.40.1 データ通信カード初期化失敗

#### 【メッセージ】

```
<component>: [SLOT<slot>] fail to initialize card. <card>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

データ通信カードの初期化に失敗したことを示します。

出力コンポーネント名が `cmodemctl` の場合は、データ通信カードの故障か、PUK ロック状態(PIN ロックを解除できない状態)を示します。

出力コンポーネント名が `pcdcacm` の場合は、データ通信カードになんらかの異常(故障など)が発生したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <component>

出力コンポーネント名

- ・ `cmodemctl`
- ・ `pcdcacm`

##### <slot>

スロット番号

##### <card>

PC カードの製品メーカー名 / 製品名情報

### 1.40.2 データ通信カード初期化失敗(構成定義 PIN 照合なし、データ通信カード PIN 照合あり)

#### 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initialize card. <card> (PIN code is NULL)
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

構成定義では PIN 照合なしであるのに、データ通信カード側は PIN 照合ありになっているため、データ通信カードの初期化に失敗したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <slot>

スロット番号

##### <card>

PC カードの製品メーカー名 / 製品名情報

### 1.40.3 データ通信カード初期化失敗(PIN 照合失敗)

#### 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initialize card. <card> (incorrect password)
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

構成定義上のPINコードとデータ通信カード上のPINコードの照合に失敗したため、データ通信カードの初期化に失敗したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<slot>

スロット番号

<card>

PCカードの製品メーカー名 / 製品名情報

### 1.40.4 データ通信カード初期化失敗(PINロック発生)

## 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initialize card. <card> (PUK required)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

構成定義上のPINコードとデータ通信カード上のPINコードの照合に失敗し、PINロックが発生したため、データ通信カードの初期化に失敗したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<slot>

スロット番号

<card>

PCカードの製品メーカー名 / 製品名情報

### 1.40.5 データ通信カード初期化失敗(PINロック状態)

## 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initialize card. <card> (PIN Locked:PUK required)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

PINロック状態のデータ通信カードを初期化しようとしたため、データ通信カードの初期化に失敗したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<slot>

スロット番号

<card>

PCカードの製品メーカー名 / 製品名情報

---

#### 1.40.6 データ通信カード初期化失敗(PUK ロック状態)

##### 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initialize card. <card> (SIM failure)
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

PUK ロック状態(完全ロック)のデータ通信カードを初期化しようとしたため、データ通信カードの初期化に失敗したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<card>**

PC カードの製品メーカー名 / 製品名情報

#### 1.40.7 PIN 制御コマンド実行エラー(enable, disable, change)(PIN 照合失敗)

##### 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PIN code error. <card> (incorrect password)
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

指定された PIN コードが、データ通信カードに設定された値と異なっていたため、PIN 照合に失敗したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<card>**

PC カードの製品メーカー名 / 製品名情報

#### 1.40.8 PIN 制御コマンド実行エラー(enable, disable, change)(PIN ロック発生)

##### 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PIN code error. <card> (PUK required)
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

指定された PIN コードが、データ通信カードに設定された値と異なっていたため、PIN 照合に失敗し、PIN ロックが発生したことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

<slot>

スロット番号

<card>

PC カードの製品メーカー名 / 製品名情報

#### 1.40.9 PIN 制御コマンド実行エラー (unlock) (PUK 入力エラー)

### 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PUK code error. <card> (incorrect password)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

指定された PUK コードが、データ通信カードに設定された値と異なっていたため、PIN ロック解除に失敗したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<slot>

スロット番号

<card>

PC カードの製品メーカー名 / 製品名情報

#### 1.40.10 PIN 制御コマンド実行エラー (unlock) (PUK ロック発生)

### 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PUK code error. <card> (SIM failure)
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

以下のどれかを示します。

- ・ データ通信カードに USIM が未実装
- ・ データ通信カードに実装されている USIM 異常
- ・ 指定された PUK と、データ通信カードの PUK コード不一致により、データ USIM がロックされた、またはロックされている。

### 【パラメタの意味】

<slot>

スロット番号

<card>

PC カードの製品メーカー名 / 製品名情報

#### 1.40.11 構成定義 PIN 照合あり、データ通信カード PIN 照合なしで運用中

### 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PIN collation of card is disabled.
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

構成定義上はPIN 照合ありになっているが、データ通信カードがPIN 照合なしの設定となっていたため、構成定義上のPIN 照合設定が無視されたことを示します。

## 【パラメタの意味】

<slot>  
スロット番号

### 1.40.12 構成定義 PIN 照合あり、データ通信カード PIN 未サポート

## 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] PIN code is ignored. (PIN unsupported card)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

構成定義上はPIN コードが設定されているが、データ通信カードがPIN 未サポートカードであるため、構成定義上のPIN コードが無視されることを示します。

## 【パラメタの意味】

<slot>  
スロット番号

### 1.40.13 データ通信カード異常検出

## 【メッセージ】

```
cmodemctl: [SLOT<slot>] fail to initialize card. <card> (hardware error)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

データ通信カードになんらかの異常が発生したことを示します。  
以降、該当するデータ通信カードでは通信ができなくなります。

## 【パラメタの意味】

<slot>  
スロット番号  
<card>  
PC カードの製品メーカー名 / 製品名情報

---

## 1.41 無線 LAN カード関連のメッセージ

### 1.41.1 無線 LAN 設定での誤りを検知

#### 【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> ssid is empty
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

SSID が未設定であることを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<number>**  
wlan 定義番号

#### 【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> channel <channel> is not committed: invalid <mode> channel
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

指定された channel が、現在の通信モードでは利用できないことを示します。  
<channel>に any が指定されたものとして動作します。

#### 【パラメタの意味】

**<number>**  
wlan 定義番号  
**<channel>**  
チャンネル番号  
**<mode>**  
通信モード

#### 【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> wep mode off is not committed: auth shared need wep
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

認証モードに shared(共通鍵認証)が指定されている場合に、必須となる WEP が無効となっていることを示します。  
<mode>に on が指定されたものとして動作します。

#### 【パラメタの意味】

**<number>**  
wlan 定義番号

---

## 【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> wep mode <mode> is not committed: auth wpa is selected
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

認証モードに WPA が指定されている場合に、不必要な WEP が有効になっていることを示します。  
<mode>に off が指定されたものとして動作します。

## 【パラメタの意味】

<number>  
wlan 定義番号  
<mode>  
WEP 動作モード

## 【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> wep key <index> selected by send key is empty
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

WEP が利用されている場合に、送信キーに指定される WEP キーが未設定であることを示します。

## 【パラメタの意味】

<number>  
wlan 定義番号  
<index>  
WEP キー認識番号

## 【メッセージ】

```
protocol: wlan <number> wpa psk is empty
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

WPA で事前共有キー (PSK) 認証が指定されている場合に、事前共有キーが未設定であることを示します。

## 【パラメタの意味】

<number>  
wlan 定義番号

### 1.41.2 無線 LAN アクセスポイントの同期

## 【メッセージ】

```
protocol: wlan on slot<slot>: synchronized with <bssid> ssid "<ssid>" channel <ch> start <rate>Mbps
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

無線 LAN アクセスポイントが同期してビーコン送信を開始したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号

**<bssid>**  
無線 LAN アクセスポイントの BSSID(MAC アドレス)

**<ssid>**  
無線 LAN アクセスポイントの SSID

**<ch>**  
同期したチャンネル

**<rate>**  
ビーコン送信開始時の転送レート

### 1.41.3 無線 LAN 端末の接続

## 【メッセージ】

```
protocol: wlan on slot<slot>: [<mac>] station associated at aid <aid>: <info1>, <info2> [,<info3>]  
protocol: wlan on slot<slot>: [<mac>] station reassocated at aid <aid>: <info1>, <info2> [,<info3>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

無線 LAN アクセスポイントに無線 LAN 端末が接続または再接続したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号

**<mac>**  
無線 LAN 端末の MAC アドレス

**<aid>**  
無線 LAN 端末に割り当てたアソシエーション ID

**<info1>**  
無線 LAN 端末との接続情報 1(プリアンブル)

- ・ short preamble
- ・ long preamble

**<info2>**  
無線 LAN 端末との接続情報 2(スロットタイム)

- ・ short slot time
- ・ long slot time

**<info3>**  
無線 LAN 端末との接続情報 3(プロテクション) 有効時のみ表示

- ・ protection

---

#### 1.41.4 無線 LAN 端末の切断

##### 【メッセージ】

```
protocol: wlan on slot<slot>: [<mac>] station with aid <aid> leaves
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 端末が切断されたことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<mac>**  
無線 LAN 端末の MAC アドレス  
**<aid>**  
無線 LAN 端末に割り当てたアソシエーション ID

#### 1.41.5 WPA 関連メッセージ

##### 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: MIC ERROR was detected. STA=[<mac>]
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

受信パケットの復号化時に TKIP MIC エラーを検出したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<mac>**  
MIC エラーを検出した STA の MAC アドレス

##### 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: MIC ERROR was detected twice in 60seconds. STA=[<mac>]
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

TKIP MIC エラーを 60 秒に 2 回以上検出したことを示します。  
無線 LAN インタフェースは一定時間の間、保留状態となり、保留時間(60 秒)が終わるまで端末接続が行えない状態となります。

---

## 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<mac>**

MIC エラーを検出した STA の MAC アドレス

## 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received invalid EAPOL-Key: <reason>. STA=<mac>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

受信した EAPOL-Key フレームで異常を検出したため、破棄したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<reason>**

エラーと認識した原因。以下のどちらかが表示されます。

- Key Ack set  
ACK フラグがセットされています。
- Key MIC not set  
MIC データが付与されていません。

**<mac>**

EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

## 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key with invalid MIC. STA=<mac>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

受信した EAPOL-Key フレームで MIC 異常を検出したため、破棄したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<mac>**

EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

## 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key Request with invalid MIC. STA=<mac>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

### 【意味】

受信した EAPOL-Key フレームで MIC 異常を検出したため、破棄したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<mac>**

EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

### 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key Error Request (STA detected Michael MIC failure). STA=<mac>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

MIC エラーにより STA からエラー通知を受信したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<mac>**

EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

### 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key Request with replayed counter. STA=<mac>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

期待するシーケンス番号より小さいシーケンス番号が指定された EAPOL-Key フレームを受信したため、受信 EAPOL-Key フレームを破棄したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<mac>**

シーケンス番号異常の EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

### 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key <mstype> with unexpected replay counter. STA=<mac>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

期待しないシーケンス番号が指定された EAPOL-Key フレームを受信したため、受信 EAPOL-Key フレームを破棄したことを示します。

---

## 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<mstype>**

メッセージ種別。以下のどれかが表示されます。

- Request
- 2/2 Group
- 2/4 Pairwise
- 4/4 Pairwise

**<mac>**

シーケンス番号異常の EAPOL-Key を送信した STA の MAC アドレス

## 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: cannot handshake by retry over for PTK in <status>. STA=<mac>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

PTK 鍵交換処理中にリトライオーバーにより鍵交換が失敗したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<status>**

鍵交換処理でのリトライオーバーを検出した時点の内部状態。以下のどちらかの状態が表示されます。

- PTKSTART  
PTK 交換(4-way handshake)の最初の応答受信待ち
- PTKINITNEGOTIATING  
PTK 交換(4-way handshake)の3つ目の応答受信待ち

**<mac>**

STA の MAC アドレス

## 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: no PSK configured for the STA <mac>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

PSK が設定されていないために鍵交換が失敗したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<slot>**

スロット番号

**<mac>**

STA の MAC アドレス

---

## 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>: received EAPOL-Key msg 2/4 in invalid state (<state>) - dropped STA=<mac>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

4 way handshake の 2 番目のメッセージを予期しない状態で受信したため、破棄したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<state>**  
受信時の状態変数値  
**<mac>**  
STA の MAC アドレス

## 【メッセージ】

```
authd: wlan on slot<slot>:WPA IE from (Re)AssocReq did not match with msg 2/4 STA=<mac>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

STA が本装置と接続したときのプロトコルパラメタと異なるパラメタが設定された EAPOL-Key を受信したため、破棄されたことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<slot>**  
スロット番号  
**<mac>**  
STA の MAC アドレス

## 【メッセージ】

```
authd: Supplicant cannot be accepted without PMK information [<mac> user=<username>]
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

認証サーバから鍵情報が通知されなかったため、認証が失敗したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<mac>**  
STA の MAC アドレス  
**<username>**  
ユーザ ID

---

## 1.42 動的 VPN の情報交換クライアント関連のメッセージ

### 1.42.1 ユーザ ID 登録

#### 【メッセージ】

```
infoexcd: <user_id> registered to <server>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

動的 VPN サーバにユーザ ID が登録できたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<user\_id>**

登録したユーザ ID

**<server>**

登録した動的 VPN サーバアドレス

### 1.42.2 ユーザ ID 削除

#### 【メッセージ】

```
infoexcd: <user_id> deleted from <server>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

動的 VPN サーバからユーザ ID を削除したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<user\_id>**

削除したユーザ ID

**<server>**

削除した動的 VPN サーバアドレス

### 1.42.3 情報交換セッション確立

#### 【メッセージ】

```
infoexcd: The session of <from> to <to> was established.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

情報交換セッションを確立したことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<from>**

情報交換の発側ユーザ ID

**<to>**

情報交換の着側ユーザ ID

## 1.42.4 情報交換セッション切断

### 【メッセージ】

```
infoexcd: The session of <from> to <to> was disconnected.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

情報交換セッションを切断したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<from>**

情報交換の発側ユーザ ID

**<to>**

情報交換の着側ユーザ ID

## 1.42.5 情報交換セッションの確立失敗

### 【メッセージ】

```
infoexcd: The session from <from> to <to> failed : <reason>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

情報交換セッションの確立に失敗したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<from>**

情報交換の発側ユーザ ID

**<to>**

情報交換の着側ユーザ ID

**<reason>**

**タイムアウト**

timeout

**セッション数オーバーフロー**

session overflow

**同じセッションがすでに存在する**

busy

**情報交換バージョン不一致**

version

交換情報のエンコードタイプが一致していません。

---

一時的な失敗  
temporary

#### 1.42.6 情報交換セッションの更新失敗

##### 【メッセージ】

```
infoexcd: Refreshing the session from <from> to <to> failed.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

情報交換セッションの更新に失敗したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<from>**  
情報交換の発側ユーザ ID

**<to>**  
情報交換の着側ユーザ ID

#### 1.42.7 情報交換失敗応答受信

##### 【メッセージ】

```
infoexcd: The response of the failure to <method> was received from <from> : <response_code>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

情報交換リクエストに対して失敗応答を受信したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<method>**  
失敗した要求種別

**REGISTER**  
ユーザ ID 登録要求

**INVITE**  
情報交換セッション確立要求

**CANCEL**  
情報交換セッション確立中止要求

**BYE**  
情報交換セッション切断要求

**<from>**  
失敗応答の送信元ユーザ ID、または動的 VPN サーバの IP アドレス

**<response\_code>**  
失敗理由を示す応答コードとメッセージ

**400 Bad Request**  
不正なリクエスト

**404 Not Found**  
ユーザ ID が存在しない場合など

---

#### 408 Request Timeout

リクエストがタイムアウトした

#### 422 Session Interval Too Small

セッション間隔が短過ぎる

#### 480 Temporarily Unavailable

発側ユーザ ID が登録されていない場合など

#### 481 Call/Transaction Does Not Exist

情報交換セッションが存在しない

#### 486 Busy Here

情報交換セッション数オーバや同一の情報交換セッションがすでに確立されている場合など

#### 487 Request Terminated

情報交換セッションの確立を中止した

#### 500 Server Internal Error

情報交換セッション数オーバなどのサーバ内部エラー

#### 503 Service Unavailable

動的 VPN サーバが利用できない

#### 603 Decline

template 着信で使用する rmt インタフェースの空きがない場合など

### 1.42.8 情報交換セッション開始メッセージの認証失敗

#### 【メッセージ】

```
infoexcd: The Authentication of INVITE message from <from> to <to> failed on <server>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

動的 VPN サーバで情報交換セッション開始メッセージの認証に失敗したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<from>

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

<server>

認証に失敗した動的 VPN サーバアドレス

### 1.42.9 情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗

#### 【メッセージ】

```
infoexcd: The Authentication of REGISTER message for <user_id> failed on <server>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

動的 VPN サーバで情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証に失敗したことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<user\_id>**

登録要求したユーザ ID

**<server>**

認証に失敗した動的 VPN サーバアドレス

## 1.42.10 動的 VPN サーバアドレスの解決失敗

### 【メッセージ】

```
infoexcd: Resolving of <fqdn> failed.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

動的 VPN サーバのホスト名解決に失敗したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<fqdn>**

動的 VPN サーバのホスト名

## 1.42.11 情報交換セッションの開始メッセージをリダイレクトした

### 【メッセージ】

```
infoexcd: The INVITE message from <from> to <to> was redirected to <uri>.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

情報交換セッションの開始メッセージをリダイレクトしたことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<from>**

情報交換の発側ユーザ ID

**<to>**

情報交換の着側ユーザ ID

**<uri>**

リダイレクト先 URI

## 1.42.12 情報交換セッションの開始を辞退した

### 【メッセージ】

```
infoexcd: The INVITE message from <from> to <to> was declined: <reason>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

着側で情報交換セッションの開始を辞退したことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<from>**

情報交換の発側ユーザ ID

**<to>**

情報交換の着側ユーザ ID

**<reason>**

情報交換バージョン不一致

version

交換情報のエンコードタイプが一致していません。

---

## 1.43 動的 VPN サーバ関連のメッセージ

### 1.43.1 ユーザ ID の登録

#### 【メッセージ】

```
dvpnspd: <user_id> was registered by <client>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ユーザ ID を登録したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<user\_id>**

登録したユーザ ID

**<client>**

情報交換クライアントの IP アドレス

### 1.43.2 ユーザ ID の削除

#### 【メッセージ】

```
dvpnspd: <user_id> was deleted by <client>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ユーザ ID を削除したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<user\_id>**

削除したユーザ ID

**<client>**

情報交換クライアントの IP アドレス

### 1.43.3 情報交換セッションの確立

#### 【メッセージ】

```
dvpnspd: The session from <from> to <to> was established.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

情報交換セッションが確立したことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<from>**

情報交換の発側ユーザ ID

**<to>**

情報交換の着側ユーザ ID

## 1.43.4 情報交換セッションの切断

### 【メッセージ】

```
dvpnspd: The session from <from> to <to> was disconnected.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

情報交換セッションが切断されたことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<from>**

情報交換の発側ユーザ ID

**<to>**

情報交換の着側ユーザ ID

## 1.43.5 情報交換セッションの満了

### 【メッセージ】

```
dvpnspd: The session from <from> to <to> expired.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

情報交換セッションの有効期限が満了したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<from>**

情報交換の発側ユーザ ID

**<to>**

情報交換の着側ユーザ ID

## 1.43.6 情報交換セッション開始メッセージの認証失敗

### 【メッセージ】

```
dvpnspd: The Authentication of INVITE message from <from> to <to> by <client> failed.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

情報交換クライアントからの情報交換セッション開始メッセージの認証に失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<from>**  
情報交換の発側ユーザ ID  
**<to>**  
情報交換の着側ユーザ ID  
**<client>**  
情報交換クライアントの IP アドレス

### 1.43.7 情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗

**【メッセージ】**

```
dvpnspd: The Authentication of REGISTER message for <user_id> by <client> failed.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

情報交換クライアントからの情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証に失敗したことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<user\_id>**  
登録要求されたユーザ ID  
**<client>**  
情報交換クライアントの IP アドレス

---

## 1.44 SIP-SIP ゲートウェイ機能のメッセージ

### 1.44.1 SIP-SIP ゲートウェイ機能無効

#### 【メッセージ】

```
siggw: SIP-SIP gateway is not available: lack or invalid configuration
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_WARNING

#### 【意味】

設定不足、または設定不正のために SIP-SIP ゲートウェイ機能が利用できないことを示します。

### 1.44.2 登録成功

#### 【メッセージ】

```
siggw: <username>@<domain> registered
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

Registrar サーバにユーザが登録できたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<username>**  
登録ユーザ名  
**<domain>**  
SIP ドメイン名

### 1.44.3 登録失敗

#### 【メッセージ】

```
siggw: <username>@<domain> registration failed : <reason>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ユーザ登録に失敗したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<username>**  
登録ユーザ名  
**<domain>**  
SIP ドメイン名  
**<reason>**  
失敗理由

---

**timeout**

トランザクションがタイムアウトした

**auth rejected**

認証失敗

**other(<code>)**

Registrar サーバからその他のエラーレスポンスを受信

#### 1.44.4 登録削除

**【メッセージ】**

```
siggw: <username>@<domain> deleted
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

Registrar サーバからユーザが削除されたことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<username>**

登録ユーザ名

**<domain>**

SIP ドメイン名

#### 1.44.5 接続

**【メッセージ】**

```
siggw: connected to <to>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

外線発信に成功したことを示します。

**【パラメタの意味】**

**<to>**

着ユーザ名

**【メッセージ】**

```
siggw: connected from <from>
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

外線からの着信に成功したことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<from>**  
発ユーザ名

#### 1.44.6 切断

### 【メッセージ】

```
sipgw: disconnected call for <username> : time=<time>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

通話が切断されたことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<username>**  
相手ユーザ名  
**<time>**  
通話時間 (dddd.hh:mm:ss の形式)

#### 1.44.7 接続失敗

### 【メッセージ】

```
sipgw: callout to <to> failed : <reason>
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

外線発信に失敗したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<to>**  
着ユーザ名  
**<reason>**  
失敗理由  
**timeout**  
トランザクションがタイムアウトした  
**busy**  
話中  
**auth rejected**  
認証失敗  
**limit over**  
チャンネル数超過  
**internal**  
内部的なエラー  
**other(<code>)**  
相手端末からその他のエラーレスポンスを受信

---

## 【メッセージ】

```
sipgw: callin from <from> failed : <reason>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

外線からの着信に失敗したことを示します。

## 【パラメタの意味】

**<from>**

発ユーザ名

**<reason>**

失敗理由

**timeout**

トランザクションがタイムアウトした

**busy**

話中

**limit over**

チャンネル数超過

**internal**

内部的なエラー

**other(<code>)**

内線端末からその他のエラーレスポンスを受信

---

## 1.45 AAA/RADIUS のメッセージ

### 1.45.1 RADIUS アカウンティング情報の表示

#### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: <id>(<session_id>) received service for <session_time> seconds, received <input_packets>
packets(<input_bytes> bytes), sent <output_packets> packets(<out_bytes> bytes).
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

RADIUS アカウンティング情報を示します。

#### 【パラメタの意味】

##### <id>

User\_Name

アクセスユーザ名

##### <session\_id>

Acct-Session-Id

同一セッションを示す一意の識別子

##### <session\_time>

Acct-Session-Time

セッション開始から終了までの時間

##### <input\_packets>

Acct-Input-Packets

RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したパケット数

##### <input\_bytes>

Acct-Input-Octets

RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したデータ量

##### <output\_packets>

Acct-Output-Packets

RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したパケット数

##### <output\_bytes>

Acct-Output-Octets

RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したデータ量

### 1.45.2 RADIUS 認証サーバ未応答

#### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから認証結果が通知されなかったことを示します。

---

【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

### 1.45.3 RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG\_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング開始の通知がされなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

### 1.45.4 RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG\_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング終了の通知がされなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

### 1.45.5 RADIUS 認証同時要求数オーバ

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

RADIUS クライアントの認証要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

**【パラメタの意味】**

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

### 1.45.6 RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング開始時)

**【メッセージ】**

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

**【パラメタの意味】**

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

### 1.45.7 RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング終了時)

**【メッセージ】**

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

**【パラメタの意味】**

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

---

#### 1.45.8 RADIUS 認証構成定義無効

##### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

#### 1.45.9 RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング開始時)

##### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

#### 1.45.10 RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング終了時)

##### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

---

【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

#### 1.45.11 RADIUS 認証メモリ枯渇

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG\_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、メモリが枯渇したため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

#### 1.45.12 RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG\_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、メモリが枯渇したため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

#### 1.45.13 RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

RADIUS クライアントのアカウントング要求に対して、メモリが枯渇したため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

**【パラメタの意味】**

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

#### 1.45.14 RADIUS 認証共有鍵不一致

**【メッセージ】**

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: bad authentication secret.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】**

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

#### 1.45.15 RADIUS アカウントング共有鍵不一致(アカウントング開始時)

**【メッセージ】**

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: bad accounting secret.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

RADIUS クライアントのアカウントング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

**【パラメタの意味】**

<id>  
アクセスユーザ名  
<group\_id>  
AAA グループ ID

---

## 1.45.16 RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング終了時)

### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: bad accounting secret.
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

### 【パラメタの意味】

**<id>**  
アクセスユーザ名  
**<group\_id>**  
AAA グループ ID

## 1.45.17 ローカル認証 DB アカウンティング情報の表示

### 【メッセージ】

```
aaad: <id>() received service for <session_time> seconds, received <input_packets> packets(<input_bytes> bytes), sent <output_packets> packets(<output_bytes> bytes).
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

ローカル認証 DB のアカウンティング情報を示します。

### 【パラメタの意味】

**<id>**  
アクセスユーザ名  
**<session\_time>**  
セッション開始から終了までの時間  
**<input\_packets>**  
アクセスユーザが受信したパケット数  
**<input\_bytes>**  
アクセスユーザが受信したデータ量  
**<output\_packets>**  
アクセスユーザが送信したパケット数  
**<output\_bytes>**  
アクセスユーザが送信したデータ量

## 1.45.18 Access-Challenge の受信

### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: Access-Challenge not support (<id>)
```

---

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

RADIUS クライアントが本装置で未サポートの Access-Challenge を受信したため、アクセスユーザの認証に失敗したことを示します。

## 【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名

### 1.45.19 Message-Authenticator 不適性

## 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: received Message-Authenticator have unmatched value (<id>)
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

受信した RADIUS パケットの Message-Authenticator が一致しなかったため、受信パケットが改ざんされているものとして、破棄したことを意味します。

## 【パラメタの意味】

<id>  
アクセスユーザ名

### 1.45.20 アトリビュート作成失敗(送信バッファオーバーフロー)

## 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: attribute <attr_type> create failed. send buffer overflow for aaa group <group_id> user id <id>
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

RADIUS サーバからクライアントに送信するアクセスユーザのユーザ情報が大き過ぎるため、送信パケットを破棄したことを意味します。RADIUS サーバは 4096 バイト以上の認証結果をクライアントに通知できないため、アクセスユーザのユーザ情報に多数の経路情報を定義した場合などに、上記理由により送信パケットが破棄されることがあります。

## 【パラメタの意味】

<attr\_type>  
オーバーフローしたアトリビュートの属性値  
VSA: で始まる値のときはベンダ固有アトリビュートでオーバーフローしたことを意味します。  
<group\_id>  
AAA グループ ID  
<id>  
アクセスユーザ名

---

### 1.45.21 RADIUS 認証取り消し

#### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: authentication canceled.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、認証依頼元が認証要求を取り消したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<id>**  
アクセスユーザ名  
**<group\_id>**  
AAA グループ ID

### 1.45.22 RADIUS 認証サーバダウン

#### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <number> on aaa <group_id> dead.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

RADIUS 認証サーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<group\_id>**  
AAA グループ ID  
**<number>**  
認証サーバ定義番号

### 1.45.23 RADIUS 認証サーバ復旧

#### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <number> on aaa <group_id> alive.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

RADIUS 認証サーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<group\_id>**  
AAA グループ ID

---

**<number>**  
認証サーバ定義番号

#### 1.45.24 RADIUS アカウンティングサーバダウン

##### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius accounting server <number> on aaa <group_id> dead.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

RADIUS アカウンティングサーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<group\_id>**  
AAA グループ ID

**<number>**  
アカウンティングサーバ定義番号

#### 1.45.25 RADIUS アカウンティングサーバ復旧

##### 【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius accounting server <number> on aaa <group_id> alive.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

RADIUS アカウンティングサーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

##### 【パラメタの意味】

**<group\_id>**  
AAA グループ ID

**<number>**  
アカウンティングサーバ定義番号

#### 1.45.26 認証処理失敗(メモリ枯渇)

##### 【メッセージ】

```
aaad: cannot process due to no resource [mac=<mac_addr>]
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

メモリ不足のため、認証要求が無視されたことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

<mac\_addr>

認証要求が無視された端末の MAC アドレス

## 1.45.27 未サポート EAP オプション受信

### 【メッセージ】

```
aaad: received option is not supported [option=<code>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

受信した EAP に未サポートのオプションが含まれていたことを示します。

### 【パラメタの意味】

<code>

未サポートのオプションコード

## 1.45.28 未サポートのパケット受信

### 【メッセージ】

```
aaad: received unrecognized code packet [<code>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

未サポートパケットコードの EAP パケットを受信したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<code>

未サポートのパケットコード

## 1.45.29 パケットシーケンスエラー検出

### 【メッセージ】

```
aaad: unexpectable message received [type=<type>, host=<mac_addr>]
```

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

パケットシーケンス異常を検出したことを示します。

### 【パラメタの意味】

<type>

パケットタイプ

---

<mac\_addr>

端末(Supplicant)の MAC アドレス

#### 1.45.30 メモリ枯渇による認証失敗

##### 【メッセージ】

```
aaad: cannot allocate memory to indicate about authentication result
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

メモリ枯渇により認証処理が失敗したことを示します。

#### 1.45.31 認証アルゴリズム不一致

##### 【メッセージ】

```
aaad: desired algorithm by supplicant is not supported [desired type=<algorithm>]
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

端末(Supplicant)から本装置がサポートしていない認証アルゴリズムを要求されたために、認証が失敗したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<algorithm>

端末(Supplicant)側が要求したアルゴリズムコード

#### 1.45.32 端末 MAC アドレス収集限界

##### 【メッセージ】

```
aaad: mac collect table full
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

最大数まで端末 MAC アドレスを収集したため、これ以上の新しい端末 MAC アドレスの収集はできないことを示します。

---

## 1.46 証明書関連機能のメッセージ

### 1.46.1 証明書関連情報定義矛盾

#### 【メッセージ】

```
pkid: peer certificate <cert_number> is invalid.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

証明書関連情報定義反映時に、不正な相手装置証明書が設定されていた場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

<cert\_number>

相手装置証明書識別番号

#### 【メッセージ】

```
pkid: my certificate <cert_number> is invalid.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

証明書関連情報定義反映時に、不正な自装置証明書が設定されていた場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

<cert\_number>

自装置証明書識別番号

#### 【メッセージ】

```
pkid: ca certificate <cert_number> is invalid.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

証明書関連情報定義反映時に、不正な認証局証明書が設定されていた場合に出力されます。

#### 【パラメタの意味】

<cert\_number>

認証局証明書識別番号

#### 【メッセージ】

```
pkid: private key <key_number> is invalid.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

**【意味】**

証明書関連情報定義反映時に、不正な RSA 秘密鍵が設定されていた場合に出力されます。

**【パラメタの意味】**

<key\_number>  
秘密鍵識別番号

**【メッセージ】**

```
pkid: certificate request <req_number> is invalid.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

証明書関連情報定義反映時に、不正な証明書要求が設定されていた場合に出力されます。

**【パラメタの意味】**

<req\_number>  
証明書要求識別番号

---

## 1.47 USB メモリ関連のメッセージ

### 1.47.1 USB メモリの挿入

#### 【メッセージ】

```
mountd: USB memory is inserted.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

USB メモリが挿入されたことを示します。

### 1.47.2 USB メモリの拔出

#### 【メッセージ】

```
mountd: USB memory is ejected.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

USB メモリが拔出されたことを示します。

### 1.47.3 USB デバイス接続

#### 【メッセージ】

```
usbd: USB Device Detected.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

USB デバイスが接続されたことを示します。

### 1.47.4 USB デバイス切断

#### 【メッセージ】

```
usbd: USB Device Disconnect Completed.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

USB デバイスが切断されたことを示します。

---

#### 1.47.5 USB VBUS 過電流発生

##### 【メッセージ】

```
usbld: USB VBUS Over Current Occurred.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

USB で、VBUS 過電流が発生したことを示します。

#### 1.47.6 ファイルシステムの不正

##### 【メッセージ】

```
mountd: file system on USB memory is broken. need format.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

USB メモリを挿入したがファイルシステムが異常であり、フォーマットが必要なことを示します。

#### 1.47.7 I/O エラー

##### 【メッセージ】

```
mountd: I/O error on USB memory.  
cmdexec: I/O error on USB memory.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

USB メモリのアクセス中に I/O エラーが発生したことを示します。

#### 1.47.8 ファイルシステムの不整合

##### 【メッセージ】

```
mountd: file system on USB memory is broken.
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

USB メモリのアクセス中にファイルシステムの不整合を検出したことを示します。

---

## 1.48 USB マスストレージ制御関連のメッセージ

### 1.48.1 USB マスストレージクラスデバイスの認識成功

#### 【メッセージ】

```
usbh_storage: Mass storage device initializing complete.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の挿入検出時、挿入されたデバイスを正常なマスストレージクラスデバイスと認識したことを示します。

### 1.48.2 USB マスストレージクラスデバイスの認識失敗

#### 【メッセージ】

```
usbh_storage: Mass storage device initializing failed.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の挿入検出時、挿入されたデバイスを正常なマスストレージクラスデバイスと認識できなかったことを示します。

### 1.48.3 USB デバイス抜去待ち状態

#### 【メッセージ】

```
usbh_storage: Waiting for unplugging the USB device.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の異常などを検出し、USB メモリの抜去待ち状態に入ったことを示します。

### 1.48.4 USB デバイスエラー発生

#### 【メッセージ】

```
usbh_storage: Error occurred. : <error> at <state>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の異常を検出したことを示します。

---

### 【パラメタの意味】

**<error>**

エラー要因

**<state>**

エラーが発生した時点での内部状態

### 1.48.5 USB デバイスクラス判定失敗

#### 【メッセージ】

```
usbcd: [usbh_strg] Device detection failed. : The interface should be storage class and bulk only type.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ストレージクラス・バルクオンリータイプ以外の USB デバイスを検出したことを示します。USB ポートには、USB メモリ以外の USB デバイスを接続することはできません。

---

## 1.49 外部メディアスタート機能のメッセージ

### 1.49.1 外部メディアスタート機能の動作の開始

#### 【メッセージ】

```
mountd: start configuration by external storage device
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行が開始されたことを示します。

### 1.49.2 外部メディアスタート機能の動作開始時のログファイルエラー

#### 【メッセージ】

```
mountd: cannot open log file in configuration by external storage device
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、ログファイルの作成失敗により動作中断されたことを示します。

### 1.49.3 外部メディアスタート機能の動作開始時のパスワード認証エラー

#### 【メッセージ】

```
mountd: authentication error in configuration by external storage device
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、パスワード認証エラーにより動作中断されたことを示します。

### 1.49.4 外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル作成エラー

#### 【メッセージ】

```
mountd: script error in configuration by external storage device
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、デフォルトのコマンドファイル作成失敗により動作中断されたことを示します。

---

#### 1.49.5 外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル読み込みエラー

##### 【メッセージ】

```
mountd: cannot open script file in configuration by external storage device
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、コマンドファイルのオープン失敗により動作中断されたことを示します。

#### 1.49.6 外部メディアスタート機能の動作開始時の状態ファイルのエラー

##### 【メッセージ】

```
mountd: invalid status file in configuration by external storage device
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、状態ファイルのエラーにより動作中断されたことを示します。

#### 1.49.7 外部メディアスタート機能の動作開始時の時刻取得エラー

##### 【メッセージ】

```
mountd: cannot get time in configuration by external storage device
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、時刻取得エラーにより動作中断されたことを示します。

#### 1.49.8 外部メディアスタート機能の動作の完了

##### 【メッセージ】

```
mountd: complete configuration by external storage device
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行が正常完了したことを示します。

#### 1.49.9 外部メディアスタート機能の動作のエラー終了

##### 【メッセージ】

```
mountd: error configuration by external storage device in line <line>
```

---

### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

### 【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行がエラーにより中断されたことを示します。

### 【パラメタの意味】

<line>

エラー行の行番号

---

## 1.50 コンフィグトライアル機能のメッセージ

### 1.50.1 コンフィグトライアル機能の動作の開始

#### 【メッセージ】

```
conftryd: start trying configuration
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

動的反映時に時間指定されることで、コンフィグトライアル機能の動作が開始されたことを示します。

### 1.50.2 コンフィグトライアル機能による切り戻し動作の実行

#### 【メッセージ】

```
conftryd: restore previous configuration before trying
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

コンフィグトライアル機能により構成定義が正常に元に戻されたことを示します。

### 1.50.3 コンフィグトライアル機能による切り戻し動作のエラー終了

#### 【メッセージ】

```
conftryd: cannot restore previous configuration before trying
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

コンフィグトライアル機能により構成定義を元に戻そうとしたが、エラー終了のため戻せなかったことを示します。

### 1.50.4 コンフィグトライアル機能の動作のキャンセル

#### 【メッセージ】

```
conftryd: cancel trying configuration
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

コンフィグトライアル機能の動作がキャンセルされたことを示します。

---

## 1.51 無線 LAN 管理機能・管理監視機能のメッセージ

### 1.51.1 管理監視機能の起動

#### 【メッセージ】

```
nodemanagerd: nodemanagerd started.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

管理監視機能が起動したことを示します。

### 1.51.2 管理外無線 LAN アクセスポイントの自動削除

#### 【メッセージ】

```
nodemanagerd: Duplicated MAC <mac> detected. Delete an unmanaged AP <ap_num>:<ap_name>.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

稼働情報取得により検出された管理無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレスが、管理外無線 LAN アクセスポイントに登録されていた MAC アドレスと一致したため、管理外無線 LAN アクセスポイントの登録を削除したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<mac>

管理外無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレス

<ap\_num>

管理外無線 LAN アクセスポイントの定義番号

<ap\_name>

管理外無線 LAN アクセスポイントの名前

### 1.51.3 管理機器の消失検知(LAN/WLAN)

#### 【メッセージ】

```
nodemanagerd: managed AP: <where> disappeared: NODE:<nodenum>, Name:<nodename>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

管理機器が消失したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

<where>

- ・ LAN

管理機器が LAN 上から消失した場合

- ・ WLAN <無線 LAN インタフェース定義番号>

---

管理機器の無線 LAN インタフェースが無線 LAN 上から消失した場合

<nodenum>

管理機器定義番号

<nodename>

管理機器名

#### 1.51.4 不明無線 LAN アクセスポイントの初回検知

##### 【メッセージ】

```
nodemanagerd: unknown AP detected: MAC:<mac> SSID=<ssid>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

新たな不明無線 LAN アクセスポイントを検知したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<mac>

不明無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレス

<ssid>

不明無線 LAN アクセスポイントの SSID

#### 1.51.5 不明無線 LAN アクセスポイントの消失検知

##### 【メッセージ】

```
nodemanagerd: unknown AP disappeared: MAC:<mac> SSID=<ssid>
```

##### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

##### 【意味】

不明無線 LAN アクセスポイントの消失を検知したことを示します。

##### 【パラメタの意味】

<mac>

不明無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレス

<ssid>

不明無線 LAN アクセスポイントの SSID

---

## 1.52 無線 LAN 管理機能・稼動情報機能のメッセージ

### 1.52.1 稼動情報収集機能の起動、停止

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod started.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

稼動情報収集機能が起動したことを示します。

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod stopped.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

稼動情報収集機能が停止したことを示します。

### 1.52.2 稼動情報収集機能の状態遷移

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod got into the suspended mode.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

稼動情報収集機能が、稼動状態からサスペンド状態に遷移したことを示します。

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod got out of the suspended mode.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

稼動情報収集機能が、サスペンド状態から稼動状態に遷移したことを示します。

### 1.52.3 稼動情報収集機能の処理でエラーを検知

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod couldn't connect to node <number>:<name>(<address>).
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

稼働情報収集機能で<number>:<name>の管理機器に接続できなかったことを示します。

## 【パラメタの意味】

<number>

管理機器の定義番号

<name>

管理機器の名前

<address>

管理機器の IP アドレス

## 【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod couldn't get information from node <number>:<name>(<address>).
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

稼働情報収集機能で<number>:<name>の稼働情報を取得できなかったことを示します。

## 【パラメタの意味】

<number>

管理機器の定義番号

<name>

管理機器の名前

<address>

管理機器の IP アドレス

## 【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod got invalid information from node <number>:<name>(<address>).
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

稼働情報収集機能で取得した<number>:<name>の稼働情報に誤りがあることを示します。  
管理機器が無線 LAN アクセスポイント以外の動作タイプに設定されている可能性があります。

## 【パラメタの意味】

<number>

管理機器の定義番号

<name>

管理機器の名前

<address>

管理機器の IP アドレス

---

## 1.53 無線 LAN 管理機能・機器監視機能のメッセージ

### 1.53.1 機器監視機能の起動、停止

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_land: nodemanager_land started.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

機器監視機能が起動したことを示します。

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_land: nodemanager_land stopped.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

機器監視機能が停止したことを示します。

### 1.53.2 機器監視機能の状態遷移

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_land: nodemanager_land got into the suspended mode.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

機器監視機能が、稼働状態からサスペンド状態に遷移したことを示します。

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_land: nodemanager_land got out of the suspended mode.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

機器監視機能が、サスペンド状態から稼働状態に遷移したことを示します。

---

## 1.54 無線 LAN 管理機能・無線監視機能のメッセージ

### 1.54.1 無線監視機能の起動、停止

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland started.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

無線監視機能が起動したことを示します。

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland stopped.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

無線監視機能が停止したことを示します。

### 1.54.2 無線監視機能の状態遷移

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland got into the suspended mode.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

無線監視機能が、稼働状態からサスペンド状態に遷移したことを示します。

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland got out of the suspended mode.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

無線監視機能が、サスペンド状態から稼働状態に遷移したことを示します。

### 1.54.3 無線監視機能の処理でエラーを検知

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland couldn't connect to AP <ap_num>:<ap_name>(<address>).
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

---

## 【意味】

無線監視機能で<ap\_num>:<ap\_name>の監視用無線 LAN アクセスポイントに接続できなかったことを示します。

## 【パラメタの意味】

<ap\_num>  
監視用無線 LAN アクセスポイントの定義番号  
<ap\_name>  
監視用無線 LAN アクセスポイントの名前  
<address>  
監視用無線 LAN アクセスポイントの IP アドレス

## 【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland couldn't get information from AP <ap_num>:<ap_name>(<address>).
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

無線監視機能で<ap\_num>:<ap\_name>のスキャンレポートを取得できなかったことを示します。

## 【パラメタの意味】

<ap\_num>  
監視用無線 LAN アクセスポイントの定義番号  
<ap\_name>  
監視用無線 LAN アクセスポイントの名前  
<address>  
監視用無線 LAN アクセスポイントの IP アドレス

## 【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland got invalid information from AP <ap_num>:<ap_name>(<address>).
```

## 【プライオリティ】

LOG\_INFO

## 【意味】

無線監視機能で取得した<ap\_num>:<ap\_name>のスキャンレポートに誤りがあることを示します。  
管理機器が無線 LAN アクセスポイント以外の動作タイプに設定されている可能性があります。

## 【パラメタの意味】

<ap\_num>  
監視用無線 LAN アクセスポイントの定義番号  
<ap\_name>  
監視用無線 LAN アクセスポイントの名前  
<address>  
監視用無線 LAN アクセスポイントの IP アドレス

---

## 1.55 無線 LAN 管理機能・ログ出力機能のメッセージ

### 1.55.1 ログ出力機能の起動、停止

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_logd: nodemanager_logd started.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ログ出力機能が起動したことを示します。

#### 【メッセージ】

```
nodemgr_logd: nodemanager_logd stopped.
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ログ出力機能が停止したことを示します。

---

## 1.56 メモリ予兆監視機能関連のメッセージ

### 1.56.1 メモリ予兆監視機能メモリ枯渇状態

#### 【メッセージ】

```
systemwatchd: MPB[<no>] is more than <rate>% : <watch_blk>=<max_blk>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

メモリ予兆監視機能でメモリ枯渇状態と判断したことを示します。  
本メッセージは、<max\_blk>がしきい値の-2%に達したときに出力されます。

#### 【パラメタの意味】

<no>

メモリ管理テーブル番号

<rate>

監視対象メモリブロックの使用割合(%)

<watch\_blk>

監視対象メモリブロック名

MAX block

used mem

<max\_blk>

メモリ枯渇状態と判断した時の使用中メモリブロックユニット数

---

## 1.57 その他のメッセージ

### 1.57.1 ISDN 課金情報のクリア

#### 【メッセージ】

```
<name>:wan <no> ISDN(data) totalcharge=<value>yen totaltime=<time>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

ISDN 課金情報をクリアしたことを示し、統計情報、課金情報を通知します。

#### 【パラメタの意味】

**<name>**  
課金情報をクリアしたプログラム  
**scheduled**  
スケジュール機能によりクリア  
**telexec**  
telnet からのコマンドによるクリア  
**sshexec**  
ssh からのコマンドによるクリア  
**cmdexec**  
コンソールからのコマンドによるクリア  
**httpd**  
ブラウザによるクリア  
**<no>**  
wan 番号  
**<value>**  
総通話料金(円単位)  
**<time>**  
総接続時間(dddd.hh:mm:ss の形式)

### 1.57.2 モデム接続の課金情報のクリア

#### 【メッセージ】

```
<name>: MODEM(data) totaltime=<time>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

モデム接続の課金情報(総接続時間)をクリアしたことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<name>**  
課金情報をクリアしたプログラム  
**scheduled**  
スケジュール機能によりクリア

---

**telexec**

telnet からのコマンドによるクリア

**sshexec**

ssh からのコマンドによるクリア

**cmdexec**

コンソールからのコマンドによるクリア

**httpd**

ブラウザによるクリア

**<time>**

総接続時間(ddd.hh:mm:ss の形式)

### 1.57.3 データ通信カード接続の課金情報のクリア

**【メッセージ】**

```
<name>: cardmodem account cleared.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_INFO

**【意味】**

データ通信カード接続の課金情報(接続時間、パケット数など)をクリアしたことを示します。

**【パラメタの意味】****<name>**

課金情報をクリアしたプログラム

**scheduled**

スケジュール機能によりクリア

**telexec**

telnet からのコマンドによるクリア

**sshexec**

ssh からのコマンドによるクリア

**cmdexec**

コンソールからのコマンドによるクリア

**httpd**

ブラウザによるクリア

### 1.57.4 システムリセットエラー

**【メッセージ】**

```
<name>: ERROR: system reset busy.
```

**【プライオリティ】**

LOG\_ERROR

**【意味】**

リセット処理を実施しようとしたが、ファーム更新中、構成定義の保存中、他スレッドでリセット処理中などにより、リセット処理ができなかったことを示します。

---

## 【パラメタの意味】

**<name>**

リセットを実施したプログラム

**scheduled**

スケジュールによる電話番号変更後のリセット

**telexec**

telnet からのコマンドによるリセット

**sshexec**

ssh からのコマンドによるリセット

### 1.57.5 動的定義反映実行

#### 【メッセージ】

```
enabled: system configuration restarted
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

動的定義反映が実行されたことを示します。

### 1.57.6 重複メッセージの省略

#### 【メッセージ】

```
same message repeated <num> times
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

同じメッセージが繰り返されたので表示を省略したことを示します。

#### 【パラメタの意味】

**<num>**

繰り返された回数

### 1.57.7 コマンド実行履歴

#### 【メッセージ】

```
<name>: command "<command>" executed by <user>
```

#### 【プライオリティ】

LOG\_INFO

#### 【意味】

コマンドが実行されたことを示します。

---

## 【パラメタの意味】

**<name>**  
コマンドを実行したプログラム  
**telnetd**  
telnet でコマンドを実行した  
**sshlogin**  
ssh でコマンドを実行した  
**logon**  
コンソールでコマンドを実行した

**<command>**  
実行されたコマンド

**<user>**  
コマンドを実行したユーザ名

## 1.58 ISDN 理由表示番号一覧

### 正常イベントクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
01	# 1	欠番
02	# 2	指定中継網へのルートなし
03	# 3	相手へのルートなし
06	# 6	チャンネル利用不可
07	# 7	呼が設定済みのチャンネルへ着呼
10	# 16	正常切断
11	# 17	着ユーザビジー
12	# 18	着ユーザレスポンスなし
13	# 19	相手ユーザ呼出中 / 応答なし
14	# 20	加入者不在
15	# 21	通信拒否
16	# 22	相手加入者番号変更
1A	# 26	選択されなかったユーザの切断復旧
1B	# 27	着側インタフェース起動不可
1C	# 28	無効番号フォーマット(不完全番号)
1D	# 29	ファシリティ拒否
1E	# 30	状態問い合わせへの応答
1F	# 31	その他の正常クラス

### リソース不可クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
22	# 34	利用可回線 / チャンネルなし
26	# 38	網故障
29	# 41	一時的故障
2A	# 42	交換機輻輳
2B	# 43	アクセス情報廃棄
2C	# 44	要求回線 / チャンネル利用不可
2F	# 47	その他のリソース使用不可クラス

### サービス利用不可クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
31	# 49	サービス品質(QoS)利用不可
32	# 50	要求ファシリティ未契約
39	# 57	伝達能力不許可
3A	# 58	現在利用不可伝達能力
3F	# 63	その他のサービスまたはオプションの利用不可クラス

## サービス未提供クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
41	# 65	未提供伝達能力指定
42	# 66	未提供チャンネル種別指定
45	# 69	未提供ファシリティ要求
46	# 70	制限デジタル情報転送能力だけ可能
4F	# 79	その他のサービスまたはオプションの未提供クラス

## 無効メッセージクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
51	# 81	無効呼番号使用
52	# 82	無効チャンネル番号使用
53	# 83	指定された中断呼識別番号未使用
54	# 84	中断呼識別番号使用中
55	# 85	中断呼なし
56	# 86	指定中断呼切断復旧済み
57	# 87	ユーザは CUG メンバでない
58	# 88	端末属性不一致
5B	# 91	無効中継網選択
5F	# 95	その他の無効メッセージクラス

## 手順誤りクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
60	# 96	必須情報要素不足
61	# 97	メッセージ種別未定義、または未提供
62	# 98	呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ別未定義または未提供
63	# 99	情報要素未定義
64	# 100	情報要素内容無効
65	# 101	呼状態とメッセージ不一致
66	# 102	タイマ満了による回復
6F	# 111	その他の手順誤りクラス

## インタワーキングクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
7F	# 127	その他のインタワーキングクラス

---

## Si-R シリーズ メッセージ集

P3NK-3952-08Z0

発行日 2019年7月

発行責任 富士通株式会社

---

- 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
- 本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、弊社はその責を負いません。